

AWAJI JC



Anniversary

2012年度
総合資料

2012年度スローガン

回帰革新

Awaji Island



社団法人 淡路青年会議所

社団法人 淡路青年会議所

2011 年度事業報告並びに決算報告書

2011 年度理事長 畑野 信行

1. 理事長報告	1
2. 副理事長報告	2
3. 専務理事報告	3
4. 諸会議報告	4
5. 委員会事業報告	10
6. 委員会別事業決算明細	25
7. 直前理事長報告	27
8. 出向報告	28
9. 監事報告	39
10. 会員動向	40
11. 役員名簿	41
12. 出向者一覧	42
13. 組織及び委員会構成	43
14. 褒章	44
15. 決算報告	45
16. 監査報告	57
17. 資料	58

2012 年度事業計画並びに収支予算書

2012 年度理事長 上村 雄二郎

1. 理事長所信	90
2. 基本方針	93
3. 副理事長・室長抱負	94
4. 専務理事抱負	95
5. 監事・特別顧問抱負	96
6. 委員長・室長事業計画並びに予算及び役割業務	97
7. 出向者抱負	112
8. 一般会計収支予算	118
9. 特別事業基金（特別会計）収支予算	121
10. 役員名簿	122
11. 出向者一覧	123
12. 組織及び委員会構成	124
13. 年間スケジュール	125
14. 日本 JC 近畿地区兵庫ブロック協議会組織図	126

2011年度

事業報告書

2011年1月1日～12月31日

**社 団 法 人
淡 路 青 年 会 議 所**

2011年度 スローガン

大志一閃

～行動こそが信念～

2011年度 基本方針

- 一、「淡路はひとつ」実現に向けて行動しよう。
- 一、信念を持った人づくり目指し行動しよう。
- 一、考える前にまず行動しよう。

1. 理事長報告



まずは2011年度、理事長と言う大役を賜りましたこと、そして一年間お世話になりましたOB諸先輩の皆様、並びに現役メンバーの皆様にご心より感謝を申し上げます。皆様方のお陰をもちまして、無事に1年間を全うすることが出来ました。ありがとうございました。

本年はスローガンといたしまして「大志一閃 ～行動こそが信念～」を掲げさせていただきました。大いなる志を持ち、それを実現させるが為、精一杯行動しよう、それこそが今の世に差し込む一閃となるのだという事であります。メンバーの皆様には、このスローガ

ンの基素晴らしい物を魅せていただいた事にも重ねてお礼申し上げます。

理事として前線にてご活躍いただいたメンバーは、この1年で見違える程の成長を遂げられたように感じます。きっと個々のメンバーが個々に感じた苦労や達成感がそうさせたのでしょう。そして理事ではなくとも共に御協力いただいたメンバーの皆様方におきましても、各委員会を支えていただき成果を挙げていただく中、素晴らしい成長をとげられたことも間違いないと考えます。

さて、本年は大きな柱としまして「淡路は一つ」とうたう中、淡路島として生き残っていくためには、島が一つとなり淡路島と言うしっかりとした自治体として取り組む必要性がある。そのために一体何ができるのか。10月に「淡路島フォーラム」を開催させていただき、その中では三市長及び有識者をお招きし、これまでの各市の流れ及び今後についての見解を島民の皆様方に直接示していただきました。そんな中、三市長のお言葉には淡路島は一つであるべきだとの考え方に淡路一市と言う手段も組み込んだお話をいただく事ができ、非常に前向きなフォーラムとなりました。三市合併以後、これまであまり議論対象とならなかった中、新たな枠組みでのまちづくりの在り方として打ち出せたことは非常に意味があったと確信いたす次第でございます。そんな中、関わっていただいたOB諸先輩方とメンバーの皆様方、本当にありがとうございました。そして現役メンバーの皆様方にとってもこれまでと同様に淡路島の未来を考え信念をもって行動に移すことのできた1年であったと考えます。本年で得た様々な経験や絆を2012年度への足がかりとなること、そして明るい豊かな淡路島実現が近未来であると節に信じ、本年度のお礼とご報告とさせていただきます。

2. 副 理 事 長 報 告

副理事長 上河 護 上村 雄二郎 沖田 和良 廣井 公壽



2011年度4名の副理事長で、理事長の所信の下、理事・メンバーがそれぞれの役割や目的に向かって自覚を持ち、志を持ったメンバーが一丸となってJC活動に取り組めるよう臨んでまいりました。事業では、趣旨目的を的確にとらえ濃厚かつ合理的なJC活動が行えるように、事業が本当に目的達成すべきことを個人主観や一般情報等で事業実施に至らないように、調査・研究に基づいた背景・目的の精査をおこないました。それと共に、三役間の意思統一をはかり、JC活動から学んだ経験・諸先輩方から学んだことをしっかりと伝えサポートすることで効率の良い運営をに努めてきました。本年度、3月11日の東日本大震災・台風や大雨による災害等過去例に見ない不足の事態へ対応が求められた1年であり、早急に事業実施における不足事態への準備・判断・対応が、予想を上回り十分とは言えない結果となることがありました。事前に不足の事態でもゆらぐことがないように綿密な準備・判断・対応ができるように、しっかりと方向性を指し示し、組織の意思統一が図れメンバーの役割や目的達成に向けて志が高まるように努める必要があったと反省をしております。

最後に、今年度の経験を生かし今後のJC活動の糧として頑張ってまいります。1年間ありがとうございました。

3. 専務理報告

専務理事 向内 英光



2011年度、社団法人淡路青年会議所の専務理事を拝命し、その重責を日々痛感し、活動を行ってきた一年でございました。歴代の専務理事の皆様が、日々の青年会議所活動とは別に様々な運営に関する事項をこなしてこられ、49年の長きにわたる活動を縁の下で支えてこられてことがその立場になって、理解することができました。

青年会議所は単年度制ですので、このような機会を与えて頂き、理事長の秘書的業務及び副理事長、委員長の皆様方との調整事項、その他 外部団体との調整等、どれをとっても重要な業務の中で多くの気付きを得ることができました。至らぬ点は多々ございましたが、2011年度の組織の中で活動させていただいたことは、私にとって何物にも代えがたい経験となりました。この経験を今後の青年会議所活動に活かし、2012年度の新たな場所で行動して参ります。

最後になりましたが、お世話になった方々に心からの感謝を申し上げ、2011年度の専務理事としてのご報告とさせていただきます。

4. 諸 会 議 報 告

社団法人 淡路青年会議所 第73回通常総会

2011年1月12日(水)於 夢泉景

出席者 43名 書面評決 16名 委任状 1名

- 第 1号議案 2010年度事業報告承認に関する件
- 第 2号議案 2010年度決算報告承認に関する件
- 第 3号議案 2011年度修正予算承認に関する件

社団法人 淡路青年会議所 第55回臨時総会

2011年8月10日(水)於 洲本市文化体育館

出席者 45名 書面評決 5名 委任状 4名

- 第 1号議案 公益法人制度改革に伴う方向性に関する件
- 第 2号議案 2011年度 理事予定者承認に関する件
- 第 3号議案 2011年度 理事長予定者承認に関する件
- 第 4号議案 2011年度 監事予定者承認に関する件

社団法人 淡路青年会議所 第74回通常総会

2011年12月17日(土)於 淡路島国際観光ホテル

出席者 40名 書面評決 15名 委任状 9名

- 第 1号議案 2011年度 預かり金処分の件
- 第 2号議案 2011年度 一般会計収支補正予算の件
- 第 3号議案 2011年度 特別会計収支補正予算の件
- 第 4号議案 2012年度 組織構成及び委員会構成の件
- 第 5号議案 2012年度 出向者の件
- 第 6号議案 2012年度 一般会計収支予算の件
- 第 7号議案 2012年度 特別会計収支予算の件
- 第 8号議案 2012年度 事業計画の件
- 第 9号議案 2012年度 例会・総会日時等の件
- 第10号議案 2012年度 預かり金の件

理事会報告（未）

月 日	内 容	場 所
1. 5（水）	<p>1 月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 2010 年度事業報告の件 (2) 2010 年度決算報告の件 (3) 新入会員承認の件 (4) 新入会員配属の件 (5) 2011 年度修正予算承認に関する件 (6) 2011 年度会費徴収の件 (7) 対内広報紙発行の件 (8) 1 月例会の件 (9) 第 73 回通常総会の件 (10) 第 73 回通常総会提出議案の件 (11) 新年会の件 (12) 総合資料作成の件 (13) 会員名簿作成の件 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 2 月例会の件 (2) 3 月例会の件 (3) 社会開発事業（例会）の件 	夢海游 淡路島
2. 2（水）	<p>2 月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 2 月例会の件 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 3 月例会の件 (2) 3 月例会 ～淡路はひとつ！淡路一市運動～の件 (3) 前期入会候補者説明会の件 (4) 4 月例会の件 (5) わんぱく相撲 ～挑戦 新たな可能性へ向かって～の件 	夢海游 淡路島
3. 2（水）	<p>3 月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 1 月例会事業報告並びに決算報告の件 (2) 第 73 回通常総会の設営事業報告の件 (3) 新年会事業報告並びに決算報告の件 (4) 3 月例会の件 (5) 3 月例会 ～淡路はひとつ！淡路一市運動～の件 (6) 前期入会候補者説明会の件 	夢海游 淡路島

月 日	内 容	場 所
4. 6(水)	<p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 4 月例会の件 (2) 5 月例会の件 (3) わんぱく相撲 ～挑戦 新たな可能性に向かって～の件 (4) 社会開発事業の件 <p>4 月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 2 月例会事業報告並びに決算報告の件 (2) 会員名簿作成報告並びに決算報告の件 (3) 総合資料の作成報告並びに決算報告の件 (4) 準会員承認の件 (5) 4 月例会の件 (6) わんぱく相撲 ～挑戦 新たな可能性に向かって～の件 (7) 預かり金 使用の件 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 5 月例会の件 (2) 6 月例会の件 	夢海游 淡路島
5. 6(金)	<p>5 月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 3 月例会事業報告並びに決算報告の件 (2) 3 月例会～淡路はひとつ！淡路一市運動～事業報告並びに決算報告の件 (3) 前期入会候補者説明会の件 (4) 5 月例会の件 (5) わんぱく相撲 ～挑戦 新たな可能性へ向かって～の件 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 社会開発委員会 変更事業計画並びに上程スケジュールの件 (2) 6 月例会の件 (3) 7 月例会の件 (4) 淡路島まつりおどり大会の件 	夢海游 淡路島

月 日	内 容	場 所
6. 1 (水)	<p>6月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 4月例会 事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(2) 公益法人制度改革による決議方法の件</p> <p>(3) 6月例会の件</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 選挙管理委員会の設置の件</p> <p>(2) 7月例会の件</p> <p>(3) 淡路島まつりおどり大会の件</p> <p>(4) 8月例会の件</p> <p>(5) 社会開発事業の件</p>	夢海游 淡路島
7. 6 (水)	<p>7月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 5月例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(2) 第17回わんぱく相撲淡路場所事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(3) 公益法人制度改革に伴う方向性の件</p> <p>(4) 新入会員承認の件</p> <p>(5) 新入会員配属の件</p> <p>(6) 2011年度後期会費徴収の件</p> <p>(7) 選挙管理委員会設置の件</p> <p>(8) 7月例会の件</p> <p>(9) 淡路島まつりおどり大会の件</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 8月例会の件</p> <p>(2) 第55回臨時総会提出議案の件</p> <p>(3) 第55回臨時総会の設営の件</p> <p>(4) 9月例会の件</p> <p>(5) 後期入会説明会の件</p> <p>(6) 社会開発事業の件</p>	夢海游 淡路島
8. 3 (水)	<p>8月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <p>(1) 準会員承認の件</p> <p>(2) 第17回わんぱく相撲淡路場所事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(3) 6月例会事業報告並びに決算報告の件</p> <p>(4) 2012年度理事予定者承認に関する件</p> <p>(5) 2012年度理事長予定者承認に関する件</p> <p>(6) 2012年度監事予定者承認に関する件</p> <p>(7) 第55回臨時総会提出議案の件</p> <p>(8) 第55回臨時総会の設営の件</p> <p>(9) 8月例会の件</p> <p>(10) 事務局員夏季休暇の件</p>	淡路島観光ホテル

月 日	内 容	場 所
9.7(水)	<p>【協議事項】</p> <p>(1) 9月例会の件 (2) 後期入会説明会の件 (3) 淡路島フォーラムの件 (4) 10月例会の件 (5) 未来創造委員会事業の件</p> <p>9月理事会</p>	夢海游 淡路島
10.5(水)	<p>【審議事項】</p> <p>(1) 7月例会事業報告並びに決算報告の件 (2) 9月例会の件 (3) 後期入会説明会の件</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 10月例会の件 温故知新～半世紀の時を経て～の件 (2) 10月例会 温故知新～半世紀の時を経て～の件 (3) 淡路島フォーラム～淡路はひとつ！淡路島の未来を描く～の件 (4) 11月例会の件</p> <p>10月理事会</p>	夢海游 淡路島
11.2(水)	<p>【審議事項】</p> <p>(1) 準会員承認の件 (2) 淡路島まつりおどり大会事業報告及び決算報告の件 (3) 8月例会事業報告並びに決算報告の件 (4) 10月例会の件 (5) 10月例会 温故知新～半世紀の時を経て～の件 (6) 淡路島フォーラム～淡路はひとつ！未来の淡路島のために～の件</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 11月例会の件 (2) 12月例会の件 (3) クリスマス家族忘年会の件</p> <p>11月理事会</p>	夢海游 淡路島
	<p>【審議事項】</p> <p>(1) 9月例会事業報告並びに決算報告の件 (2) 後期入会候補者説明会事業報告並びに決算報告の件 (3) 11月例会の件 (4) クリスマス家族忘年会の件</p> <p>【協議事項】</p> <p>(1) 12月例会の件 (2) 第74回通常総会 提出議案の件 (3) 第74回通常総会設営の件</p>	

月 日	内 容	場 所
12. 7(水)	<p>12月理事会</p> <p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 10月例会事業報告並びに決算報告の件 (2) 10月例会 温故知新～半世紀の時を経て～の件 (3) 淡路島フォーラム～淡路はひとつ！未来の淡路島のために～の件 (4) 11月例会事業報告並びに決算報告の件 (5) 2011年度預かり金処分の件 (6) 2011年度一般会計収支補正予算の件 (7) 2012年度組織及び委員会構成の件 (8) 2012年度出向者の件 (9) 2012年度一般会計収支予算の件 (10) 2012年度特別会計収支予算の件 (11) 2012年度事業計画の件 (12) 2012年度例会・総会日時 (13) 2012年度預かり金の件 (14) 12月例会の件 (15) 第74回通常総会 提出議案の件 (16) 第74回通常総会の設営の件 (17) クリスマス家族忘年会の件 (18) 褒章委員会設置の件 	夢海游 淡路島
2012. 1. 4 (水)	<p>13回理事会</p> <p>【審議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 対内広報紙の発行事業報告並びに決算報告の件 (2) 12月例会事業報告並びに決算報告の件 (3) クリスマス家族忘年会事業報告並びに決算報告の件 (4) 入会案内冊子事業報告並びに決算報告の件 (5) ホームページの立ち上げ・管理・運営の事業報告並びに決算報告の件 (6) 2011年度事業報告の件 (7) 2011年度決算報告の件 (8) 新入会員承認の件 (9) 理事預かり金の件 	夢海游 淡路島

5. 委員会事業報告

理事長公室

担当	向内 英光	委員長	真野 貴司	副委員長	濱田 真輔
委員	有賀 雄一、河井 義樹、山口 智康、吉井 崇行				

総括報告

公室長 真野 貴司



まず、予定者の段階からたくさんの方々にご指導いただき、公室長を務めさせていただいた事に、心より感謝いたしております。畑野理事長の秘書的業務、向内専務の補佐、三役と委員長を結ぶパイプ役をしっかりとできたかという点に至らぬ点がたくさんあったかと思えます。反省点の多いところもありますが、自分の役割とはどのようなものかと考え、経験できたという点で大変有意義でありました。畑野理事長、向内専務には、この立場でないと経験し得ない大切なものを教えていただきましたし、公室メンバーには本当に色々な意味で助けていただきました。それらを踏まえ、関わってくださったすべての方々にお礼を申し上げ報告いたします。一年間ありがとうございました

委員会報告

年月日	場所	内容	出席者数
2010.9.27	事務局	所信・基本方針・役割分掌、公室長抱負、事業計画他	6名
11.30	事務局	公室長抱負、総合資料、公式訪問役員懇談会他	4名
12.23	事務局	名刺、名簿	4名
2011.2.7	事務局	名簿	3名
3.8	事務局	6月例会	4名
4.14	事務局	6月例会	4名
5.10	事務局	6月例会	3名
5.25	事務局	6月例会	6名
6.6	事務局	6月例会	6名
6.22	事務局	6月例会	6名
7.11	事務局	理事会準備	3名
8.2	事務局	理事会準備	4名
12.1	事務局	理事会準備	6名

事業報告

年月日	場所	内容	出席者数
2011. 2. 9	洲本市文化体育館	会員名簿発行	370名
6. 8	洲本市文化体育館	6月例会	49名

会員委員会

担当	沖田 和良	委員長	木下 紘二	副委員長	柴田 大介
委員	磯村 浩史、島田 実、新家 春輝、高見 恵文、福富 健介、富士元 明仁、村田 泰志				

総括報告

委員長 木下 紘二



予定者の段階から多くのメンバーの皆様から委員長としての心得をご指導いただき、1年間務めさせていただきましたこと、心より感謝いたします。社団法人淡路青年会議所 畑野理事長のもと、最初の御披露目としての事業「新年会」の設営に始まり、夏の地域参加型事業「淡路島まつりおどり大会」、1年を締めくくる最後の事業「クリスマス家族忘年会」といった、三者三様の事業の運営にあたりました。どれも反省の繰返しであったかと思えます。当委員会は会員の交流と親睦をテーマに進めて参りましたが、3つの事業を通じ、LOMメンバーの絆を育むことに繋がったかどうかは未知数ではありますが、委員会から廻りに元気を振りまく姿は大いに見せることが出来たのではないかと考えております。最後に、畑野理事長、沖田副理事長にはご指導をいただき、柴田副委員長には予定者段階から、委員会メンバーには要所要所の役割を担っていただき盛りたてていただいたことを心よりお礼申し上げ報告と致します。

委員会報告

年月日	場所	内容	出席者数
2010. 9. 27	夢海游淡路島	所信・基本方針・役割分掌、委員長抱負、事業計画他	7名
10. 7	事務局	委員長抱負、事業計画、新年会他	6名
10. 28	事務局	新年会	7名
11. 8	事務局	新年会	5名
11. 24	事務局	新年会	5名
11. 30	事務局	新年会	6名
12. 17	事務局	新年会	6名
12. 21	事務局	新年会	3名
12. 27	淡路夢泉景	新年会	4名
2011. 1. 6	事務局	新年会	3名
1. 10	淡路夢泉景	新年会リハーサル	4名
1. 11	事務局	新年会	4名
1. 30	はな甚	新年会	6名
3. 31	事務局	淡路島まつりおどり大会	4名

年月日	場所	内容	出席者数
4. 11	事務局	淡路島まつりおどり大会	4名
4. 19	事務局	淡路島まつりおどり大会	5名
4. 25	事務局	淡路島まつりおどり大会	6名
5. 2	もへいじ	淡路島まつりおどり大会	4名
5. 19	事務局	淡路島まつりおどり大会	5名
5. 27	事務局	淡路島まつりおどり大会	7名
6. 23	事務局	淡路島まつりおどり大会	8名
6. 28	事務局	淡路島まつりおどり大会	6名
7. 07	事務局	淡路島まつりおどり大会	4名
7. 12	事務局	淡路島まつりおどり大会	5名
7. 21	竹口海水浴場	淡路島まつりおどり大会 BBQ リハーサル	6名
7. 27	事務局	淡路島まつりおどり大会	4名
8. 23	事務局	淡路島まつりおどり大会	5名
9. 16	事務局	淡路島まつりおどり大会、家族忘年会	5名
9. 28	新家青果	家族忘年会	6名
10. 18	事務局	家族忘年会	4名
10. 28	事務局	家族忘年会	5名
11. 15	事務局	家族忘年会	6名
11. 30	事務局	家族忘年会	6名

事業報告

年月日	場所	内容	出席者数
2011. 1. 12	淡路夢泉景	新年会	
8. 6	厳島神社・竹口海水浴場	淡路島まつりおどり大会	58名
12. 17	淡路島観光ホテル	クリスマス家族忘年会	58名

拡大・渉外委員会

担当	沖田 和良	委員長	平川 智己	副委員長	岸本 篤人
委員	柏木 敏孝、斎藤 新太、飛松 孝治、中田 勝文、濱口 健一				

総括報告

委員長 平川 智己



本年度の拡大活動のテーマとして、理事長所信にもあります「若い力がまちを変えてゆく」と確固たる信念を持って活動してまいりました。様々な候補者に面談していると、自分もまちを変えてゆきたいと同じ志を持った方が多数、前期入会候補者説明会、後期入会候補者説明会に集まって頂きました。その中には各メンバーの方には情報収集から側面的なフォローも含め多大な協力を頂き、本当に感謝しております。これから卒業生が多くなっていく中で当初の目標人数に達成できなかったことは誠に残念ではございますが、先ほどにも述べたように志を持った、魅力的な候補者が新入会員へと繋がってくれたように思います。最後に、畑野理事長、沖田副理事長にはご指導をいただき、岸本副委員長には予定者段階から、委員会メンバーには要所要所の役割を担っていただき盛りたてていただいたことを心よりお礼申し上げ報告と致します。

委員会報告

年月日	場所	内容	出席者数
2010. 9. 27	夢海游淡路島	所信・基本方針・役割分掌、委員長抱負、事業計画他	6名
10. 7	事務局	委員長抱負、事業計画、他	5名
10. 28	事務局	入会案内冊子、LOMナイト、他	4名
11. 8	事務局	入会案内冊子、LOMナイト、他	5名
11. 24	事務局	入会案内冊子、他	5名
12. 2	事務局	入会案内冊子、他	6名
12. 9	事務局	入会案内冊子、他	5名
12. 16	事務局	入会案内冊子、LOMナイト、他	3名
2011. 1. 26	事務局	前期入会候補者説明会、他	4名
1. 30	事務局	前期入会候補者説明会、他	3名
2. 9	事務局	前期入会候補者説明会、他	4名
2. 23	事務局	前期入会候補者説明会、他	4名
2. 28	事務局	前期入会候補者説明会、他	6名
3. 01	事務局	前期入会候補者説明会、他	4名
3. 07	事務局	前期入会候補者説明会、他	4名
3. 11	事務局	前期入会候補者説明会、他	5名

年月日	場所	内 容	出席者数
3. 15	淡路島観光ホテル	前期入会候補者説明会リハーサル	6名
4. 12	事務局	前期入会候補者説明会決算、ゴルフ同好会、他	5名
5. 17	事務局	後期入会候補者説明会、ゴルフ同好会、他	7名
6. 09	事務局	後期入会候補者説明会、他	4名
6. 21	事務局	後期入会候補者説明会、他	5名
7. 07	事務局	後期入会候補者説明会、他	4名
8. 09	事務局	後期入会候補者説明会、他	5名
8. 18	事務局	後期入会候補者説明会、他	3名
9. 13	事務局	後期入会候補者説明会、他	4名
9. 23	事務局	後期入会候補者説明会、他	5名
9. 27	事務局	後期入会候補者説明会、他	5名
9. 30	淡路島観光ホテル	後期入会候補者説明会リハーサル	6名
10. 15	事務局	後期入会候補者説明会決算、卒業ゴルフコンペ、他	4名
12. 05	事務局	入会案内冊子決算他	5名

事業報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2011. 3. 16		前期入会候補者説明会	31名
9. 30		後期入会候補者説明会	27名

総務・広報委員会

担当	上河 護	委員長	三倉 克仁	副委員長	三原 正行
委員	滝本 佳範、西 浩平、柳 弘一郎、山下 勝久				

総括報告

委員長 三倉 克仁



まず初めに一年間、メンバーの皆様にはご指導ご協力いただき心より感謝いたします。総務・広報委員会は予定者の段階からホームページ、対内広報紙発行、総合資料、通常総会と上程議案が沢山あり、一年を通してホームページの管理や対内広報紙発行と走り続けていたよう思います。社団法人淡路青年会議所の活動やJC運動を多くの人に伝える為にHPなどを活用しTwitterやブログなど使いリアルタイムに情報発信してきました。そして対内においてはJCタイムズを発行しメンバー全員が意識共有できるように工夫してきましたが、いざ校正を考えてみると想像していたより難しく、一年が終わりかけて気付かされたことが沢山あります。色々な気付きや問題点は次年度以降に引き継いでいきます。また、今年度は総合資料を取りまとめてみて改めて過去を振り返る資料として総合資料の大切さに気付きました。最後に、畑野理事長始め上河担当並びに理事の方々にはご指導いただき沢山の気付きを与えていただきました。そして、三原正行副委員長始め委員会メンバーには本当に一年間助けていただき感謝しております。また、現役メンバー並びにOBの先輩方にも取材などのお願いを快く引き受けていただき本当に感謝しております。自分自身この一年間の経験が今後の活動に役立つと信じております。一年間本当にありがとうございました。

委員会報告

年月日	場所	内容	出席者数
2010.9.28	事務局	所信・基本方針・役割分掌、委員長抱負、事業計画他	4名
10.8	事務局	委員長抱負、事業計画、予算	4名
10.18	事務局	委員長抱負、事業計画、予算、ホームページ	4名
10.27	事務局	委員長抱負、事業計画、予算、ホームページ	4名
11.15	事務局	ホームページ、対内広報紙、総合資料	4名
12.2	事務局	ホームページ、対内広報紙、総合資料、通常総会	4名
12.20	事務局	ホームページ、対内広報紙、総合資料、通常総会	4名
2011.1.25	事務局	対内広報紙、ホームページ	4名
2.15	事務局	対内広報紙、ホームページ	4名

年月日	場 所	内 容	出席者数
3. 18	事務局	対内広報紙、ホームページ	4名
4. 27	事務局	対内広報紙、ホームページ	4名
5. 27	事務局	選挙管理委員会設置、選考委員選挙	4名
6. 23	事務局	選挙管理委員会設置、選考委員選挙、臨時総会	4名
7. 11	事務局	選挙管理委員会設置、選考委員選挙、臨時総会	4名
7. 27	事務局	臨時総会、選考委員選挙	4名
8. 25	事務局	対内広報紙、ホームページ	4名
9. 30	事務局	臨時総会、総合資料	4名
12. 5	事務局	褒賞委員会設置、総合資料	4名

事業報告

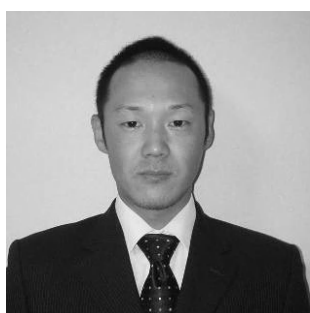
年月日	場 所	内 容	出席者数
2011. 1. 12	淡路夢泉景	第73回通常総会	43名
7. 13	洲本市文化体育館	選考委員選挙	50名
8. 10	洲本市文化体育館	第55回臨時総会	45名
12. 17	淡路島観光ホテル	第74回通常総会	名

例会委員会

担当	上河 護	委員長	中村 篤弘	副委員長	藤井 宏昌
委員	池澄 泰彦、片山 竜也、立木 健介、中西 仁志、法月 正義、藤井 実二、三原 聡				

総括報告

委員長 中村篤弘



先ず初めに一年間ご支援ご鞭撻頂きましたメンバーの皆さまに深く感謝致します。ありがとうございました。

例会委員会は定款にも定められております通り、月に一度メンバーが一斉に集う場であります。青年会議所活動の基本となる例会では、メンバーのことを考えながら内容を組立ていかなければなりません。本年は抱負を考えるに際し、9月例会を主と考え、青年経済人として、また Jaycee としてどのように成長していくかを考え遂行してまいりました。内容を組立てるにあたり、肝心である調査・研究を怠り手法より入ってしまったため、芯となるものが見えなく、委員会運営もままならないものとなってしまいました。しかし、回数を重ねる毎に芯となるものが確立されてきたように感じます。それからは委員会運営もスムーズに行うことができるようになり、委員会自身にもまとまりが出てきたように思えます。

本年は例会開会時に行われるセレモニーを声高らかに行うことを基本方針の一つとして掲げてまいりました。国歌及び JC ソング斉唱、JCI クリード唱和、JC 宣言朗読並びに綱領唱和、これらは青年会議所の基となっているものであります。「外装整えば内装おのずと熟す」という諺がある通り、声高らかに行うことによってメンバー一人ひとりの奥底に落とし込むことができると考え例会委員会メンバーが率先してやり抜いたことは本年の実りであったと感じております。

この一年を通し、委員会メンバー、そして理事メンバーの皆さま方より多大なるご指導、ご鞭撻を頂けたお陰で私自身大きな飛躍を遂げたと感じている次第であります。毎月上程する中で、くじけそうになる時期もありましたが、それを乗り越えてこそ自信にも繋がり成長にも繋がるものと身をもって感じられたことは、本当に貴重な経験をさせて頂いたと思っております。一年間本当にありがとうございました。

委員会報告

年月日	場所	内容	出席者数
2010.9.27	淡路島観光ホテル	所信・基本方針・役割分掌、委員	9名

年月日	場 所	内 容	出席者数
10. 4	事務局	長抱負、事業計画他	6名
10.18	事務局	委員長抱負、年間事業計画・予算、1月例会	7名
10.28	事務局	委員長抱負、年間事業計画・予算、1月例会	4名
11.12	事務局	委員長抱負、年間事業計画・予算、1月例会	8名
12. 3	事務局	委員長抱負、年間事業計画・予算、1月・2月例会	4名
12.22	事務局	委員長抱負、年間事業計画・予算、1月～4月例会	4名
2011.1. 6	事務局	1月～4月例会	8名
1.10	事務局	1月～5月例会、委員会配属	10名
1.20	事務局	1月例会リハーサル	7名
1.26	事務局	1月～5月例会	9名
2. 8	事務局	2月～4月例会	8名
2.23	事務局	2月例会リハーサル、5月例会	4名
3. 8	事務局	1月例会決算、3月～6月例会	6名
3.22	事務局	2月例会決算、3月～6月例会	8名
3.30	事務局	2月3月例会決算、4～6月例会	8名
4.12	五色中学校	2月例会決算、4～6月例会	7名
4.26	事務局	4月例会	5名
5.10	事務局	3月例会決算、4～7月例会	7名
5.17	事務局	5～7月例会	6名
5.25	事務局	4月例会決算、5～8月例会	7名
5.30	事務局	4月5月決算、6～8月例会	6名
6. 6	事務局	6～8月例会、アテンダンス確認	8名
6.17	事務局	6～8月例会	4名
6.29	事務局	6月例会決算、7～9月例会	7名
7. 4	事務局	5月6月決算、7～9月例会	7名
7.11	事務局	8～9月例会	8名
7.20	事務局	7月～10月例会	6名
7.27	事務局	7月例会決算、8～9月例会	3名
8. 4	事務局	8～10月例会	6名
8. 9	事務局	8～10月例会	8名
8.19	事務局	8～9月例会	5名
8.24	事務局	8月例会決算、9～10月例会	6名
8.31	事務局	8月例会決算、9～11月例会	7名
9. 9	事務局	9～11月例会	5名
9.13	事務局	9～11月例会	8名
9.28	事務局	9～11月例会	8名
10.11	事務局	9月例会決算、10～12月例会	5名
10.28	事務局	10～12月例会	6名
11. 4	事務局	9月例会決算、11～12月例会	6名
11. 8	夢海游 淡路島	11月例会リハーサル	7名
12. 1	事務局	10月・11月例会決算、12月例会	6名
12.16	事務局	12月例会リハーサル	
12.19	事務局	12月例会決算	

事業報告

年 月 日	場 所	内 容	出席者数
2011. 1. 12	淡路夢泉景	1 月例会	49 名
2. 9	洲本市文化体育館	2 月例会	50 名
3. 9	洲本市文化体育館	3 月例会	45 名
4. 13	洲本市文化体育館	4 月例会	44 名
5. 11	洲本市文化体育館	5 月例会	45 名
6. 8	洲本市文化体育館	6 月例会	49 名
7. 13	洲本市文化体育館	7 月例会	55 名
8. 10	洲本市文化体育館	8 月例会	45 名
9. 14	洲本市文化体育館	9 月例会	48 名
10. 12	洲本市文化体育館	10 月例会	47 名
11. 9	夢海游淡路島	11 月例会	64 名
12. 17	淡路島観光ホテル	12 月例会	名

未来創造委員会

担当	廣井 公壽	委員長	出口 利一	副委員長	川越 勇輔
委員	池尻 明人、辰野 慶太、仲野 正倫、原田 啓行、美摩 武臣				

総括報告

委員長 出口 利一



まず、予定者の段階からたくさんの方々にご指導いただき、委員長を務めさせていただいた事に、心より感謝いたしております。社団法人淡路青年会議所の青少年事業として様々な調査研究を行い、企画設営致しましたが、天候悪化による順延にてわんぱく相撲淡路場所のみの開催となりました。しかし委員会メンバーと前日まで取組んできた過程は私にとって大切な経験となりました。10月例会においても過去の周年について調査研究する中諸先輩方がどのような想いで周年を行ったのかを資料や諸先輩方に直接会い、お話を聞くことで周年の大切さを再認識する事ができました。

最後に、廣井担当副理事長には細部までご指導をいただき、川越副委員長には予定者段階から、積極的に行動して頂き、10月例会で本領発揮、委員会メンバーには要所要所きっちり参加、そして自分の役割をしっかりと成し遂げて頂いたことを心よりお礼申し上げ報告と致します。

委員会報告

年月日	場所	内容	出席者数
2010.10. 1	事務局	所信・基本方針・役割分掌、抱負、事業計画他	5名
10.29	事務局	抱負、役割分掌、年間上程スケジュール他	5名
12.28	事務局	第17回わんぱく相撲淡路場所	2名
2011. 1.14	事務局	第17回わんぱく相撲淡路場所	4名
1.20	津名スポーツセンター	淡路市相撲連盟打合せ、第17回わんぱく相撲淡路場所	3名
1.26	事務局	第17回わんぱく相撲淡路場所	3名
2. 7	事務局	第17回わんぱく相撲淡路場所	4名
2.16	事務局	第17回わんぱく相撲淡路場所	3名
3.31	事務局	第17回わんぱく相撲淡路場所	5名
4.12	事務局	第17回わんぱく相撲淡路場所	4名
4.26	柳学園	第17回わんぱく相撲淡路場所	5名
5. 9	事務局	第17回わんぱく相撲淡路場所	4名
5.19	事務局	第17回わんぱく相撲淡路場所	6名
5.21	柳学園	第17回わんぱく相撲淡路場所	3名

年月日	場 所	内 容	出席者数
5. 22	柳学園	第 17 回わんぱく相撲淡路場所	7 名
5. 24	事務局	第 17 回わんぱく相撲淡路場所	4 名
5. 26	事務局	第 17 回わんぱく相撲淡路場所	6 名
5. 27	柳学園	第 17 回わんぱく相撲淡路場所	4 名
5. 28	事務局	第 17 回わんぱく相撲淡路場所	7 名
6. 3	事務局	第 17 回わんぱく相撲淡路場所	4 名
6. 4	柳学園	第 17 回わんぱく相撲淡路場所	6 名
6. 15	事務局	第 17 回わんぱく相撲淡路場所決算、兵庫ブロック大会	5 名
7. 28	事務局	10 月例会	2 名
8. 17	事務局	10 月例会	3 名
8. 24	事務局	10 月例会	5 名
9. 23	事務局	10 月例会	2 名
9. 28	事務局	10 月例会	3 名
10. 7	事務局	10 月例会	4 名
10. 10	事務局	10 月例会	4 名
10. 11	事務局	10 月例会	5 名
11. 16	事務局	10 月例会決算、その他	4 名
11. 25	事務局	10 月例会決算、その他	6 名

事業報告

年月日	場 所	内 容	出席者数
2011. 6. 5	柳学園	第 17 回わんぱく相撲淡路場所 ～挑戦 新たな可能性に向かって～	33 名 選手 34 名
6. 19	サンシビック尼崎	わんぱく相撲兵庫ブロック大会	7 名
10. 12	洲本市文化体育館	10 月例会	47 名

社会開発委員会

担当	上村 雄二郎	委員長	大畑 一也	副委員長	笹津 寛照
委員	出田 裕重、川本 康仁、久米 基支、高津 知也、小谷 敦朗、寺岡 良祐、長尾 泰宏 横山 泰明				

総括報告

委員長 大畑 一也



本年度は、社会開発委員会の委員長としてたくさんの皆様にご協力を頂き、委員会活動を行うことが出来ました。笹津副委員長をはじめ、委員会メンバーには勿論のこと、現役メンバー、谷村先輩を始めとするOB諸先輩の皆様、そして行政関係の皆様のおかげで10月に淡路島一市フォーラムが開催できました。開催まで紆余曲折あり、講師やパネリストの変更、会場の変更など、様々なところで多くの方にはご迷惑をおかけすることになり、大変申し訳なく思います。そのような中、社会開発委員会の事業が行えたことは、皆様に支えられているということが改めて実感いたしました。一年間、本当にありがとうございました。

年月日	場所	内容	出席者数
2010.9.27	淡路島観光ホテル	所信・基本方針・役割分掌、委員長抱負、事業計画他	5名
10.14	事務局	委員長抱負、他	2名
11.08	事務局	委員長抱負、他	4名
12.02	事務局	委員長抱負、3月例会、他	2名
12.14	事務局	3月例会、他	7名
2011.1.14	事務局	3月例会、他	5名
1.20	事務局	3月例会、他	5名
2.15	事務局	3月例会、社会開発事業、他	3名
2.28	事務局	3月例会、社会開発事業、他	5名
3.03	事務局	3月例会、社会開発事業、他	3名
3.07	事務局	3月例会、社会開発事業、他	5名
3.08	事務局	3月例会、社会開発事業、他	4名
3.19	事務局	3月例会決算、社会開発事業、他	2名
3.30	事務局	社会開発事業、他	4名
4.14	事務局	社会開発事業、他	6名
4.20	事務局	社会開発事業、他	8名
5.17	事務局	社会開発事業、他	4名
5.26	事務局	社会開発事業、他	6名
6.15	事務局	社会開発事業、他	7名

年月日	場所	内 容	出席者数
7. 20	事務局	社会開発事業、他	6名
7. 21	事務局	社会開発事業、他	4名
8. 02	事務局	社会開発事業、他	6名
8. 16	事務局	社会開発事業、他	5名
8. 31	事務局	社会開発事業、他	4名
9. 13	事務局	社会開発事業、他	5名
9. 17	事務局	社会開発事業、他	4名
10. 01	事務局	社会開発事業、他	6名
10. 04	事務局	社会開発事業、他	7名
10. 06	事務局	社会開発事業、他	6名
10. 11	事務局	社会開発事業、他	6名
10. 14	事務局	社会開発事業、他	7名
11. 15	事務局	社会開発事業決算、他	3名

事業報告

年月日	場所	内 容	出席者数
2011. 3. 9	洲本市文化体育館	3月例会	48名
10. 15	ホテルニューアワジ	淡路島一市フォーラム	373名

6. 委員会別事業決算明細

委員会別事業決算明細(1)

委員会名	事業名称	収入の部		支出の部		差額 (A) - (B)	処分方法			
		科目	予算額	決算額 (A)	科目			予算額	決算額 (B)	
理事長公室	合計		315,000	315,000		315,000	305,000	10,000		
	会員名簿作成	委員会事業費	315,000	315,000	資料作成費	305,000	305,000			委員会事業費に繰り戻す
		予備費				10,000				
	小計		315,000	315,000	小計	315,000	305,000	10,000		
会員委員会	合計		4,131,000	3,693,000		4,131,000	3,684,939	8,061		
	新年会	委員会事業費	280,000	280,000	会場設営費	251,250	251,250			委員会事業費に繰り戻す
		登録料収入	1,695,000	1,620,000	広告費	6,061	5,616			
					懇親会費	1,695,000	1,620,000			
					雑費	14,580	16,207			
					予備費	8,109	798			
		小計	1,975,000	1,900,000	小計	1,975,000	1,893,871		6,129	
	淡路島まつり踊り大会	委員会事業費	180,000	180,000	会場設営費	166,290	166,290			委員会事業費に繰り戻す
		登録料収入	222,000	108,000	資料作成費	798	798			
		登録料収入	444,000	222,000	広告費	320	480			
					懇親会費	666,000	330,000			
					保険料	5,000	5,000			
				雑費	5,500	5,500				
				予備費	2,092	0				
		小計	846,000	510,000	小計	846,000	508,068		1,932	
	クリスマス家族忘年会	委員会事業費	450,000	450,000	会場設営費	52,500	52,500			
		登録料収入	860,000	833,000	資料作成費	798	798			
					懇親会費	1,182,050	1,155,050			
					参加記念品	51,100	51,100			
					印刷費	5,235	5,235			
			通信費	4,320	4,320					
			雑費	2,110	2,110					
			予備費	11,887	11,887					
	小計	1,310,000	1,283,000	小計	1,310,000	1,283,000		0		
拡大渉外委員会	合計		108,600	108,600		108,600	107,096	1,504		
	前期入会候補者説明会	委員会事業費	27,800	27,800	会場設営費	26,250	26,250			委員会事業費に繰り戻す
					資料作成費	798	798			
					予備費	752	0			
		小計	27,800	27,800	小計	27,800	27,048		752	
	後期入会候補者説明会	委員会事業費	27,800	27,800	会場設営費	26,250	26,250			委員会事業費に繰り戻す
					資料作成費	798	798			
				予備費	752					
	小計	27,800	27,800	小計	27,800	27,048		752		
入会案内冊子の作成	委員会事業費	53,000	53,000	資料作成費	51,400	51,500			委員会事業費に繰り戻す	
				予備費	1,600	1,500				
	小計	53,000	53,000	小計	53,000	53,000		0		
総務・広報委員会	合計		579,000	579,000		579,000	578,799	201		
	総合資料作成	委員会事業費	1,000	1,000	資料作成費	870	799			委員会事業費に繰り戻す
					予備費	130	0			
		小計	1,000	1,000	小計	1,000	799		201	
	ホームページの立ち上げ 管理・運営	委員会事業費	162,000	162,000	資料作成費	160,000	160,000			委員会事業費に繰り戻す
					予備費	2,000	2,000			
		小計	162,000	162,000	小計	162,000	162,000		0	
	対内広報紙発行	委員会事業費	416,000	416,000	資料作成費	402,000	402,000			委員会事業費に繰り戻す
					予備費	14,000	14,000			
		小計	416,000	416,000	小計	416,000	416,000		0	
未来創造委員会	合計		701,350	701,350		701,350	641,879	59,471		
	第17回わんぱく相撲 淡路場所	委員会事業費	700,000	700,000	会場設営費	228,450	210,650			委員会事業費に繰り戻す
					講師関係費	311,100	305,250			
					資料作成費	3,990	3,990			
					広告費	66,752	66,752			
					保険料	24,200	4,114			
					参加記念品	6,840	8,886			
					通信費	1,040	1,040			
					雑費	40,000	40,000			
				予備費	17,628	0				
	小計	700,000	700,000	小計	700,000	640,682		59,318		
10月例会 温故知新	委員会事業費	1,350	1,350	資料作成費	1,197	1,197			委員会事業費に繰り戻す	
				予備費	153					
	小計	1,350	1,350	小計	1,350	1,197		153		

委員会別事業決算明細(2)

委員会名	事業名称	収入の部		支出の部		差額 (A) - (B)	処分方法		
		科目	予算額	決算額 (A)	科目			予算額	決算額 (B)
社会開発委員会	合計		1,868,500	1,868,500		1,868,500	1,332,674	535,826	
	3月例会 淡路はひとつ!淡路一市運動	委員会事業費	8,500	8,500	会場設営費	3,150	3,150	0	委員会事業費に繰り戻す
					講師関係費	4,500	4,500		
					資料作成費	798	798		
		小計	8,500	8,500	予備費	52	0		
	淡路島一市フォーラム	委員会事業費	1,860,000	1,860,000	会場設営費	462,200	301,869		委員会事業費に繰り戻す
					講師関係費	321,250	311,250		
					資料作成費	135,492	138,477		
					広告費	541,940	539,140		
					通信費	10,910	30,510		
		小計	1,860,000	1,860,000	雑費	10,000	2,980		
			予備費	378,208	0				
	合計		584,700	584,700		584,700	550,670	34,030	
例会委員会	1月例会	委員会事業費	38,300	38,300	会場設営費	36,750	36,750		委員会事業費に繰り戻す
					資料作成費	798	798		
		小計	38,300	38,300	予備費	752	0		
	2月例会	委員会事業費	22,800	22,800	会場設営費	21,250	15,250		委員会事業費に繰り戻す
					資料作成費	798	798		
		小計	22,800	22,800	予備費	752	0		
	3月例会	委員会事業費	21,250	21,250	会場設営費	20,750	20,750		委員会事業費に繰り戻す
					予備費	500	0		
		小計	21,250	21,250	小計	21,250	20,750	500	
	4月例会	委員会事業費	60,550	60,550	会場設営費	25,250	19,250		委員会事業費に繰り戻す
					講師関係費	26,500	26,500		
					資料作成費	798	798		
					保険料	6,100	6,100		
		小計	60,550	60,550	予備費	1,902	0		
	5月例会	委員会事業費	234,800	234,800	会場設営費	25,900	24,400		委員会事業費に繰り戻す
					講師関係費	203,150	203,150		
					資料作成費	798	798		
					通信費	240	80		
		小計	234,800	234,800	予備費	4,712	0		
	6月例会	委員会事業費	22,800	22,800	会場設営費	21,250	19,250		委員会事業費に繰り戻す
					資料作成費	798	798		
		小計	22,800	22,800	予備費	752	0		
	7月例会	委員会事業費	22,800	22,800	会場設営費	20,750	20,750		委員会事業費に繰り戻す
					資料作成費	798	798		
					雑費	450	450		
					予備費	802	0		
		小計	22,800	22,800	小計	22,800	21,998	802	
	8月例会	委員会事業費	22,800	22,800	会場設営費	21,250	20,250		委員会事業費に繰り戻す
				資料作成費	798	798			
小計		22,800	22,800	予備費	752	0			
9月例会	委員会事業費	22,800	22,800	会場設営費	21,250	20,250		委員会事業費に繰り戻す	
				資料作成費	798	798			
	小計	22,800	22,800	予備費	752	0			
10月例会	委員会事業費	22,800	22,800	会場設営費	21,250	21,250		委員会事業費に繰り戻す	
				資料作成費	798	798			
	小計	22,800	22,800	予備費	752	0			
11月例会	委員会事業費	65,000	65,000	会場設営費	43,050	43,050		委員会事業費に繰り戻す	
				資料作成費	798	798			
				雑費	19,550	17,210			
				予備費	1,602	0			
	小計	65,000	65,000	小計	65,000	61,058	3,942		
12月例会	委員会事業費	28,000	28,000	会場設営費	26,250	26,250		委員会事業費に繰り戻す	
				資料作成費	798	798			
	小計	28,000	28,000	予備費	952	952			
	合計		28,000	28,000	小計	28,000	28,000	0	

7. 直前理事長報告

直前理事長 後藤 英範



2011年度は畑野理事長の下、直前理事長という立場で一年間を過ごさせていただきました。まずは一年間しかないこの貴重な経験をさせていただきましたことに感謝申し上げます。

この一年、理事長を筆頭に2011年度の組織が描く「明るい豊かな淡路島づくり」のお手伝いをさせていただこうと邁進してまいりました。直前理事長という立場の難しさを実感することも多々ありましたが、そこは私のモットーでもあります「自分らしく」で乗り越えてきたように感じます。メンバー数も減少する中、昨年の理事長という役職が終わったからといって、のんびりしてはいけないと思い、様々なところで経験則から得た自分の考えをばらまいてまいりました。時には2011年度の進行を遅れさせてしまうこともあったように感じます。しかしながら青年会議所という団体は、しっかりと腰を据えて年初の思い描いたものを実現させていく団体であります。時には進行が遅れたり、軌道に乗らなかったり、紆余曲折があったり……。私はそれでいいと思っています。回り道が出来ることもこの団体の素晴らしさであると思います。そして今後もしっかりと調査研究の上、例年通りだからというのではなく、本質を追い求めていっていただきたいと思います。

私自身、この社団法人淡路青年会議所を卒業するまで、まだあと2年あります。これからもメンバーの皆様と共に「明るい豊かな淡路島づくり」の為、信念を持って行動していくことをお約束申し上げ、一年の報告とさせていただきます。

8. 出 向 報 告

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会 近畿地区大会運営委員会

委 員 柏木 敏孝



近畿地区大会運営委員会に出向させていただきました。兵庫ブロック会員大会には出席した経験はあったのですが、近畿地区に委員として出向するのは初めてで、初めは緊張感と初対面の人が多い中の新鮮さに楽しさを感じていました。他 LOM の人と関って思ったのは、設営の面、おもてなし等淡路の良さばかりでした。出席してきた中で、多くのメンバーとの絆もできました。出向させていただいたことに感謝し、淡路のメンバーとして今後誇りをもって活動できるようにがんばって行きたいと思えます。一年間ありがとうございました。

した。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2011. 2. 19	西宮市民会館	近畿地区大会 西宮大会
3. 10	西宮神社会館	
4. 16	亀岡青年会議所	
5. 14	天理青年会議所	
6. 18	寝屋川市民会館	
7. 8	ホテル甲子園	
8. 6	西宮ヨットハーバー他	

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会

近畿スタイル確立委員会

委員 長尾 泰宏



本年度、近畿地区協議会 近畿スタイル確立委員会に出向させて頂きました。近畿地区への出向は初めてで不安もありましたが、今までにない新たな学び、そして友人の輪を広げることができました。このような機会を与えて頂いた事に感謝しまして、報告と致します。

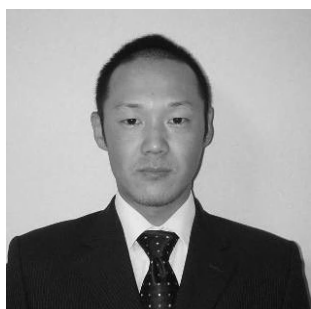
出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
1. 21	国立京都国際会館	第1回委員会
4. 22	滋賀	第4回委員会
8. 6	阪急西宮ガーデンズ	近畿地区人間力大賞 最終選考会

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

財政特別委員会

委員 中村 篤弘



兵庫ブロック協議会 財政特別委員会へ出向させて頂きました。財政特別委員会の役割としましては、兵庫ブロックとしての会計基準、コンプライアンスを遵守されているか、適正な形をもって予算立てされているか等々を入念に確認する委員会であります。当委員会が開催するコンプライアンス審査会において適正であると認められない限り、事業に至ることはできない程、重要な位置付けを担っています。そのような重役を担う委員会配属となり、とても重たい委員会になるのではないかと予測をしておりました。追い打ちをかけるかのように、予定者の段階にて委員長が「面白くない委員会」発言をされたのを今でも鮮明に覚えております。しかし、実際に委員会が開催されると、私の予測、委員長の発言が全く外れ、とても盛んで活発な委員会になっていました。委員会メンバーの中には、直前理事長や専務理事経験者といった経験豊富な方々が多く、青年会議所の様々なことを教えて頂いたように感じています。

この一年を通じ、青年会議所活動において、コンプライアンスの重要性やメンバーとの関わりの大切さを改めて認識することができたと実感しております。ブロック出向していなければ、財政特別委員会のメンバーと友情、絆を深めることも出来ていません。また他の委員会の委員長とも出会うこともありませんでした。本当にこのような貴重な機会を与えて頂いたことに感謝し、出向者報告と変えさせていただきます。本当にありがとうございました。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2011. 1. 8	加古川商工会議所	第1回委員会
2. 6	ポートピアホテル本館	第2回委員会
3. 5	西宮商工会議所	第3回委員会
4. 2	西脇市生涯学習センター	第4回委員会
5. 14	尼崎スポーツの森	第5回委員会
6. 4	尼崎スポーツの森	第6回委員会
7. 2	龍野 梅玉旅館	第7回委員会
7. 30	尼崎市中小企業センター	第8回委員会
9. 10	淡路 大浜海水浴場	第9回委員会
10. 8	加古川商工会議所	第10回委員会
11. 5	篠山市商工会丹南商工会館	第11回委員会

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫の魅力創造会議

議 員 大畑 一也



本年度は公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会 兵庫の魅力創造会議に出向させていただきました。兵庫県知事との懇談会の設営や、中学生県議会の設営など、学ばせていただく機会が多く、大変勉強になりました。本当にありがとうございました。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2010.11.18	神戸	所信・基本方針・役割分掌、抱負、事業計画他
2011.1.18	神戸	兵庫県知事との懇談会、中学生県議会、他
2.06	明石	兵庫県知事との懇談会、中学生県議会、他
2.20	尼崎	兵庫県知事との懇談会、中学生県議会、他
3.10	丹波	兵庫県知事との懇談会、中学生県議会、他
4.06	高砂	兵庫県知事との懇談会、中学生県議会、他
5.13	小野加東	兵庫県知事との懇談会、中学生県議会、他
6.04	明石	兵庫県知事との懇談会、中学生県議会、他
6.27	姫路	兵庫県知事との懇談会、中学生県議会、他
7. 1	兵庫県公館	兵庫県知事との懇談会
8.23	議会議事堂	中学生県議会
9.09	加古川	兵庫県知事との懇談会、中学生県議会、他
10.09	豊岡	兵庫県知事との懇談会、中学生県議会、他

公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

会員大会運営委員会

委員 出口 利一



本年度、兵庫ブロック協議会 会員大会運営委員会に出向させて頂きました。「第44回会員大会尼崎大会」は台風の影響に伴い開催中止となりました。しかし社団法人尼崎青年会議所の皆様と共に委員会メンバーが大会成功に向け大会前日まで多く議論を交わした過程と多くの友人を作ることが出来た事は私にとって大きな経験となりました。このような機会を与えてくださった方々に感謝申し上げます。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2010. 11. 21	神戸国際会議場	第1回会員大会運営予定者委員会
2011. 1. 29	川西市商工会館	第1回会員大会運営委員会
2. 6	ポートピアホテル	第2回会員大会運営委員会
3. 5	香住文化会館	第3回会員大会運営委員会
4. 2	尼崎スポーツの森 会議室	第4回会員大会運営委員会
5. 14	篠山商工会 丹南振興部	第5回会員大会運営委員会
6. 4	尼崎スポーツの森 会議室	第6回会員大会運営委員会
7. 2	姫路市民会館	第7回会員大会運営委員会
7. 30	尼崎中小企業センター	第8回会員大会運営委員会
8. 27	尼崎スポーツの森 会議室	第9回会員大会運営委員会
9. 2	尼崎スポーツの森 会議室	第9回会員大会運営委員会
11. 19	夢海遊 淡路島	第10回会員大会運営委員会

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区兵庫ブロック協議会

戦略広報委員会

委員 三倉 克仁



今年度、兵庫ブロック協議会 戦略広報委員会に出向させていただきました。戦略広報委員会とは、ブロックの活動は勿論のこと、26LOMの事業や活動までも多くの人に知って頂けるようHPなどを活用し情報発信していく委員会であります。また、京都会議やサマコンにおいてはブロックナイトの設営も当委員会の担当であり、今年度は近畿地区大会が西宮で開催されたのですが、その時のブース出展も役割でありました。京都や横浜でブロック 26LOMの皆様が交流を深められる演出・空間づくりには大変こだわりを持って行いました。

そんな中で各LOMナイトの場所・時間を把握して、連絡調整には大変苦労いたしました。その経験が改めて連絡調整の大切さを教えてくれました。近畿地区大会のブース出店では何を提供すれば兵庫の魅力を発信できるのか？から委員会で議論されました。当日まで委員会が一丸となって作り上げた事、そして当日完売した時は今までの苦労が報われ何とも言えない達成感を委員会メンバーで共有する事ができました。色んな設営等もある中で記録保存もしなければいけないので思っていた以上に忙しかったように感じました。しかし、忙しかったおかげで委員会においても皆が活発に意見を出し合い、委員会内で役割を決め凄く充実した委員会活動でありました。

この一年間、兵庫ブロック協議会 戦略広報委員会で活動させていただき様々な体験をすることが出来ました。そんな中で多くの人と関わりを持ち、色んな考え方を知ることができ委員会メンバーとも友情を深めることができました。このような貴重な経験をさせていただいたことに感謝いたします。本当にありがとうございました。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2010. 11. 21	神戸国際会議場	予定者委員会
2011. 1. 17	三田市	第1回委員会
2. 6	神戸国際会議場	第2回合同委員会
3. 15	ホテル姫路プラザ	第3回委員会
4. 13	三木市立教育センター	第4回委員会
5. 11	加古川市	第5回委員会
6. 22	西宮市立勤労会館	第6回委員会
7. 16	パシフィコ横浜	第7回委員会（サマコン）
8. 6	新西宮ヨットハーバー	第8回委員会（近畿地区大会）
9. 3	※台風の為、中止	第9回委員会（会員大会）

公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区兵庫ブロック協議会

日本 JC 連携推進委員会

副委員長 木下 紘二



当委員会は、国民の祝日にあたる憲法記念日に際し、日本国憲法について国民とともに考える場を創出し、憲法の改定の是非を問うものではなく、より身近なものにするための機会ととらえ、～国民ひとりひとりの幸せを考えよう～をテーマとし開催を致しました。憲法という普段あまり聞きなれないものを、どう身近に感じてもらうか、パネルディスカッション形式のフォーラムのキャスティング、告知方法など、委員会で議論を積み重ね進めて参りました。また本事業は継続事業であり、また日本全国で同時期に開催され、時代背景も視野に入れながら地域ごとの特徴を活かすことを視野に入れ進めて参りました。パネラーには、神戸市出身で憲法9条についての主張や、国家安全保障等について詳しい青山繁晴氏や、当時尖閣諸島中国漁船衝突映像流出事件において最初に投稿し、元神戸海上保安本部所属の一色正春氏をお招きし、コーディネーターはABC朝日放送の報道部記者島田大アナに努めていただき、事業の開催となりました。本当にいい結果になったと実感致します。私個人としては、初めて取り組む内容に戸惑いを隠せないながらも、副委員長として会の運営に注力し、委員長と委員の皆さんのサポート役に廻り、他LOMから出向の方々の経験や体験談を聞かせていただきながら、手さぐり状態の中すすめて参りました。そして事業当日は司会を仰せつかり、よき経験をさせていただきました。初めての出向に際し、これらの貴長な経験を、自身のLOMの個人の活動に少しは活かせるのではないかと考えております。このような機会をさせていただきましたことに、改めて感謝を申し上げます。

さて、我々は「奉仕」「修練」「友情」の三信条の元活動を行っておりますが、ブロックでは、普段交流の無かった者同士が集まり、たったの1年間で事業を組み立て、事業を終えた後には良き関係構築に繋がっている様を間近で体験し、JCの持つ未知の可能性について垣間見た気がします。そして、人は人に支えられていることをつくづく感じた次第です。この一年間の出向で得た人と人とのつながりは、今後の人生の糧となり、そして組織も同じように異なる外部との交流が組織を強くしていくように思います。

最後になりましたが、皆様これからもよろしく願いいたします。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2010. 11. 21	神戸国際会議場	予定者委員会
2011. 1. 16	淡路島「ホテルニューアワジ」	第1回委員会
2. 6	神戸国際会議場	第2回合同委員会
3. 19	(社)尼崎青年会議所	第3回委員会
4. 16	三木市「 」	第4回委員会
4. 30	(社)神戸青年会議所	第5回委員会
5. 3	神戸市「レヴァンテホール」	ブロック事業 ～憲法アクションDay's in HYOGO～
5. 14	神戸市「 」	第6回委員会
7. 22	加古川「かき庄」	第7回委員会
8. 27	※忌引き	
11. 5	豊岡「西村屋招月庭」	第9回委員会

公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
 会員拡大実践会議

委員 平川 智己



本年度お世話になりました拡大実践会議では、JCの入会資格には40歳までというルールがある中で、近年の入会者減少に加えて入会時年齢が高いことから在籍年数が短くなり、各LOMメンバーの顔触れが5年もすると大きく変わる現状がある中で、JC活動において最も永きに亘って継続している主要な事業は拡大であると考え、その認識をすべてのメンバーに行き届ける為に議論させて頂きました。拡大に対する意識高揚を掲げて「拡大セミナー」を各エリアで開催し、各地各所で拡大の現状や拡大に関する沢山の諸問題や悩みを聞かせて頂きました。

出向者メンバーまた各理事長へアンケートをお願いして、それに基づき議論がなされました。LOMの事業一つ一つが拡大活動であると認識できましたし、情報発信の手段が近年、多様化されてもきていました。また休会者へのフォローなど、様々な角度での情報が得られました。非常に重たいテーマでありましたが峰議長には、楽しく一年を過ごさせて頂きました。非常に感謝しております。貴重な経験を生かし、これからのLOMの拡大において少しでも力になればと思っております。本当にありがとうございました。

出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2010. 11. 21	神戸	予定者委員会
2011. 1. 20	神戸	第1回委員会
2. 6	神戸	第2回合同委員会
2. 12	神戸	第3回委員会
3. 26	小野加東	第5回委員会
5. 14	神戸	第7回委員会
6. 18	尼崎	第8回委員会
8. 8		第10回委員会

公益社団法人 日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会
兵庫アカデミー委員会

委員 法月 正義



2011年度、出向する機会を与えて頂いた理事長はじめ、理事の皆様、メンバーの皆様に感謝致します。本当にありがとうございました。成果と致しましては、目標としておりました以上に、播淡8JCを中心に、叱咤激励し合える仲間がたくさん出来ました。はじめは少々萎縮してしまった場面もありましたが、藤井宏昌君と三原正行君の御協力もあり、何とか自分をオープンにしてチャレンジすることが出来ました。今後もこの経験を活かしてJC活動に励みます。ありがとうございました。

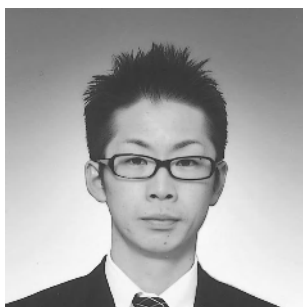
出 向 記 録

年 月 日	場 所	内 容
2010. 11. 21	ポートピアホテル	第1回兵庫アカデミー委員会
2011. 02. 6	ポートピアホテル	第2回兵庫アカデミー委員会
02. 26	八高原 (パークホテル白樺館)	講師：横山 寛 先輩 第1回ブロックアカデミー事業 プロジェクトアドベンチャー
02. 27		講演：一ノ本達己先輩
05. 14	YMCA 六甲山研修センター	第2回ブロックアカデミー事業 六甲山トレッキング
07. 9	兵庫県立総合体育館	第3回ブロックアカデミー事業 経営品質向上プログラム 講師：吉川秋芳 基調講演：(株)ベル 代表取締役 奥 斗志雄

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫アカデミー委員会

委員 藤井 宏昌



今年度、兵庫ブロック協議会兵庫アカデミー委員会へ出向させて頂きました。体験型、研修型の各々の事業を通して、他ロムのメンバーと多くの関わりを持つ事が出来、その中で、自己修練と共に友情を育む事も出来ました。様々な御意見や考え方、新たな情報を吸収させて頂いた事は、自分自身のスキルアップに繋がり、今後へ役立たせて行きたいと考えております。本当にこの様な機会を与えて下さり有り難うございました。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫アカデミー委員会

委員 三原 正行



このたび、兵庫ブロック協議会兵庫アカデミー委員会に出向させて頂きました。様々な研修事業に参加させていただき事で今後のJC活動の糧となる貴重な経験をさせて頂きました。

第2回研修事業の六甲山トレッキングでは日頃の運動不足がたたり大変でしたが他LOMのメンバーと協力し合い乗り越える事で友情を育む事ができました。今回このような機会を与えて下さり本当にありがとうございました。

9. 監 事 報 告

監 事 木 原 慎 陽



畑野理事長をはじめとするメンバーの皆様、予定者段階からですと一年半の間本当にお疲れ様でした。出来不出来の評価は別にして予定していたすべての事業が遂行されましたことに敬意を表したいと思います。

本来、監事は各事業が目的に沿ってなされているか、予算の執行状況、社団法人として公の益につながっているか等々を見させていただきながら冷静に意見をさせていただく立場であると思いますが、私の場合私自身が経験してきた中で感じたこと、思ったことを十分に伝えることを目標にしてきましたので、時には感情的になり誤解を招く事があったと思いますが、ある程度は、今までの経験をお伝え出来たと思っています。

最後に、変えていくべきもの変えてはいけないものをよく見定めて我々、社団法人淡路青年会議所のメンバーがこれからも活動を続けて頂きますよう祈念申し上げ監事報告とさせていただきます。

監 事 横 山 仁 志



一年間、監事という役職をいただき、目的に沿った事業がしっかりと行われているか、予算は適正に使われているかといった部分を重点的に見させていただきました。その中で畑野理事長を始め、メンバーの皆さんの努力がそれぞれに実った一年であったかと思います。お疲れ様でした。私自身、監事としてしっかりと仕事が出来たかという、力不足でまだまだ反省すべき点が多くありますが、一年間メンバーと共に語り合うことができ、充実した一年でした。

最後になりますが、今後も社団法人淡路青年会議所が力を合わせて、常に前を向いて進まれることを心よりご祈念申し上げ、報告とさせていただきます。

10. 会 員 動 向

1. 2010 年度末会員数

正会員 60 名 特別会員 280 名 準会員 2 名

2. 2011 年度入会者

新入会者名	推 薦 者		
有賀 雄一	沖田 和良	大畑 一也	原田 啓行
片山 竜也	沖田 和良	高津 知也	向内 英光
福富 健介	向内 英光	原田 啓行	大畑 一也
寺岡 良祐	平川 智己	中村 篤弘	岸本 篤人
村田 泰志	新家 春輝	中田 勝文	大畑 一也
横山 泰明	平川 智己	岸本 篤人	藤井 宏昌

3. 2011 年度会員数

正会員 61 名 特別会員 284 名

4. 2011 年度退会者

川本 康仁

5. 2011 年度休会者

なし

6. 2011 年度物故会員

丸添 博 坂本 健爾

7. 2011 年度末会員数

正会員 64 名 特別会員 282 名 準会員 8 名

8. 2011 年度卒業会員

6 名

木下 紘二 島田 実 西 浩平 富士元 明仁 山口 智康 横山 仁志

9. 2011 年度役員選考委員

後藤 英範 畑野 信行 池澄 泰彦 上村 雄二郎 飛松 孝治
原田 啓行 向内 英光

1 1. 2011 年度 社団法人淡路青年会議所

役員名簿

理 事 長	畑 野	信 行
直前理事長	後 藤	英 範
副理事長	上 河	護
	上 村	雄二郎
	沖 田	和 良
	廣 井	公 壽
専務理事	向 内	英 光
理 事	大 畑	一 也
	木 下	紘 二
	出 口	利 一
	中 村	篤 弘
	平 川	智 己
	真 野	貴 司
	三 倉	克 仁
出向理事	齋 藤	新 太
	柏 木	敏 孝
	長 尾	泰 宏
	中 西	仁 志
監 事	木 原	慎 陽
	横 山	仁 志

12. 出向者一覧

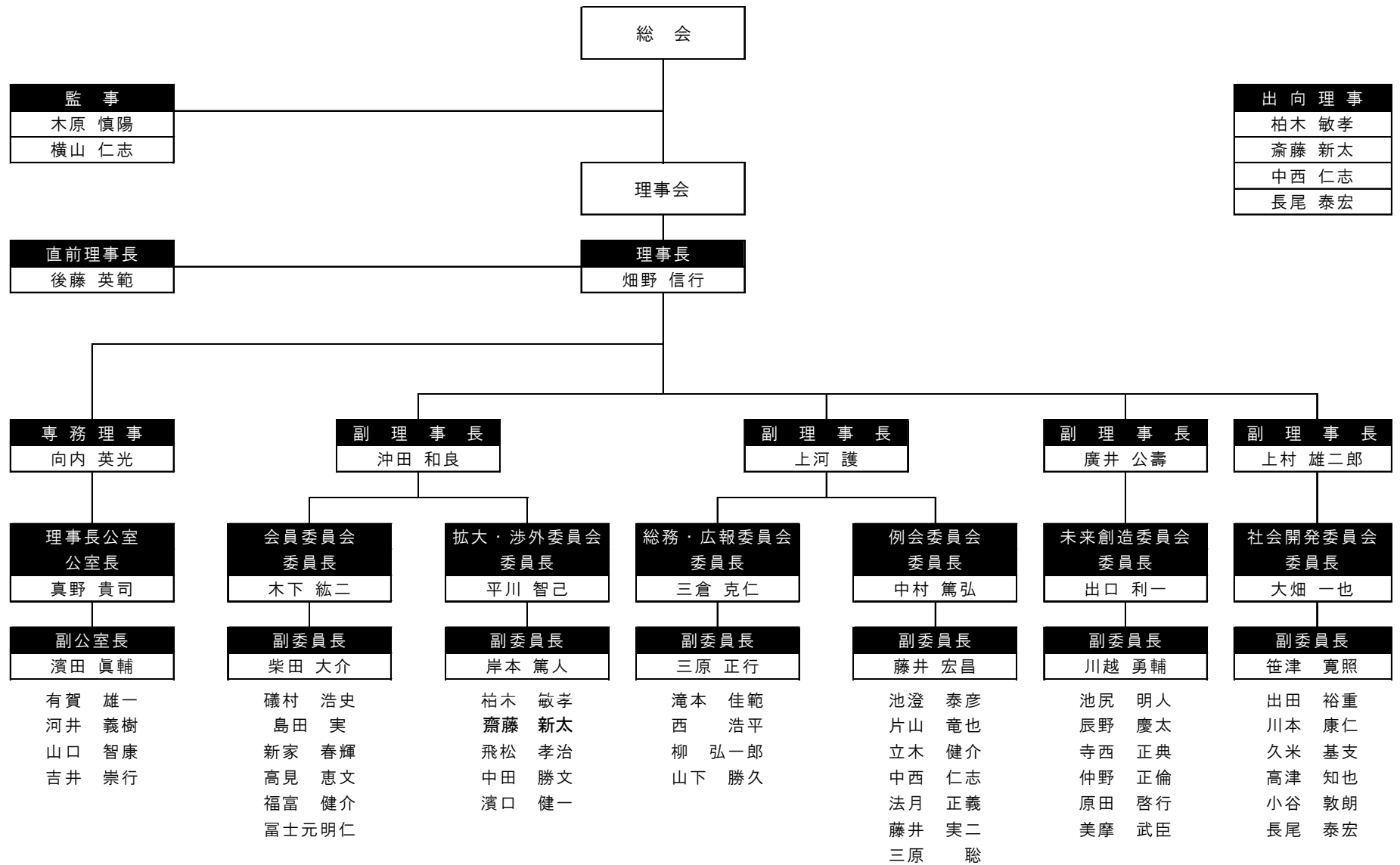
公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会

出 向 先	役 職	出向者氏名
地区大会運営委員会	委 員	柏木 敏孝
地区大会運営委員会	委 員	中西 仁志
ソーシャルデザイン確立委員会	委 員	齋藤 新太
近畿スタイル確立委員会	委 員	長尾 泰宏

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

出 向 先	役 職	出向者氏名
財政特別委員会	委 員	中村 篤弘
兵庫の魅力創造会議	委 員	大畑 一也
会員大会運営委員会	委 員	出口 利一
戦略広報委員会	委 員	三倉 克仁
日本 JC 連携推進委員会	副委員長	木下 紘二
会員拡大実践会議	委 員	平川 智己
兵庫アカデミー委員会	委 員	法月 正義
兵庫アカデミー委員会	委 員	藤井 宏昌
兵庫アカデミー委員会	委 員	三原 正行

13. 組織及び委員会構成



14. 褒 章

褒章委員会

畑野 信行 理事長	後藤 英範 直前理事長
木原 慎陽 監事	横山 仁志 監事
上河 護 副理事長	上村 雄二郎 副理事長
沖田 和良 副理事長	廣井 公壽 副理事長
向内 英光 専務理事	

- | | |
|------------|-----------------------------|
| 1. 最優秀委員会賞 | 例会委員会 |
| 2. 優秀委員会賞 | 会員委員会 |
| 3. 最優秀事業賞 | 社会開発委員会 |
| | 淡路島フォーラム ～淡路はひとつ！未来の淡路島のために |

～

- | | | | | |
|-------------|---------|----------|----------|--------|
| 4. 最優秀会員賞 | 法月 正義 | (例会委員会) | | |
| 5. 優秀会員賞 | 柴田 大介 | (会員委員会) | | |
| 6. 最優秀新会員賞 | 片山 竜也 | (例会委員会) | | |
| 7. 優秀新会員賞 | 福富 健介 | (会員委員会) | | |
| 8. 特別賞 | 理事長公室 | 拡大・渉外委員会 | 総務・広報委員会 | |
| | 未来創造委員会 | | | |
| 9. 出向者出席奨励賞 | 中村 篤弘 | 法月 正義 | | |
| 10. 例会出席奨励賞 | 畑野 信行 | 後藤 英範 | 木原 慎陽 | 横山 仁志 |
| | 上河 護 | 沖田 和良 | 廣井 公壽 | 上村 雄二郎 |
| | 向内 英光 | 真野 貴司 | 有賀 雄一 | 木下 紘二 |
| | 新家 春輝 | 福富 健介 | 平川 智己 | 柏木 敏孝 |
| | 飛松 孝治 | 三倉 克仁 | 柳 弘一郎 | 中村 篤弘 |
| | 藤井 宏昌 | 池澄 泰彦 | 法月 正義 | 三原 聡 |
| | 片山 竜也 | 出口 利一 | 川越 勇輔 | 大畑 一也 |

28名

15. 決算報告

一般会計収支決算書

自 2011年 1月 1日

至 2011年 12月 31日

収入の部

単位：円

款	項	目	2011年度補正予算	2011年度修正予算	2011年度当初予算	修正予算との比較	備 考
会 費			10,120,000	9,880,000	10,040,000	240,000	
	会 費		10,120,000	9,880,000	10,040,000	240,000	
		新会員会費	720,000	480,000	640,000	240,000	3名×160,000・3名×80,000
		正会員会費	9,280,000	9,280,000	9,280,000	0	58名×¥160,000
		特別会費	120,000	120,000	120,000	0	4名×¥30,000
入会金			300,000	150,000	200,000	150,000	
	入会金		300,000	150,000	200,000	150,000	
		入会金	300,000	150,000	200,000	150,000	6名×¥50,000
事業収入			2,980,000	0	0	2,980,000	
	事業収入		0	0	0	0	
		寄付金	0	0	0	0	
		補助金	0	0	0	0	
		助成金	0	0	0	0	
	登録料		2,755,000	0	0	2,755,000	
		登録料	2,755,000	0	0	2,755,000	
	雑収入		225,000	0	0	225,000	
雑収入		225,000	0	0	225,000		
寄付金			80,000	0	0	80,000	
	寄付金		80,000	0	0	80,000	
		寄付金	0	0	0	0	
		一般寄付金	80,000	0	0	80,000	
繰入金			0	0	0	0	
	繰入金		0	0	0	0	
		特別事業基金	0	0	0	0	
		職員退職金	0	0	0	0	
		事務局整備引当金	0	0	0	0	
雑収入			26,783	0	3,000	26,783	
	雑収入		26,783	0	3,000	26,783	
		受取利息	952	0	3,000	952	
		雑収入	25,831	0	0	25,831	
繰越金			2,860,596	2,860,596	540,000	0	
	繰越金		2,860,596	2,860,596	540,000	0	
		繰越金	2,320,596	2,320,596	0	0	
		職員退職金	40,000	40,000	40,000	0	
		事務局整備引当金	500,000	500,000	500,000	0	
合 計			16,367,379	12,890,596	10,783,000	3,476,783	

支出の部

単位：円

款	項	目	2011年度決算額	2011年度補正予算	2011年度修正予算	2011年度当初予算	2011年度修正予算との比較	備 考	
事業費			7,201,057	7,173,057	5,128,200	5,128,200	2,019,228		
	理事長公室		305,000	305,000	315,000	315,000	-10,000		
			305,000	305,000	315,000	315,000	-10,000		
	会員		3,684,939	3,656,939	980,000	980,000	2,676,939		
			3,684,939	3,656,939	980,000	980,000	2,676,939		
	拡大渉外		107,096	107,096	108,600	108,600	-1,504		
			107,096	107,096	108,600	108,600	-1,504		
	総務・広報		578,799	578,799	579,000	579,000	-201		
			578,799	578,799	579,000	579,000	-201		
	例会		550,670	550,670	575,750	575,750	-25,080		
			550,670	550,670	575,750	575,750	-25,080		
	未来創造		641,879	641,879	701,350	701,350	-59,471		
			641,879	641,879	701,350	701,350	-59,471		
	社会開発		1,332,674	1,332,674	1,868,500	1,868,500	-535,826		
			1,332,674	1,332,674	1,868,500	1,868,500	-535,826		
			0	0	0	0	0		
		0	0	0	0	0			
		0	0	0	0	0			
		0	0	0	0	0			
予備費			0	0	1,171,391	0	-1,171,391		
	予備費		0	0	1,171,391	0	-1,171,391		
		予備費		0	0	1,171,391	0	-1,171,391	
繰出金			500,000	500,000	500,000	0	0	特別事業基金に拠出	
	繰出金		500,000	500,000	500,000	0	0		
		繰出金		500,000	500,000	500,000	0	0	
その他の支出			0	0	0	0	0		
	敷金		0	0	0	0	0		
		敷金		0	0	0	0	0	
	固定資産購入支出		0	0	0	0	0		
		什器備品		0	0	0	0	0	
				0	0				
			0	0					
繰越金			3,974,073	3,974,073	560,000	560,000	2,320,596		
	繰越金		3,974,073	3,974,073	560,000	560,000	2,320,596		
		繰越金		3,414,073	3,414,073	0	0	2,320,596	
		職員退職金		60,000	60,000	60,000	60,000	0	
		事務局整備引当金		500,000	500,000	500,000	500,000	0	事務局移転の可能性考慮
合 計		16,395,379	16,367,379	12,890,596	5,688,200	3,476,783			

支出の部

単位：円

款	項	目	2011年度補正予算	2011年度修正予算	2011年度当初予算	2011年度修正予算との比数	備 考
事業費			7,173,057	5,128,200	5,128,200	2,019,228	
	理事長公室		305,000	315,000	315,000	-10,000	
			305,000	315,000	315,000	-10,000	
	会員		3,656,939	980,000	980,000	2,676,939	
			3,656,939	980,000	980,000	2,676,939	
	拡大渉外		107,096	108,600	108,600	-1,504	
			107,096	108,600	108,600	-1,504	
	総務・広報		578,799	579,000	579,000	-201	
			578,799	579,000	579,000	-201	
	例会		550,670	575,750	575,750	-25,080	
			550,670	575,750	575,750	-25,080	
	未来創造		641,879	701,350	701,350	-59,471	
			641,879	701,350	701,350	-59,471	
	社会開発		1,332,674	1,868,500	1,868,500	-535,826	
			1,332,674	1,868,500	1,868,500	-535,826	
			0	0	0	0	
		0	0	0	0		
		0	0	0	0		
		0	0	0	0		
予備費			0	1,171,391	0	-1,171,391	
	予備費		0	1,171,391	0	-1,171,391	
		予備費	0	1,171,391	0	-1,171,391	
繰出金			500,000	500,000	0	0	特別事業基金に拠出
	繰出金		500,000	500,000	0	0	
		繰出金	500,000	500,000	0	0	
その他の支出			0	0	0	0	
	敷金		0	0	0	0	
		敷金	0	0	0	0	
	固定資産購入支出		0	0	0	0	
		什器備品	0	0	0	0	
			0	0	0	0	
			0	0	0	0	
繰越金			3,974,073	560,000	560,000	2,320,596	
	繰越金		3,974,073	560,000	560,000	2,320,596	
		繰越金	3,414,073	0	0	2,320,596	
		職員退職金	60,000	60,000	60,000	0	
		事務局整備引当金	500,000	500,000	500,000	0	事務局移転の可能性考慮
合 計			16,367,379	12,890,596	10,783,000	3,476,783	

2011 年度 貸借対照表

2011 年 12 月 31 日現在

単位：円

	科 目	金 額		科 目	金 額
資産の部	現金・預金	8,706,302	負債の部		0
	敷 金	300,000	負 債 合 計		0
	備 品	181,029			
			正味財産の部	正味財産	9,187,331
資 産 合 計		9,187,331	負債及び正味財産合計		9,187,331

2011年度 正味財産増減計算書

自 2011年 1月 1日

至 2011年12月31日

収入の部

単位：円

款	項	決算額
資産増加額		4,474,882
	次年度繰越金	3,974,073
	敷 金	0
	備品増加額	0
	特別事業基金（特別会計）増加額	500,809
負債減少額		0
	合 計	4,474,882

支出の部

単位：円

款	項	決算額
資産減少額		4,157,177
	前年度繰越金	2,860,596
	備品減少額	1,296,581
	特別事業基金（特別会計）減少額	0
負債増加額		0
	合 計	4,157,177

科 目	決算額
当期正味財産増加額	317,705
前期繰越正味財産額	8,869,626
末期正味財産合計額	9,187,331

2011年度 収支決算総括表

自 2011年 1月 1日

至 2011年 12月 31日

収入の部

単位：円

科 目	合 計	一般会計	特別事業基金
会 費	10,120,000	10,120,000	0
入 会 金	300,000	300,000	0
事 業 収 入	3,008,000	3,008,000	0
寄 付 金	80,000	80,000	0
繰 入 金	500,000	0	500,000
雑 収 入	27,592	26,783	809
繰 越 金	6,425,013	2,860,596	4,221,420
合 計	21,117,608	16,395,379	4,722,229

支出の部

科 目	合 計	一般会計	特別事業基金
法 人 費	4,720,249	4,720,249	0
事 業 費	7,201,057	7,201,057	0
繰 出 金	500,000	500,000	0
繰 越 金	8,696,302	3,974,073	4,722,229
合 計	21,117,608	16,395,379	4,722,229

2011年度 事業収支明細一覧

自 2011年 1月 1日

至 2011年 12月 31日

単位：円

目	事業名	合計	内訳	金額	人数	小計	返金	担当委員会	備考
登録料	新年会	1,620,000		15,000	108	1,620,000	0	会員委員会	
	淡路島まつり踊り大会	330,000	交流会	6,000	37	222,000	0	会員委員会	
			出立	3,000	36	108,000	0	会員委員会	
	クリスマス家族忘年会	833,000	大人	10,000	71	710,000	0	会員委員会	
			お子様コース	5,000	6	30,000	0	会員委員会	
			お子様ランチ	3,000	31	93,000	0	会員委員会	
小計						2,783,000	0		
返金後金額		2,783,000							
雑収入	新年会	225,000					0	会員委員会	お祝い金
小計		225,000							
合計		3,008,000							

2010 年度 助成金・寄付金収入明細一覧

自 2011 年 1 月 1 日
至 2011 年 12 月 31 日

単位：円

項	目	事業名	金額	金額	人数	小計	返金	担当委員会	備考
事業収入	寄付金								
	補助金								
	小計		0						
	広告料								
	小計		0						
寄付金	寄付金		0						
	一般寄付金		80,000						OB会
	小計		80,000						
	合計		80,000						

2010年度 財産目録

2011年12月31日現在

資産の部

単位：円

科 目		数 量	金 額	摘 要
流動資産	現金・預金	合 計	8,706,302	
		現 金	0	
		普 通 預 金	770,820	No.0454865
		普 通 預 金	3,203,253	No.0300206
		普 通 預 金	4,722,229	No.0749012
		有 価 証 券	10,000	No.21942

科 目		数 量	金 額	摘 要	
固定資産	固定資産合計	合 計	481,029		
	敷 金		300,000		
	備 品	小 計	181,029		
	エアコン	2003年12月15日	2 台	25,500	
		510,000			
	パーテーション	2004年7月6日	1 式	48,535	2003年度卒業生寄贈(※会計処理に関する既定 第23条並びに第24条(4)によ
		271,950			
	ファックス	2006年12月28日	1 台	19,603	2006年度購入分
		202,160			
	コピー機	2009年6月8日	1 台	87,391	2009年度購入分
493,500					

流動資産	8,706,302
固定資産	481,029
合 計	9,187,331

負債の部

合 計	0
-----	---

正味資産の部

合 計	9,187,331
-----	-----------

2011年度 物品目録

2011年12月31日現在

単位：円

科 目	数 量	金 額	摘 要
物 品 保管庫・スチール書庫	1 個	75,000	
冷蔵庫	1 台	15,000	
手提金庫	1 個	1,400	
国旗	3 旗	11,575	三脚1セット
J C旗	4 旗	20,000	三脚2セット
電話機	3 台	144,200	1995年度購入分
デスクコーナー	1 台	75,190	1996年度購入分
デスク	1 台	30,282	1996年度購入分
デスク	1 台	95,069	1996年度購入分
デスク	1 台	82,297	1996年度購入分
デスク	1 台	95,790	1996年度購入分
パソコンラック	2 台	16,171	1996年度購入分
チェアー	1 脚	28,634	1996年度購入分
チェアー	2 脚	43,878	1996年度購入分
チェアー	1 脚	20,600	1996年度購入分
パーテーション	1 脚	133,200	1996年度購入分
ウォールロッカー	1 台	37,389	1996年度購入分
両開き保管庫	3 台	81,267	1996年度購入分
引違いガラス保管庫	3 台	100,425	1996年度購入分
深型保管庫	3 台	79,413	1996年度購入分
電話台	1 台	12,669	1996年度購入分
会議テーブル	2 台	68,392	1996年度購入分
会議椅子	12 脚	97,644	1996年度購入分
ホワイトボード	1 枚	17,325	1996年度購入分
月間予定表	1 枚	15,398	1996年度購入分
月間掲示板	1 枚	31,734	1996年度購入分
パソコン・周辺機器	1 式		
トランシバー	7 台		某氏寄贈
プリンタ	1 台		1997年度卒業生寄贈
パソコン	1 台		1998年度卒業生寄贈
ルーター	1 台	47,040	1999年度購入分
パソコン・周辺機器	1 式		1999年度卒業生寄贈
ハンドマイク	1 台	20,611	2000年度購入分
国旗	1 旗	7,350	2000年度購入分
プリンタ	1 台		2000年度卒業生寄贈
スキャナー	1 台		2000年度卒業生寄贈
デジタルカメラ	1 台		2000年度卒業生寄贈
パソコン	1 台	155,820	2001年度購入分
ビデオカメラ	1 台		2001年度卒業生寄贈

科 目	数 量	金 額	摘 要
エアコン	1 台		2002年度卒業生寄贈
エアコン	1 台		某氏寄贈
会議テーブル	15 台	155,000	2003年度購入分
パイプ椅子	20 脚	29,200	2003年度購入分
掃除機	1 台	13,440	2003年度購入分
ファンヒーター	2 台	51,600	2003年度購入分
玄関表札	1 基	100,000	2003年度卒業生寄贈
パソコン	1 台		2004年度卒業生寄贈
パソコン	1 台		2004年度卒業生寄贈
コピー機（中古）	1 台	102,900	2005年度購入分
スチールデスク	3 台		某氏寄贈
ゴングマーク	1 個	10,000	2006年度購入分
卓上旗セット	1 式	7,840	2006年度購入分
JCIプレート	1 基	19,950	2006年度卒業生寄贈
パソコンデスクトップ	1 台	82,950	2006年度卒業生寄贈
モデム・ルーター	1 式	19,425	2006年度卒業生寄贈
耐火金庫	1 台	81,900	2006年度卒業生寄贈
自立式スクリーン	1 台	84,000	2006年度卒業生寄贈
プロジェクター	1 台	159,500	2007年度卒業生寄贈
タイムレコーダー	1 台	26,800	2008年度購入分
USB	256 本	151,040	2008年度購入分※
プリンタ	1 台	60,000	2010年度卒業生寄贈
JCI旗	1 旗	20,000	2010年度購入分
パソコンデスクトップ	1 台	180,000	2010年度購入分
空気清浄機	2 台	90,000	2011年度卒業生寄贈
テレビ	1 台	30,000	2011年度卒業生寄贈
合 計		3,136,308	

※2011年度事業 淡路の未来を切り拓け！～目指せ！選挙投票率日本一の淡路島～購入余剰分（会計処理に関する規定第27条により物品算入）

2011年度 特別事業基金収支決算書

単位：円

収入の部					支出の部			
科 目	決算	修正予算	当初予算	当初予算との比較	科 目	修正予算	当初予算	当初予算との比較
2010年度繰越金	4,221,420	4,221,420	4,220,088	1,332	2011年度繰出金	0	0	0
2011年度繰入金	500,000	500,000	0	500,000	2012年度繰越金	4,722,229	4,220,088	502,141
雑収入	809	809	0	809		809	0	0
合 計	4,722,229	4,722,229	4,220,088	502,141	合 計	4,723,038	4,220,088	502,950
合 計				1,002,950	合 計			1,002,950

16. 監 査 報 告

2012年1月5日

2011年度 社団法人 淡路青年会議所

理 事 長 畑野 信行 殿

社団法人淡路青年会議所の2011年度（2011年度1月1日から同年12月31日まで）決算報告書並びに事業について、一般会計収支決算書、特別会計決算書、財産目録、賃借対照表、正味財産増減計算書並びに事業報告書を監査いたしましたところ適正であることを認めます。

監 事 木原 慎陽

監 事 横山 仁志

17. 資 料

1. 各事業別写真
2. 新聞記事切抜

1月例会～NEW JOURNEY・第73回通常総会 2011年01月12日（水）



新年会 2011年01月12日（水）



2月例会 ～VMV2011 淡路JC Ver～ 2011年02月9日（水）



3月例会 ～淡路はひとつ！淡路一市運動～ 2011年03月9日（水）



4月例会 ～淡路JC道場 自他共楽～ 2011年04月13日（水）



5月例会 ～5月研修例会～図解思考で経営改革！～ 2011年5月11日（水）



第17回わんぱく相撲淡路場所～挑戦新たな可能性にむかって～ 2011年6月5日（日）



6月例会～公益法人制度改革～ 2011年6月8日（水）



兵庫ブロック協議会 東日本支援活動 2011年07月05日 (火)



7月選挙例会 ～念き一票～ 2011年07月13日 (水)



淡路島まつりおどり大会 2011年08月06日 (土)



8月例会白熱教室・第55回臨時総会

2011年08月10日 (水)



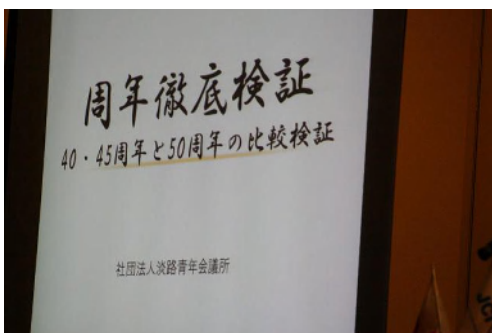
9月例会 THE 討論！

2011年09月14日（水）

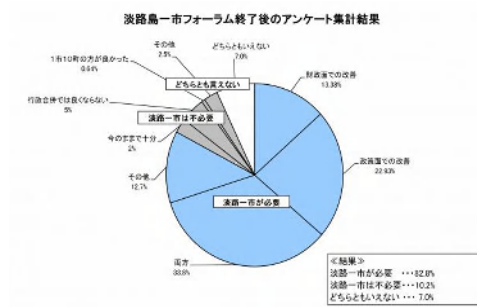


10月例会 温故知新 ～半世紀の時を経て～

2011年10月12日（水）



淡路島一市フォーラム 2011年10月16日 (日)



11月例会～MEMORIES OF SIX～ 2011年11月10日 (木)



12月例会 ～FOR NEXT STEP!!・第74回通常総会 ～ 2011年12月17日（土）



クリスマス家族忘年会 2011年12月17日（土）



今年できること 淡路「1」の思い

島民の皆様、新年おめでとうございます。今年度、社団法人淡路青年会議所第40代理事長に就任いたしました畑野信行です。

社団法人淡路青年会議所は、創設以来「淡路は「1」」を理念に、明るい豊かな淡路島を目指し日々活動しております。明るい豊かな淡路島とはいかなるものなのか、何をどうすれば成し遂げることができるのか、その答えを求め、毎年さまざまな事業を展開いたしております。その折には、皆様方の「理解」と「協力を」いただいておりますことを厚くお礼申し上げます。

われわれの団体は、日本中そして世界中の各行政体でほぼ例外なく区分されている公益的事業を営む団体であり、行政区分ではなく「淡路島」というものであり、他には少ない淡路島全体を基盤とした団体であります。そうでありながらゆえに理念は「淡路は「1」」であります。

畑野信行理事長



夢を持ち「淡路は「1」」に

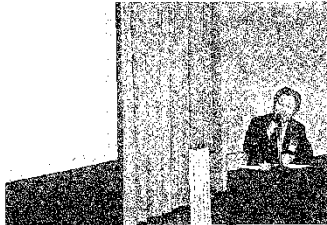
まちづくりに必要なものとは何なのか、私は「夢を持つこと」であると考えます。自分たちの住むまちの未来、ここに住む子供たちの未来、自らの未来。まずは夢を持たぬことには形の見えないまちづくりなど、かなわぬものだと考えます。思いあればこそ志が生まれる、思いあればこそ行動に移る。「壮大な夢・強い思い」があればこそ、大業を成し得ることができるとも、やはり淡路はその島が一致団結し、強

人が集う島ならばそこに産業は元氣を取り戻し、新たな発展も見込まれます。淡路が「1」になることで、さまざまな局面を開き得るものだと考えます。夢は見るものではなく、かなえるものであります。今こそこの夢に向かい、確かな一歩を踏み出したと考えます。

人生80年といわれる中、その折り返し地点にも満たないわれわれではありますが、われわれの宝島発展に精いっぱい努力を惜しまぬ所存です。例年と同様の皆様方の「理解」と「協力を」にお願ひ致します。

-
- ニュースのご連絡は
洲本支局
〒656-0026
洲本市栄町2-2-15
(本町ビル2階)
0799(22)1450
FAX 0799(25)2125
- 姫路支局**
〒670-0921
姫路市編町119
姫路不動産ビル内
079(224)5551
FAX 079(228)3191
- 藍 在**
加古川 079(421)7520
- 豊岡支局**
〒668-0025
豊岡市幸町13-20
0796(22)6151
FAX 0796(29)2338
- 通信部**
音住 0796(36)4499
- 神戸総局**
〒650-0015
神戸市中央区
多間通4-1-5
078(351)1771
FAX 078(361)3001
- 阪神支局**
〒662-0918
西宮市六湛寺町9-11
0798(33)5881
FAX 0798(37)2477
- 通信部**
尼崎 06(6421)2545
-

地域のため一致団結 「正風会」で烟野 J C 理事長講演



スライドを使って淡路青年会議所の活動を説明する烟野信行理事長。16日、洲本市山手

淡路島で活躍する各界の代表者らの親交を深め、月一回新聞淡路版採稿「正風会」(正風会・産経新聞)の月例会(新洲本支社)の月例会が16日夜、洲本市山手のホテル「夢遊淡路島」で開かれた。社団法人淡路青年会議所(淡路 J C)の烟野信行理事長が、今までの活動を紹介して、参加者は余の冒険に、東の意を示して、1分間の黙想を交わした。

淡路島で活躍する各界の代表者らの親交を深め、月一回新聞淡路版採稿「正風会」(正風会・産経新聞)の月例会(新洲本支社)の月例会が16日夜、洲本市山手のホテル「夢遊淡路島」で開かれた。社団法人淡路青年会議所(淡路 J C)の烟野信行理事長が、今までの活動を紹介して、参加者は余の冒険に、東の意を示して、1分間の黙想を交わした。

淡路

今できること

私たちが住む淡路島には、多彩なアイデンティティがあります。豊かな自然環境での生活や自然の恵みを受け、海の幸、山の幸にあふれた食料、今もなお脈々と受け継がれる歴史、伝統文化、伝統産業。また、台風、水害、地震が多いことで、島民同士が手をとり合い助け合って生活してきました。淡路島は島国であつたからこそ、精神性豊かな島民と経済的豊かさを育んできました。

しかし、明石海峡大橋通車後、島外からの企業進出、大型店舗の出店による低価格競争、島外へ買い物や遊びに行く人が増え、さまざまな課題を生み、その課題解決に迫られているのが現状ではないでしょうか。過去、淡路島には転機がありました。1880(明治13)年の淡路汽船の開港、1914(大正3)年の鉄道完工、1954(昭和29)年の明石フェリー、鳴門フェリー開港など、便利にはなりましたが、副産物としてさまざまな課題が発生しました。その課題

沖田建設 沖田和良氏



今、島民主体の淡路島づくりを

「家はそれぞれの土地の土に建てさせよう」と思っています。淡路島を創生してゆかなければなりません。行政や他人任せにしないで、島民が淡路島のことを考え、行動できるようになるためには、まず「行政からの目立」が必要であると見えます。淡路のことは行政がやってくれる意識がなくては、目立ってあげられず、目立ってあげられず、淡路島のさらさらしいアイデンティティを武器に淡路島が日本全国、世界へ打って出るために、10年、20年先の未来に向け、今、頑張っている。淡路島が助ける豊かな淡路島の表現に近づけるよう淡路のために活動してまいります。

を築り起して来たからこそ、今の淡路島があり、課題を乗り越えられるチャンスがある。今後は時代の潮流に流されない、淡路島の創造者を目指す。多彩な淡路島のアイデンティティを武器に10年、20年先を見据えて、淡路島への価値を高めていくことが必要と見えます。

「家はそれぞれの土地の土に建てさせよう」と思っています。淡路島を創生してゆかなければなりません。行政や他人任せにしないで、島民が淡路島のことを考え、行動できるようになるためには、まず「行政からの目立」が必要であると見えます。淡路のことは行政がやってくれる意識がなくては、目立ってあげられず、目立ってあげられず、淡路島のさらさらしいアイデンティティを武器に淡路島が日本全国、世界へ打って出るために、10年、20年先の未来に向け、今、頑張っている。淡路島が助ける豊かな淡路島の表現に近づけるよう淡路のために活動してまいります。

- 三ノ宮の支店
洲本支局
〒666-0026
洲本市栄町2-1-15
(本町4-2番)
0799(22)1450
FAX 0799(26)2125
- 姫路支局
〒670-0021
姫路市堀町119
姫路不審ビル内
079(224)5551
FAX 079(228)3181
駐在
加古川 079(42)7520
- 豊岡支局
〒668-0025
豊岡市本町13-20
0786(22)6151
FAX 0786(29)2338
通商部
香住 0786(36)4499
- 神戸総局
〒650-0015
神戸市中央区
多額通4-1-5
078(35)1771
078(36)3001
- 阪神支局
〒662-0918
西宮市元津町3-11
0798(33)5881
FAX 0798(33)2477
通商部
尾崎 06(842)2545

淡路

今できること

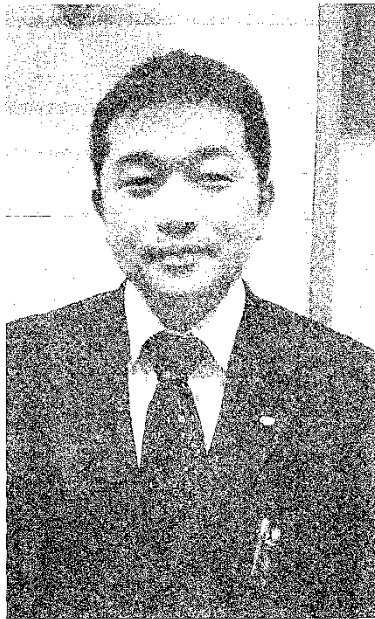
東北地方太平洋沖地震で被災されたみな様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

昨今、子供たちを取り巻く環境は少子化や時代の変化に伴い、自分の可能性を見いだす場が少くなり、若者の社会的自立の遅れも深刻化しているのではないだろうか。

私が小学生の時は、校庭やお寺の中で小学生の学年を問わず、日が暮れるまで、野球やキックベースボールなどを行っていた記憶が残っています。

近所の大人の方々も気軽に声をかけてきてくれたし、危険な場所で遊びをしていると、一目散に地域の大人が飛んで来てしかられたことも多々ありました。今思えば、年上の子が年下を助ける、大人が子供をしかるといった基本的なルールを団体行動や遊びの中から自然に学んでいたと感じます。しかし、現在、子供たちが大人教で遊んでいる姿を見る機会は少なくなってきた気がします。遊び方も高度な情報化

社団法人淡路青年会議所 出口利一氏



わんぱく相撲で挑戦心を

で、インターネットやゲームなどに変わり、友だちが隣同士でゲームをして、互いに目を合わせることもなく会話している状況も時々目にします。

人と人とかかわる機会が少なくなり、自分の子供はしかるけど、他人の子供はしからないといった人間関係の希薄化や協調性などの認識が弱まっていると私は考えます。

私も二児の親として、安心して暮らせる淡路島を未来の担い手である子供たちに残せるようにと、日々思っています。

今年度、社団法人淡路青年会議所は5月29日(日)に「わんぱく相撲淡路場所」を開催致します。

- ・子供たちに勇気を持って一歩踏み出そうとする「強い心」
- ・土俵際において最後まであきらめない「忍耐の心」
- ・敗者への「労わりの心」

試合前の真剣なまなざしや負けたと

ことにより大きな可能性が芽生える大切なきっかけになる」との思いをもって運営させていただきます。

未来を担う子供たちが自身を夢や希望に向かっただけでなく、分野に挑戦し、高い壁に遭遇したときも負けずに進退する強い心を養い、成長を遂げる。それが未来の「明るい豊かな淡路島」実現への一歩だと確信しています。

真剣に取り組むときの輝いたまなざし、今から何かに向い歩もうとする子どもたち。その背中をポンと蹴力ながら押させていたきたいと思えます。それが私の今できること。

-
- ニュースのご連絡は
- 洲本支局
- 〒656-0026
- 洲本市栄町2-2-15
- (本館ビル2階)
- 0796 (22) 1450
- FAX 0796 (25) 2125
- 姫路支局
- 〒670-0921
- 姫路市総町119
- 姫路不動ビル内
- 079 (224) 5551
- FAX 079 (226) 3191
- 駐在
- 加古川 079 (421) 7520
- 豊岡支局
- 〒669-0025
- 豊岡市幸町13-20
- 0796 (22) 6151
- FAX 0796 (29) 2338
- 通信部
- 香住 0796 (36) 4489
- 神戸総局
- 〒650-0015
- 神戸市中央区
- 多聞通4-1-5
- 078 (351) 1771
- FAX 078 (361) 3001
- 阪神支局
- 〒662-0918
- 西宮市六瀬寺町9-11
- 0798 (33) 5881
- FAX 0798 (37) 2477
- 通信部
- 尼崎 06 (642) 2545
-

小学生が相撲でぶつかり合う「第17回わんぱく相撲淡路場所」が29日、洲本市下加茂1、柳学園特設土俵で開かれる。大相撲界内の高見盛関を招き、講演や指導もある。幕内力士を招くのは初めて。

淡路青年会議所が健全な青少年を育てようと毎年主催。午後0時半から、東関部屋の高見盛関ら3力士が「挑戦」をテーマに対談。同1時からは小学生や本校学児とぶつかり稽古で交流する。ちゃんこの振る舞いもある。

競技は同1時45分から学年ごとに行い、1〜3

高見盛関らとぶつかり稽古

洲本

「挑戦」テーマに対談も

参加希望者は20日まで同青年会議所へ、ファクス(0799・22・6626)か郵送(〒656-0013 洲本市下加茂1丁目1番36号 社団法人淡路青年会議所事務局)で申し込む。まわしは持参(ない場合は貸し出す。当日参加も可。回事務局0799・22・6611 (金 廣順)

＜第三種郵便物認可＞

5/7

産経新聞

29日洲本で「わんぱく相撲淡路場所」

集まれちびっこ力士



わんぱく相撲をアピールする畑野信行理事長ら＝6日、洲本市本町

洲本市役所で6日、会見した淡路が平成6年から開催。今回畑野理事長は「子供たちが相撲を通じて、将来、壁にぶつかっ際に乗り越える力を育ててほしい。大相撲には逆風が吹いてくるが、逆風を押し返す勢いで開催したい」と話し、参加を呼び掛けている。

わんぱく相撲淡路場所はJ.C.大会では、高見盛関ら3力士が「挑戦」をテーマに対談する。高見盛関は青森県出身で東関部屋所属。土俵にあがって気合を入れる際のききこないしぐさが人気で、「角界のロボコップ」の愛称で親しまれている。

競技は小学1〜3年生が男女混合で実施。4〜6年生は男女別で行う。競技後は高見盛関が講演する。参加者には東関部屋のちゃんこ鍋も振る舞われる。

小学4〜6年生の男子優勝者は6月19日に尼崎市で開催予定の「わんぱく相撲兵庫ブロック地区大会」に進み、この大会で各学年の上位入賞者4人は7月31日に画国国技館(東京)で開かれる「第27回わんぱく相撲全国大会」に参加できる。

参加費無料。参加希望者は各小学校や幼稚園、保育所に配布中の募集要項で申し込みを。締め切りは20日。問い合わせは社団法人淡路青年会議所(0799・22・6611)。

子供たちが全力でぶつかりあうことで、夢や希望に向かう意欲をはぐくむと、社団法人淡路青年会議所(J.C.淡路、畑野信行理事長)は29日、洲本市下加茂の柳学園高校で、相撲大会「第17回わんぱく相撲淡路場所」を挑

戦。新たな可能性に向かっている。特別講師として、幕内力士の高見盛関ら現役力士3人が参加。小学生の競技参加者、相撲体験を希望する幼稚園・保育園児の計200人を募集している。



ポスターを手にわんぱく相撲淡路場所をPRする淡路青年会議所の人たち＝洲本市役所

わんぱく相撲 29日に洲本で

出場者募集

島内の小学生力士が競う「第17回わんぱく相撲淡路場所」が29日、柳学園高校（洲本市下加茂1丁目）の

特設土俵で開かれる。今回は大相撲の現役力士との触れ合いコーナーもある。主催する淡路青年会議所は1～6年生の競技出場者と、力士との相撲体験を希望する小学生、幼児・保育園児を募集している。競技は午後1時45分から。各学年ごとに戦い、1～3年は男女混合、4～6年は男女別に対戦する。4～6年の男子の優勝者は、7月の全国大会出場をかけた6月に尼崎市で開かれる兵庫ブロック大会に出場す

る資格が与えられる。競技に先立ち、大相撲の高見盛関ら東関部屋の力士3人による講演や相撲の基本動作の指導、現役力士同士のぶつかり稽古が公開される。参加無料。希望者は島内の各小学校や幼稚園、保育園に配布される所定の申込用紙で、20日までに郵送かファクス（0799・22・6626）で申し込む。問い合わせは淡路青年会議所（0799・22・6611）へ。

（朝日新聞提供）

（朝日新聞提供）

高見盛関ら講演、稽古

わんぱく相撲29日に洲本



ポスターを手に、子どもたちの参加を呼びかける淡路青年会議所のメンバー＝洲本市役所で

淡路青年会議所は、29日に洲本市の柳学園高校で開く「第17回わんぱく相撲淡路場所」に参加する小学生や園児を募集している。高見盛関（東関部屋）ら力士3人とのぶつかり稽古なども予定。同会議所は「相撲を通じて困難に打ち勝つ強さを身につけてほしい」としている。（竹上知秀）

子どもたちの健全育成を目的で、1～3年生は男指して毎年開催。競技は小学女混合、4～6年生は男女別

ちゃんこ鍋も 園児、児童の参加募る

競技前には、高見盛関ら3人が「挑戦 新たな可能性に向かって」と題して講演。子どもたちとの対談形式で質問も受ける。このほか、力士から四股、すり足などの基本動作を学び、一緒にぶつかり稽古ができる時間もあり、園児も参加できる。まわしは貸し出しがあり、同部屋のちゃんこ鍋も振る舞われる。4～6年の男子優勝者は県大会に進出。東京・両国国技館で7月開催の全国大会（日本相撲協会、東京青年会議所主催、読売新聞社など後援）の出場権を争う。参加希望者は、淡路島内の小学校、保育所、幼稚園に配布する申込書に記入。20日までに、〒656・0013 洲本市下加茂1丁目の86 淡路青年会議所（0799・22・6611）ファクス22・6626）に、郵送（当日消印有効）かファクスで申し込む。

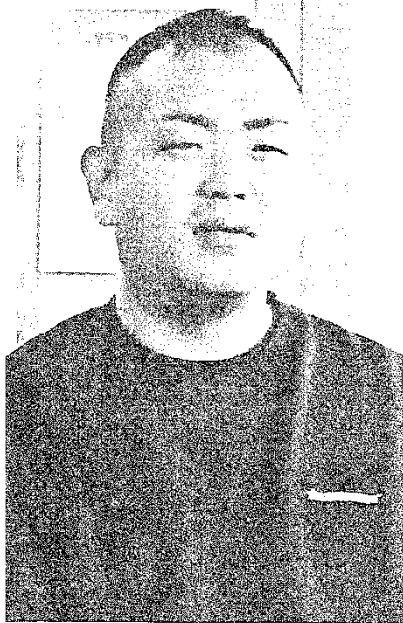
淡路

今できること

淡路島タマネギを主力に青果業を営んでいます。淡路島タマネギは肉厚で味も良く甘みがあり、おいしいといわれ、淡路島ブランドとなっています。淡路島がタマネギ栽培に適した風土であるといふことはもちろん、昔ながらのタマネギ小屋でのつり玉貯蔵や冷蔵貯蔵技術があり、手間とコストを掛けるから「ブランド」に上りつめたのだと思います。

淡路島タマネギの生産量は、生産者の高齢化や後継者不足で年々減少傾向にあります。農業は機械化が進み、昔に比べれば作業が効率化されたのは事実ですが、収穫期にはタマネギがいっぱいに入った20センチ強のコンテナを1日に何度も何度も運ばなくてはなりません。これには若い元気な力が必要で、す。しかし、その力がなく、仕方なく農業を辞めてしまう人や農産物の種類を交える人が増えています。私の幼少期に比べると、タマネギな

社団法人淡路青年会議所 新家春輝氏



淡路島タマネギを通じて

ど農作物の納入量は半減しています。このままでは「いずれ淡路島タマネギが無くなってしまうのでは」と危惧しました。そこで、この素晴らしい淡路島ブランドのタマネギを守るため、さまざまな取り組みをいたしました。

例えば、栽培ひとつをとっても「安心で安全なもの」と考え、有機栽培の取り組みを考えました。しかし、周知からは「無化学農薬・無化学肥料で

は絶対無理だ」といわれました。確かに3年ほどは収量も上がらず品質もほぼ不良でした。それでもあきらめられず「何としても安心で安全な淡路島ブランドのタマネギを作りたい」とそのタマネギを多くの人々に知ってもらいたい」と思い続け、6年目に、やっと多くの人が認めてもらうことができた。私の思いが届いた瞬間でした。また、世間のニーズは時代によって

ていきますが、いつでも原点にあるのは、この素晴らしい淡路島ブランドのタマネギを一人でも多くの人々に知ってもらい、そして喜んでもらうことを日々考えております。

そんな中で、新家青果に今できること。それは世界に求められるレベルでの計画的な農業経営、販売を行うことで、淡路島の農業に新しい道を開くこと。そして若い生産者が農業で生活し、頑張っていけるように、伝えること。この思いを持って、若い生産者を呼び込み、明るい豊かな淡路島づくりをしたいと考えております。

-
- ニュースのご連絡は
- 洲本支局
- T 656-0026
- 洲本市栄町2-2-15
- (本町ビル2階)
- 0799 (22) 1450
- FAX 0799 (25) 2126
-
- 姫路支局
- T 670-0921
- 姫路市錦町119
- 姫路不動産ビル内
- 079 (224) 5551
- FAX 079 (226) 3191
- 駐在
- 加古川 079 (421) 7520
-
- 豊岡支局
- T 668-0025
- 豊岡市幸町13-20
- 0796 (22) 6161
- FAX 0796 (29) 2338
-
- 通信部
- 香住 0796 (36) 4499
-
- 神戸総局
- T 660-0015
- 神戸市中央区
- 多聞通4-1-5
- 078 (351) 1771
- FAX 078 (361) 3001
-
- 阪神支局
- T 662-0918
- 西宮市六海寺町9-11
- 0798 (33) 5881
- FAX 0798 (37) 2477
-
- 通信部
- 尼崎 06 (6421) 2546
-

イベント中止相次ぐ

台風接近 淡路島内、土砂崩れも

台風2号の接近に伴う大雨で、淡路島内では29日、県道が相次いで通行止めになり、イベントが中止されるなど影響が出た。淡路県民局は午前7時20分に、災害警戒淡路地方本部」を設け、被害に備えた。

県民局洲本土木事務所は

土砂崩れの恐れがあるとして、洲本市五色町都志淡路市明神間の2・6キロのほかに、同市明神江井(2・6キロ)など淡路島西岸で計4カ所を通行止めにした。土砂崩れは島内2カ所で発生。淡路市江井では市道の側面が5メートルにわたって崩

れ、南あわじ市伊加利では住宅の裏山が崩れたが、被害はなかった。

大雨は開催予定のイベントにも影響。淡路青年会議所が大相撲の高見盛蘭(高見)をゲストに、洲本市で開催を予定していた「わんぱく相撲淡路場所」が中止された。6月19日の兵庫プロック地区大会の予選となる小学4、6年生の部については後日、大会を開く。

また、絵本作家の永田朋

さんを講師に開催予定だった「20011・春・こころづくり絵画コンクール」も中止された。

台風、陸海交通網乱れる

島内に大雨・洪水警報 わんぱく相撲中止



大雨で増水した千草川＝洲本市本町8丁目

台風2号の影響で29日、淡路島でも朝からたたきつけるような雨が降った。海岸沿いの県道が数カ所で通行止めになったほか、淡路ジェノパラインなど海の便に欠航が出た。予定されていたイベントも中止になった。

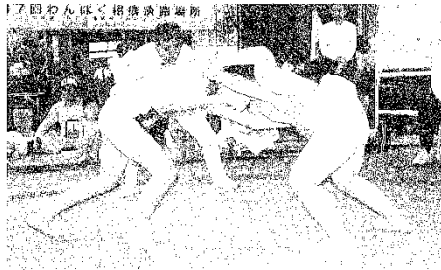
時間雨量は淡路市で123ミリ、洲本市で202・5ミリ、南あわじ市で106ミリを記録した。この大雨で、南あわじ市伊加利の民家の裏山で斜面の一部が崩れ落ちたが、民家に影響はなかった。

荒天で淡路市岩屋と明石市を結ぶ高速船・淡路ジェノパラインが午後3時20分

島内全域に大雨警報と洪水警報が出されたため、洲本市の柳学園高校で開催予定だった小学生相撲大会「第17回わんぱく相撲淡路場所」や、淡路市の北淡震災記念公園で予定されていた株式会社はくたん社員による東北地方の災害派遣報告会などが中止になった。

同5時の6便が欠航。南あわじ市土生沼島間の沼島汽船も午後4時以降の全6便が欠航した。道路では、淡路島の西岸を走る県道31号が昼前後から4区間計7・3キロで通行止め。南あわじ市津井でも県道の一部区間が通行止めになった。

子供たちによる取り組みが行われた「わんぱく相撲」一洲本市の柳学園



17日、わんぱく相撲淡路場所

【1年生男子の部】優勝・川畑透人 (同)▽2位・田中健 (同)▽3位・堀内悠希 (同)

【2年生男子の部】優勝・浜田満登 (北淡)▽2位・福原拓実 (福良)▽3位・原藤樹 (北淡)

【3年生男子の部】優勝・福谷鴻我 (塩田)▽2位・橋本大 (同)▽3位・板原 (同)

【4年生男子の部】優勝・川畑透人 (同)▽2位・田中健 (同)▽3位・堀内悠希 (同)

【5年生男子の部】優勝・浜田満登 (北淡)▽2位・福原拓実 (福良)▽3位・原藤樹 (北淡)

【6年生男子の部】優勝・福谷鴻我 (塩田)▽2位・橋本大 (同)▽3位・板原 (同)

わんぱく相撲淡路場所

相撲を通じて青少年の教育につなげようと、洲本市の柳学園で3日、島内の小学生たちが参加する「わんぱく相撲淡路場所」が開かれた。地元の声援を送っていた。6年生の部で優勝した塩田小の福谷鴻我君(11)は「一思つたように自分の相撲がとれなかったので残念だけれど、優勝できてうれしい」と話していた。

大会を前に、同会議所の畑野信行理事長が相撲を通じて成長し、すばらしい大人になつてほしいとあいさつ。参加した35人の児童たちは、学年ごとの総当たり戦に挑んだ。会場となった同校相撲部の部室には土俵が設置され、詰めかけた約1,000人の観客たちは、頭からぶつかつていけ、「正々堂々とがんばれ、など子供力士たちに向かって盛ん

児童35人が「はっけよい」

「第1回わんぱく相撲淡路場所」が5日、洲本市の柳学園高校で開かれ、淡路島内の男子小学生35人が熱のこもった勝負を繰り広げた。

子どもたちの健全育成を目指して淡路青年会議所が実施。先月29日の予定が台風接近でこの日に延期、高見盛岡(東関部原)ら力士とのぶつかり稽古は中止した。

1〜6年生が各学年ごとに総当たりで対戦し、勝ち星が並んだ場合は決勝戦や3位決定戦を行った。子ども力士が頭から勢いよくぶつかったり、土俵際

小学生35人は「はっけよい」

「第1回わんぱく相撲淡路場所」が5日、洲本市の柳学園高校で開かれ、淡路島内の男子小学生35人が熱のこもった勝負を繰り広げた。

子どもたちの健全育成を目指して淡路青年会議所が実施。先月29日の予定が台風接近でこの日に延期、高見盛岡(東関部原)ら力士とのぶつかり稽古は中止した。

1〜6年生が各学年ごとに総当たりで対戦し、勝ち星が並んだ場合は決勝戦や3位決定戦を行った。子ども力士が頭から勢いよくぶつかったり、土俵際

川畑君ら県大会進出

洲本でわんぱく相撲淡路場所

4〜6年の優勝者は県大会に進み、7月に東京・西国国技館で開かれる全国大会(日本相撲協会、東京青年会議所主催、読売新聞社など後援)の出場権を争う。各学年の優勝者は次の皆さん。

▽1年 新皇琳太郎(青波小)

▽2年 松本大雅(江井小)▽3年 福谷勤音(塩田小)▽4年 川畑透人(北淡小)▽5年 浜田満登(同)▽6年 福谷鴻我(塩田小)



激しい取組を見せる子どもたち(洲本市の柳学園高で)

淡路

今でもできること

約 20 年前、私は高校を卒業後、家業を継ぐために 4 年間、京都に赴き勉強に行きました。神社や仏殿の多い京都では、古くから伝わる島の伝統技術が現代でもしっかりと残されており、その中で日本の文化や歴史、風習を感じることができました。地元淡路島に戻り、仕事はもろろ人、青年会議所や消防団、商工会議所、PTA などさまざまな活動を通じて多くの人と出会い、その中で淡路島にも素晴らしい伝統、自然が残っていることを実感しました。そして、この淡路島を次世代に残していくために、何が必要かを考えるようになりまし。

「日本の持つ文化とは一体何か」と考えたとき、農を例に挙げると、家で職を履いて過ごす欧米に対し、家の中で餅を履いて生活する日本の文化を示すものです。そのため、私は約 1300 年の間、日本人に親しまれてきたのだと思ひます。他にも古くから伝わる

社団法人淡路青年会議所 横山仁志氏



こだわりの目をもって

れているものはたくさんあります。それらはすべて人の手で伝えられなければ、決して残るものではありません。そして、そこには「こだわり」というものが、必要不可欠ではないかと思ひます。

最近、その「こだわり」が薄れてきているのを感じます。「売れ筋ナンパワフ」。「今大人気の○○」。「激安用品」と話題になれば、良いあし、必

要 unnecessary にもかかわらず、飛びついてしまふ傾向があるように思ひます。自分の考えでなく「周りの人がやっているから」「誰かがこう言っているから」という判断では、自分にとって本当に大事なものは何か見えてこないような気がします。現代ではインターネットの普及で情報が簡単に入手できる時代ですが、そこには誤った情報もあ

は子供の持つ個性をもう一度見直し、子供に将来の夢を与え、それには何が必要かと、子ども自身が主体的に考えることができるように伝えなければなりません。

何かを伝えるためには、人のかかわりがなければ、途絶えてしまいます。私たちが住む淡路島も同じで「誰かがやってくれる」「同じようにしていれば」では、良い悪いの見極めもできません。一人ひとりが自分の目、判断してかわり、そして、「こだわりを持って答えを出していくことが、この淡路島の素晴らしい伝統、自然を残す最善の方法である」と私は信じています。

-
- ニュースの淡路は
- 洲本支局
- 〒856-0028
- 洲本市栄町 2-2-15
- (本町ビル2階)
- 0798(22)1452
- FAX 0799(25)2125
-
- 姫路支局
- 〒670-0921
- 姫路市堀町 119
- 姫路不動産ビル内
- 079(224)5551
- 079(226)3181
- FAX 駐在
- 加古川 079(421)7520
-
- 豊岡支局
- 〒668-0026
- 豊岡市幸町 13-20
- 0796(22)6161
- FAX 0796(23)2338
-
- 通信部
- 番付 0796(36)4498
-
- 神戸総局
- 〒650-0016
- 神戸市中央区
- 多摩通 4-1-5
- 078(351)1771
- FAX 078(361)3001
-
- 阪神支局
- 〒692-0916
- 西宮市六波寺町 9-11
- 0798(33)5881
- FAX 0798(37)2477
-
- 通信部
- 尼崎 06(6421)2545
-

淡路

今できること

淡路島と周囲の距離が、ほぼ同じ長さのシンガポール。マリーオンやラッフルズホテルなどで有名な東アジア有数の観光大国である。人口は500万人で、淡路島の約35倍。アジアの観光客誘致は競争が激しく、シンガポールは以前、やや後れをとっていました。2004年にリー・シェンロン第3代首相が就任後、10年、20年先を見据えた観光誘客の計画を立てた。

これまでシンガポールは、国内の観光地数が乏しいなどの理由で、リピーターがつかないという問題を抱えていました。しかし、この度、新たに策定され、推進中の新計画で、カシノ解禁を柱にユニバーサルスタジオを誘致するなどマリーナベイサンズの一大開発計画によって、一気に上昇気流にのる形となったようです。

国家は一党独裁で、日本とは全く状況は違いますが、明確なビジョンとその行動力は世界の国々に注目されたいと違ひありません。

さて、われわれの淡路島はどうでしょうか？

木下紘二氏 淡路青年会議所 社長



10年、20年先を見据えて

淡路島は、国生み神話発祥の地であり、かつては食材を朝廷に献上し、「御食国」と呼ばれていました。それを生かして、観光産業を活性化させることが重要であるの、は言うまでもありません。

シンガポールとは形は違いますが、今まさに10年、20年先を見据え、島全体で一体的な計画を立て、「行ってみたい淡路島」づくりを推進していくことが重要です。そして、シンガポールのように官民一体で取り組んでいけるような状況になればと願っています。

話は変わりますが、淡路島の子どもは、のびのびとすくすくと育ち、運動も盛んに行われ、「強い子供が育つ環境にある」とも言われています。おそろしくこの素晴らしい環境と、そこで

しまつてほです。

今できること、人によって大小さまざまですが、大切なのは将来に向かって大きな夢を描き、それに向かって元氣よく生き抜いていくこと。そして、着実に進化していくことだと考えています。そして、そのように自分自身が行動できるよう頑張りたいと思います。

夢のようなことを想像しつつ、現在、私は社団法人淡路青年会議所に在籍中、今年で40歳を迎えます。8月6日には、近年、来客数が減少傾向にある「島まつりおどり大会」にメンバーとしても参加し、若者らしい姿をアピールできればと思っています。

-
- 二コースのご連絡は
- 洲本支局
- 〒656-0026
- 洲本市栄町2-2-15
- (本町ビル2階)
- 0798(22)1450
- 0799(25)2125
- FAX
- 姫路支局
- 〒670-0921
- 姫路市錦町119
- 姫路不動ビル内
- 079(224)5551
- 079(226)3191
- FAX
- 駐在
- 加古川 079(421)7520
- 豊岡支局
- 〒669-0025
- 豊岡市幸町13-20
- 0796(22)6151
- 0796(29)2338
- FAX
- 通信部
- 香住 0796(36)4499
- 神戸総局
- 〒650-0015
- 神戸市中央区
- 多聞通4-1-5
- 078(351)1771
- 078(361)3001
- FAX
- 阪神支局
- 〒662-0918
- 西宮市六瀬寺町9-11
- 0798(33)5881
- 0798(37)2477
- FAX
- 通信部
- 尼崎 06(8421)2545
-

淡路

今できること

平成18年に地方分権改革推進法が成立しました。地方自治体の自主性を強化し、地方の責任で行政を行う見直しが検討されています。具体的には「道州制」の導入も協議され、まさに地域主権の時代、地域住民が地域発展のために最善の政策を行える時代が変わろうとしています。

しかし、地域主権が確立されても、良いことばかりではありません。地域で画一的な統制が取れないというところは、地域間の格差や競争が激しくなり、発展する地域、衰退する地域が出てくる可能性もあります。

私たちの淡路島ではどうでしょう。人口は約14万2千人ですが、2050年には半分の約7万人になると予想されます。現在でも登記上の人口は14万2千人でも在住人口は11万人程度といわれ、2050年を待たず、人口が半減する可能性もあります。平成20年で4600億円規模の淡路島のGDPは、2025年に3800億円、20

氏一畑大 淡路青年会議所 社団法人



今こそ「ひびく」のビジョンを

40年には2800億円規模になり、30年足らずで40%以上の縮小となるデータもあり、経済規模も人口減少に伴って半減するとされます。人口減少や地域内GDPの減少、労働環境（雇用問題）などの課題は全国

共通で、淡路島に限ったことではありません。各地域が問題を克服し、発展的な地域となるため、さまざまな政策を打ち出して努力する中、淡路島も同じように他地域を意識した取り組みが必要であると考えます。

人口とGDP、労働環境などは、それぞれが独立しているわけではありません。人口を支えるには生活に十分な収入、それを得る労働の場、そして人口が生み出す消費活動がGDPに寄与し、それが繋がっています。労働の場は単に「働く」だけでなく、若い人の多くは「自分の理想とする職場」、つまり「一流企業に就職したい」「自分の夢である仕事に就きたい」など、さまざまな願望があります。それをかなえるために島外に出ていくことも少なくありません。夢や願望などの側面も無視できないと思えます。

淡路島が今後も発展していくには、長期的なビジョン「どのような淡路島を目指すのか」の指針が必要です。各市、各団体、島民がバラバラの方針で散発的な行動をしている現在のような状況では、淡路島のまともにはなく、多くの可能性を内包する淡路島を発展に向けて動かすことは困難です。

他の地域より特性を持ち、競争力を持った地域にどうなるのか。そんな「淡路島のブランドデザイン」を示す、今後の淡路島を考えた具体的なまっしぐらに行うことが必要です。

さまざまな垣根を越えて「淡路島をひとつ」としてとらえて、長期ビジョンとターゲットを明確に実行していかねばならないと考えています。未来の淡路島のために！

-
- ニュースのご連絡は
- 洲本支局**
- 〒656-0026
- 洲本市栄町2-2-15
- (本町ビル2階)
- 0799(22)1450
- FAX 0799(25)2125
- 姫路支局**
- 〒670-0921
- 姫路市錦町119
- 姫路不動ビル内
- 079(224)5551
- FAX 079(226)3191
- 駐在
- 加古川 079(421)7520
- 豊岡支局**
- 〒668-0025
- 豊岡市幸町13-20
- 0796(22)6151
- FAX 0796(29)2338
- 通信部
- 香住 0796(36)4499
- 神戸総局**
- 〒650-0015
- 神戸市中央区
- 多聞通4-1-5
- 078(351)1771
- FAX 078(361)3001
- 阪神支局**
- 〒662-0918
- 西宮市六瀬寺町9-11
- 0798(33)5881
- FAX 0798(37)2477
- 通信部
- 尼崎 06(6421)2545
-

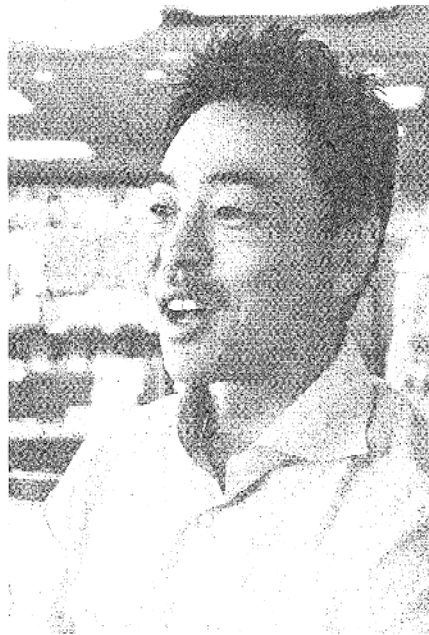
淡路

今できること

東京で生まれ育った私は平成12年4月、「ジャパンフロンティア2000」で、にぎわう淡路島にやってきました。淡路島への縁は、洲本で観光業、エネルギー事業を経営する母の実家を継ぐため、淡路島での企業活動にあふれんばかりの希望を持って参りました。しかし、ジャパンフロンティア2000が終了すると、震災後よりも厳しいといわれるほど、淡路島の観光業は厳しい状況を体験しました。旧市街地の人口減少も進み、エネルギー事業も安定した状況とはいえ、何とも光の見えない状況と化した時代へと変わってゆきました。満ちあふれていた希望が、危機感へと変わったのはいつまでもありません。

それでも、淡路島は多様な歴史文化、多くの産業、さらに四方を海に囲まれて魅力が詰まっていますから、もともとここに活気ある島になれたら、感じるのに時間はかかりませんでした。大きな淡路島には、それぞれの地域性もあります。それぞれの地域が役割を

社団法人淡路青年会議所 上村雄二郎氏



真の「淡路はひとつ」に向けて!

担い、地域間で連携を図り、淡路島が一体となってその存在を、魅力を発信すべきではないでしょうか。

しかしながら、精神的に淡路島が一体になっていないように感じます。私は12年前に淡路島に来たとき、決して洲本に来た」という感覚はありませんでした。紛れもなく「淡路島」に来たのです。この混ざった世の中を、より活発な社会活動は、企業外

担い、地域間で連携を図り、淡路島が一体となってその存在を、魅力を発信すべきではないでしょうか。

しかしながら、精神的に淡路島が一体になっていないように感じます。私は12年前に淡路島に来たとき、決して洲本に来た」という感覚はありませんでした。紛れもなく「淡路島」に来たのです。この混ざった世の中を、より活発な社会活動は、企業外

淡路JICは設立以来、基本理念に「淡路はひとつ」を掲げています。今年で設立49年を数えますから、設立当時は1市10町体制になる2年前のことです。その時代から「淡路島はひとつ」という理念を掲げていたことは、未来を思い描いていたからこそと申します。

そして、2011年淡路JICは、この理念を島民のみならず、波及すべく事業を行います。実施予定は今年秋です！ たくさんの方々の皆様にご参加いただき、明るく豊かな淡路島の未来に向けた「淡路はひとつ」の理念を一人でも多くの方々と共有して参りたいと存じます。

- 二コースのご連絡は
- 洲本支局**
〒656-0026
洲本市栄町2-2-15 (本町ビル2階)
0799(22)1450
FAX 0799(25)2125
- 姫路支局**
〒670-0921
姫路市徳町119
姫路不動ビル内
079(224)5551
FAX 079(226)3181
- 駐在**
加古川 079(421)7520
- 豊岡支局**
〒668-0025
豊岡市幸町13-20
0796(22)5151
FAX 0796(29)2308
- 通信部**
香住 0796(36)4499
- 神戸総局**
〒650-0015
神戸市中央区
多明路4-1-5
078(351)1771
FAX 078(351)3001
- 阪神支局**
〒662-0018
四宮市八幡寺町9-11
0799(33)5881
FAX 0799(37)2477
- 通信部**
尼崎 06(6421)2645

淡路

今できること

淡路島に生まれ、現在に至るまで淡路島を離れたのは高校を卒業し、専門学校、そして就職していた7年半です。よく言われているUターンになりませんが、家が自営業をしているがゆえのUターンであり、何かを感じてはおりませんでした。

私の生まれた地域では、私が幼少の時より、だんじりを準備して運行するための祭礼団や消防団といった団体があり、地域に根差して活動することが当たり前に行われています。これは島を離れていた期間も継続されており、帰ってきてすぐに祭礼団に入り、3年前からは消防団にも入っています。

そのほか、さまざまな団体に所属することになりましたが、どの団体も地域のため、淡路島のために活動をしており、活動して行く中で、地域とのかかわりの大切さがあることが、年を重ねて行くたびに実感できるようになってきました。

社団法人淡路青年会議所 向内英光氏



若い世代の力を地域に

しかしながら、驚いたのがだんじりの乗り子が限られていたことでした。私が乗り子をしていたころは、鳴門海峡大橋の開通や「くじみの祭典」など淡路島は活気があり、ハブ経済の前兆の時代でした。今、私の母校の小学校は先の時代比べますと、児童数が3分の2以下になっております。さまざまな地域のことを聞いても、この

淡路島では、架橋の影響・少子高齢化・一次産業の担い手不足などが問題に挙げられています。私の住んでいる小さな地域でも起こっている問題です。しかし、祭りや消防団の問題は、これらの問題とは別であると思えます。われわれの世代、より若い世代が

地域のためにと思う気持ちだけで改善されていくのではないのでしょうか。今、われわれにできることは、地域の文化や伝統を大切に、若い世代が地域にかかわりを持つことだと思えます。淡路島の地域コミュニティの役割が、地域内でしっかりとたかかわりを持ち、自立した地域コミュニティとなれば、淡路島全体の人間力の底上げとなるはずです。地域の文化

や伝統を大切に、地域の行事に参加することは、その地域の人ならば誰にでもできるはずです。多くの20代・30代の若者が地域に積極的にかかわること、魅力ある地域、誇りをもてる地域となり、そのような大人を見ている子供たちにも影響を与え、「地元に残る」「Uターンする」などのきっかけともなりえます。時代がどのように変わっても、われわれの世代やさらに若い世代が地域コミュニティに深くかかわり、活動することが、活気のある地域・活気のある淡路島に繋がっていくはずです。

-
- ニュースのご連絡は
- 洲本支局
- 〒656-0026
- 洲本市栄町2-2-15
- (本町ビル2階)
- 0798(22)1450
- FAX 0798(26)2125
- 姫路支局
- 〒670-0921
- 姫路市錦町119
- 姫路不動ビル内
- 079(224)5551
- FAX 079(226)3191
- 駐在
- 加古川 079(421)7520
- 豊岡支局
- 〒668-0025
- 豊岡市幸町13-20
- 0796(22)6151
- FAX 0796(29)2338
- 通信部
- 香住 0796(36)4489
- 神戸総局
- 〒650-0015
- 神戸市中央区
- 多聞通4-1-5
- 078(351)1771
- FAX 078(361)3001
- 阪神支局
- 〒662-0918
- 西宮市六通寺町9-11
- 0798(33)5881
- FAX 0798(37)2477
- 通信部
- 尼崎 06(6421)2545
-

<別: 種別: 産経新聞>

産経新聞

淡路 J C が 15 日、フォーラム開催

社団法人淡路青年会議所（淡路 J C、畑野信行理事長）は 15 日午後 1 時から、洲本市小路谷のホテルニューアワジで「淡路島一市フォーラム～淡路はひとつ！ 未来の淡路島のために～」を開催する。島内の 3 市長をパネリストに「淡路島を 1 市とする」ことについて意見交換する。畑野理事長は「1 市に向け、未来のために若い世代が動き出す必要がある。まずは一歩を踏み出したい」と話している。

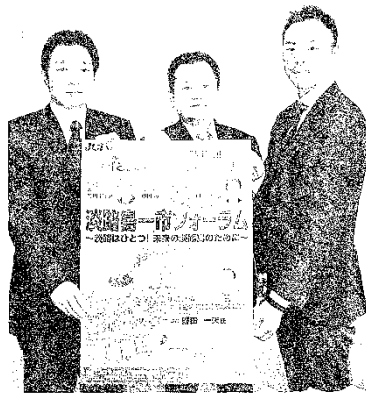
フォーラムは財団法人日本総合研究所会長の野田一夫氏が「日本を変えて淡路島」をテーマに基調講演。淡路島が特色を持った地域となり、地域発展のモデルケースを目指す。淡路島共和国論、などについて話す。

その後、パネルディスカッションでは「どうなる！ 未来の淡路島！」をテーマに竹内通弘・洲本市長、中田勝久・南あわじ市長、門康彦・淡路市長、畑野・淡路 J C 理事長が討論。人口減少や少子高齢化、地域内 GDP の減少など課題解決に向け、「淡路一市」について議論を深める。

淡路 J C は、島内が 1 市になったころから 1 市を目指して運動を展開。島内各市で人口減に伴う収収減

「淡路島を 1 市に」

島内 3 市長が討論



淡路島で 1 市を目指すフォーラムを企画する淡路 J C の畑野信行理事長（中央）ら。洲本市本町

などの問題が浮上する中、「全局の問題に取り組み自治体が必要」として、今回、フォーラムを開催することにした。

淡路 J C は「3 市は 1 市への途中経過と考え、『淡路はひとつ』の理念をアピールしたい」としている。フォーラムは参加無料。申し込み・問い合わせは、淡路 J C（☎ 07 99・22・6611）。事前申し込みは 7 日までだが、当日参加も可能。インターネット（<http://www.awaji-jc.or.jp/>）でも受け付けている。

淡路青年会議所（畑野信行理事長）は、15 日午後 1 時から、洲本市小路谷のホテルニューアワジで、「淡路島一市フォーラム～淡路はひとつ！ 未来の淡路島のために～」を開催する。

日本総合研究所の野田一夫会長が「日本を変える淡路島」を

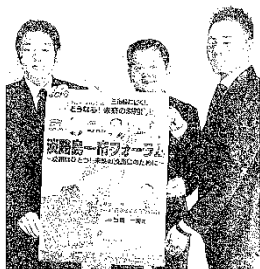
「島一市」考えよう

15 日にフォーラム

テーマに基調講演。竹内通弘・洲本市長、中田勝久・南あわじ市長、門康彦・淡路市長と、畑野理事長がパネル討論を行う。

同会議所はかつて「淡路一市を実現する会」をつくって運動を展開したが、平成の大合併で 3 市体制となり、同会は 2004 年に解散。「島内の人口、GDP 減少が進む中、島が一体となって未来を切り開こう」とフォーラムを企画した。

入場無料。定員 500 人。申し込み、問い合わせは平日の午前 10 時～午後 4 時に同会議所（☎ 99・22・6611）。ホームページ（<http://www.awaji-jc.or.jp/>）からも申し込みめる。



「淡路島一市フォーラム」への来場を呼びかける畑野理事長（中央）ら

平成 23 年 10 月 6 日 読売新聞

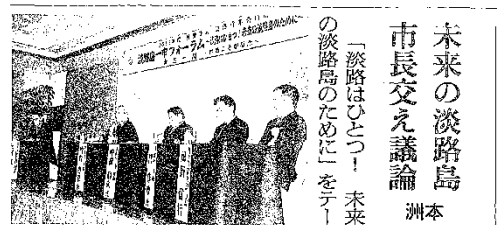
淡路島一市フォーラム
あす 洲本

3 市長が意見交換

淡路島内の 3 市長が来週、浜調講演では財団法人の淡路島についてパネルディスカッションで意見交換する「淡路島一市フォーラム」が淡路はひとつ、未来の淡路はひとつ、未来の淡路島のために、15 日、洲本市小路谷のホテルニューアワジである。

淡路青年会議所が主催、門康彦市長が「どうなる未来の淡路島」と題してパネルディスカッション。少子高齢化問題、や食のブランド力強化、グリーンエネルギーの活用などについて意見を交換する。

午後 1 時 4 分。入場無料。定員 500 人。対象は島内在住者。申し込みは同青年会議所室 079-90226011 (金 慶順)



未来の淡路島 市長交え議論 洲本

「淡路はひとつ！ 未来の淡路島のために」をテーマに、淡路島一市フォーラムが 15 日、洲本市小路谷のホテルニューアワジで開かれた。淡路青年会議所（畑野信行理事長）の主催。門康彦・淡路市長、竹内通弘・洲本市市長、中田勝久・南あわじ市長らがパネリストになり、淡路島の将来を考えた。

約 300 人が参加。パネルディスカッションでは各市長から、合併前に比べて財政面で大きく改善していることなどが報告された。

一方、今後の課題として、島全体をカバーする交通網の確立や医療体制の充実、ごみ処理、雇用創出などが挙げられた。

合併による「淡路島の一市体制」への移行について、各市長からは前向きな姿勢が目立った。「島外から見ると淡路島は 1 市だ。島民の一体感はある（竹内市長）。「淡路はひとつの考えは大事。方向を決め、一つ一つ積み重ねていきたい」（中田市長）。「淡路島が一つになるのは歴史の必然。早くやらねば損」（門市長）など、積極的な発言が相次いだ。

パネルディスカッションを前に、財団法人日本総合研究所の野田一夫会長が基調講演。地方分権の必要性などを訴えた。

「淡路島を1市に」



島内の各市長が参加し、「淡路島1市」の必要性を確認したフォーラム。洲本市

社団法人淡路青年会議所 島の問題に取り組む自治体 (淡路J.C. 畑野信行理事) が主催。淡路J.C.は島内が1市だったころから誕生後、島内3市長が「淡路1市を目指しており、「全路1市」について直接、意

淡路J.C.がフォーラム

「淡路島を1市とする」ことを考える「淡路島1市フォーラム」淡路はひとつ！ 未来の淡路島のために」が15日、洲本市小路合のホテルニューアワジで開催された。島内3市長も出席し、「1市化は、国の合併特例債の期限が切れる平成27年までが期限になる」との認識で一致。1市化を進める姿勢を示した。

島内3市長が初の意見交換

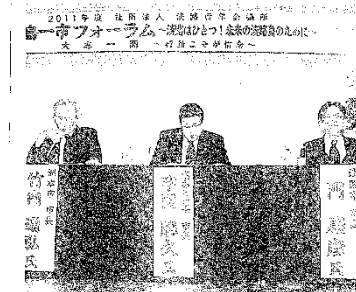
見交換したのは初めて。フォーラムには約300人が参加。財団法人日本総合研究所会長の野田一夫氏が「日本を委える淡路島」をテーマに基調講演し、地方分権を推進して地域発展のモデルケースを目指す「淡路島共和国論」について持論を展開した。パネルディスカッションでは、竹内通弘・洲本市長、中田勝久・南あわじ市長、門康彦・淡路市長、畑野・淡路J.C.理事長が意見を交換。地域間格差などの課題を挙げ、島内交通網や医療の問題解決に向け、広域行政を進める必要があることなどを確認した。門市長は17、18年の合併で3市が誕生した際の合併特例債について言及。「淡路1市は歴史の必然。特例債の期限は27年に切れる。早くしなければ損」と1市化へ強い意向を表明した。竹内市長は地域エゴなど問題解消の重要性を述べ、「淡路1市は民意。淡路島として他地域と競わなければならない。1市に向け、がんばりたい」と話した。中田市長は1市に向けて各市長の連携・意見交換の活発化を提案。「すべてがバラ色ではない。手順を踏んで市民に納得してもらうことが重要」と述べた。

淡路

ニュースのご連絡は
洲本支局
〒856-0026
洲本市栄町2-2-15
(本間ビル2階)
0799(22)1450
FAX 0799(25)2125

姫路支局
〒670-0921
姫路市陽町119
姫路不動産ビル内
079(224)5551
FAX 079(226)3191
駐在
加古川 079(421)7520
豊岡支局
〒668-0025
豊岡市幸町13-20
0793(22)2125

「島一市」必要で一致



淡路島の将来について意見を述べる3市長（洲本市内で）

洲本でフォーラム 3市長、展望語る

淡路島内の3市長が15日、洲本市内のホテルで開かれた、3市の合併など島の将来を話し合う「淡路島一市フォーラム」（淡路青年会議所主催）に参加した。3人は「将来的には島内1市の必要性がある」との考えで一致。公共交通や医療体制の見直しなど、3市で取り組むべき課題についても意見を交わした。（竹上知秀）

竹内通弘・洲本市長、中田勝久・南あわじ市長、門康彦・淡路市長は、「どうなる」と未来の淡路島をテーマにしたパネルディスカッションに参加。島内1市について、竹内市長は「島内で競争するのではなく、他の地域と競うべきだ。地域間のエゴを解消する必要もある」と話した。中田市長は「いかに市民

に納得してもらうかが重要だ。全てがバラ色と思われなくてもいい。手順をうまく踏み、着実に積み上げていく必要がある」と指摘。門市長は「できるだけ早く実現すべきだ。財政上の見直しを提案。門市長は「三市の合併は、公共交通の事業を、二重、三重行の解消という視点で行うべきだ」と話した。

県内ヶ所の
大本山認可
淡路島一市
合併

淡路青年会議所（船野信行理事長）主催の「淡路島一市フォーラム」が淡路島の未来のために15日、洲本市小路谷のホテルニューアワジで開かれた。未来の淡路島をテーマに、3市長がパネリストになり、合併後の市政運営や課題などについてパネルディスカッションした。島民ら約300人が参加した。

淡路島を1市に

3市長出席 洲本でフォーラム



将来の淡路1市などについて話す3市長
＝洲本市小路谷のホテルニューアワジで

パネルディスカッションでは「相当の覚悟（長）、一つになるのはいるが、1市になるは歴史の必然、やる必要は必要」と竹内通弘市長から早くやるべきだ」と門康彦市長、中田勝久市長がそれぞれ意見を述べた。中田市長は「登壇修

淡路

今できること

1970年代の第二次ベビーブームの頃に淡路島で生まれ、大学生になるまで淡路島の自然の中で、のびのびと生活してました。小学生の時(80年ごろ)は、1学期4人でクラスの編み袋で、同級生だけでなく、級生も運動場の場所の取り合いをして記憶があります。人数が多かったにもかかわらず、近所のおじさんやお母さんなど「お家の子か知ってていいな」といって褒めてくれた。と聞いてもいい人らしい場所でした。

80年代の淡路島の人口は17万人くらいでしたが、2011年現在は14万人くらいになってしまっています。人口の減少は淡路島に限ったものではありません。少子高齢化は進み、全国的な問題となっています。しかし、今までもベビーブームがあったように、人口の増減は社会の原理ではなりました。か、高校を卒業して入学・社会人として外で生活をしてきましたが、島を離れて初めて

三倉克仁氏 社団法人淡路青年会議所



伝えるべきことを子供たちに

て分かるようになってきたとありましたが、戻くも悪く今までも変わらぬ状況とかが当たり前でなにもかも、三蔵と二蔵に違いは出します。一蔵、島を離れてみて、より淡路島の長を魅力なことを感じることができました。そのような経験を重ね、淡路島にまた来て、自分が必要とする淡路島に何を思い出ししました。

昔、近所に飾っておきなごきんご、娘

想像することは難しいかもしれませんが、淡路島の魅力をまた団体がおののけの気持から、淡路島を誇らしげに、淡路島を誇りに思っています。一蔵と取り組んでいきます。私も地域の至である子供たちを誇りに思っています。

そして、子供たちがまたまたな経験をするので、淡路島を好きになってくれることを願っています。

- ニュースのご連絡は
洲本支局
〒656-0026
淡路市洲本2-2-15
(本島ビル2階)
0799-2211450
FAX 0799-252125
- 姫路支局
〒670-0921
姫路市河町119
姫路不備ビル7F
078(224)5551
FAX 078(226)3191
- 駐在
岡山、079(421)7520
- 豊岡支局
〒668-0025
豊岡市牟田13-20
0793(22)5151
FAX 0799(29)3338
- 通信部
専任 0796(36)4499
- 神戸総局
〒650-0015
神戸市中央区
多摩島4-1-5
078(351)1771
FAX 078(351)2021
- 阪神支局
〒662-0918
西宮市六条寺町9-11
0798(33)8881
FAX 3798(37)2477
- 通信部
専任 06(6421)2545

J.C理事長に上村氏
社団法人淡路青年会議所
(淡路J.C)は21日まで
に、次期理事長に淡路島鏡
光ホテル社
長の上村雄
二郎氏(87
)写真IIを
内定した。

任期は平成24年1月から1年間。12月17日の総会で承認される。淡路J.Cは24年に設立50周年を迎え、記念事業などに取り組む。

上村氏は9年3月に成蹊大卒業後、JTBを経て12年4月に淡路島観光ホテルに入社。17年12月に同社社長に就任した。13年に淡路J.Cに入り、活動を続けている。

淡路

今できること

島民のみならず、心には、2011(平成23)年度社団法人淡路青年会議所第49代理事長の畑野信行です。平素はわれわれ社団法人淡路青年会議所の活動に格別のご理解をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

本年度は、淡路島を舞台に2つの事業を開催させていただきます。

一つは6月に開催しました「第17回わんぱく相撲淡路場所」です。この大会では、現役力士の高見盛岡を招いて、盛大に開催することを予定しておりました。しかし、あいにくの台風の影響で次週へ延期となり、高見盛岡に参加いただくことはできない中で、大会開催となりました。

しかしながら、相撲を通じて、子供たちに多くの気付きを与えることができたと考えます。当日、参加いただいたみなさま方、本当にありがとうございました。

そして、もう一つは10月に開催しま

社団法人淡路青年会議所 畑野信行氏



これからも「淡路は一つ」

「淡路は一つ」を高々と掲げ、活動してまいります」と書かせていただいております。この事業はそのスタートを切るべきものとして意義あるもの

今年1月の「今できること」で、平成23年は「淡路は一つ」を高々と掲げ、活動してまいります」と書かせていただいております。この事業はそのスタートを切るべきものとして意義あるもの

2012年度は社団法人淡路青年会議所の発足から50年目を向かえます。この50年は間違った、淡路島、そして島民のみならず、心には、2011(平成23)年度社団法人淡路青年会議所第49代理事長の畑野信行です。平素はわれわれ社団法人淡路青年会議所の活動に格別のご理解をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

本年度は、淡路島を舞台に2つの事業を開催させていただきます。

一つは6月に開催しました「第17回わんぱく相撲淡路場所」です。この大会では、現役力士の高見盛岡を招いて、盛大に開催することを予定しておりました。しかし、あいにくの台風の影響で次週へ延期となり、高見盛岡に参加いただくことはできない中で、大会開催となりました。

しかしながら、相撲を通じて、子供たちに多くの気付きを与えることができたと考えます。当日、参加いただいたみなさま方、本当にありがとうございました。

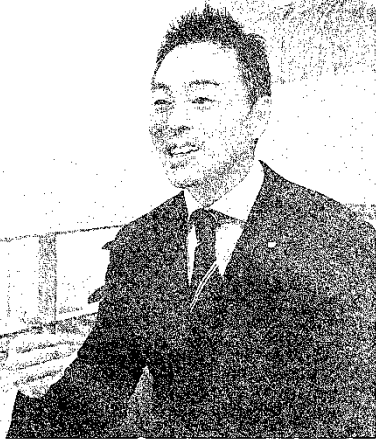
そして、もう一つは10月に開催しま

-
 ニュースのご連絡は
洲本支局
 〒656-0026
 洲本市栄町2-2-15
 (本町ビル2階)
 0799(22)1450
 FAX 0799(25)2125
- 姫路支局**
 〒670-0921
 姫路市総町119
 姫路不動ビル内
 079(224)5551
 FAX 079(226)3191
- 豊岡支局**
 〒668-0025
 豊岡市幸町13-20
 0796(22)6151
 FAX 0796(29)2338
- 神戸総局**
 〒650-0015
 神戸市中央区
 多聞通4-1-5
 078(351)1771
 FAX 078(361)3001
- 阪神支局**
 〒662-0918
 西宮市六湛寺町9-11
 0798(33)5881
 FAX 0798(37)2477
- 通信部
 06(6421)2545

淡路

「淡路はひとつ」の理念で

淡路 J C の上村新理事長が抱負



発足 50 年の記念の年に向け、抱負を語る上村
雄二郎・淡路 J C 新理事長 ― 洲本市小路谷

社団法人淡路青年会 2 (平成 24) 年度第 50 代理
議所 (淡路 J C) は 201 理事長に淡路島観光ホテル社
長の上村雄二郎氏 (37) を選
出した。24 年は淡路 J C が
発足して 50 年となる。設立
以来続けている「淡路島 1
市」に向けた活動も注目さ
れる。節目の年に臨む上村
新理事長に聞いた。

長の上村雄二郎氏 (37) を選
出した。24 年は淡路 J C が
発足して 50 年となる。設立
以来続けている「淡路島 1
市」に向けた活動も注目さ
れる。節目の年に臨む上村
新理事長に聞いた。

上村 雄二郎 (うむら じゆうじろう)

昭和 49 年、東京都生まれ。
平成 9 年 3 月、成蹊大卒
業。J T B を経て 12 年 4
月、淡路島観光ホテルに入
社。17 年 12 月に同社社長、
同年に洲本カヌス社長に就
任。13 年に淡路 J C に入
り、活動が続いてきた。理
事長の任期は 24 年 1 月から
1 年間。

ニュースのご連絡は
洲本支局
〒666-0026
洲本市栄町 2-2-15
(本町ビル 2 階)
0799(22)1450
FAX 0799(25)2125

姫路支局
〒670-0921
姫路市船町 119
姫路不動産ビル内
079(224)5551
FAX 079(226)3191
駐在
北古川 079(421)7520

豊岡支局
〒668-0025
豊岡市幸町 13-20
0796(22)6151
FAX 0796(29)2338

通信部
香住 0796(36)4499
神戸総局
〒650-0015
神戸市中央区
多聞通 4-1-5
078(351)1771
FAX 078(361)3001

阪神支局
〒662-0918
西宮市大徳寺町 9-11
0798(33)5881
FAX 0798(37)2477
通信部
尼崎 06(642)12545

「就任しての抱負は
「大きな節目での理事長
となった。県や各市と連携
して過去 49 年を積み重ねて
いただいたことに感謝し、
記念式典を開き、感謝を示
したい。6 月末に記念式典
式典の開催を予定してい
る。また、設立当初から掲
げているのが「淡路はひと
つ」の理念、それを抜きに
して年間の事業はできな
い。いま一度、その理念を
かみしめながら、意識付け
をしたい」

「どのように 1 市運動
に取り組むのか
「淡路島を 1 市にするこ
とは、行政抜きでは考えら
れない。だが、島民、島で
生活していく人が島の将来
を考えていくべきだと思っ
ています。まず市民の意識
の変革を訴えていきたい。
例えば、島内の観光協会は

一つになった。メンバー同
士が一つになって、全体的
な方向性を考えられるよう
なうとしていく。淡路島
の強み、淡路が一つである
ことを表現し、淡路の良い
点を島外に発信したい。そ
のよきなことを島民の方
に訴えていきたい。1 年 1 年の
結果がつかなくて、ここま
でできた。活動し続けるこ
に意義がある」

「淡路島をどう思うか
「東京で生まれ、大学卒
業まで東京でした。平成 12
年に淡路島観光ホテルに入
社して淡路島にきたが、き
れいな海、おいしい魚など
食文化に驚んでいるし、歴
史も深い。観光資源に大き
なものはないが、深い素材
やたくさんある要素がある。
観光という面でも伸びしろ
のある地域だと思う。淡路
島にきた当初は「大変だ

「50 年から 100 年の期
間を考えると、現在の淡路
市はベッドタウン、洲本は
観光の中心、南あわじは第
1 次産業と役割が分担して
いくかもしれない。島内外
の交流人口をふやすことが
活性化の力ぎになると思
う」

「淡路 J C の課題は
「13 年には 100 人弱の
会員がいたが、24 年度は 65
人でのスタートになる。会
員を増やすことが課題だ
が、前を向いて自分たちが
盛り上げていって、淡路島を盛
り上げていきたい」

「就任しての抱負は
「大きな節目での理事長
となった。県や各市と連携
して過去 49 年を積み重ねて
いただいたことに感謝し、
記念式典を開き、感謝を示
したい。6 月末に記念式典
式典の開催を予定してい
る。また、設立当初から掲
げているのが「淡路はひと
つ」の理念、それを抜きに
して年間の事業はできな
い。いま一度、その理念を
かみしめながら、意識付け
をしたい」

「どのように 1 市運動
に取り組むのか
「淡路島を 1 市にするこ
とは、行政抜きでは考えら
れない。だが、島民、島で
生活していく人が島の将来
を考えていくべきだと思っ
ています。まず市民の意識
の変革を訴えていきたい。
例えば、島内の観光協会は

一つになった。メンバー同
士が一つになって、全体的
な方向性を考えられるよう
なうとしていく。淡路島
の強み、淡路が一つである
ことを表現し、淡路の良い
点を島外に発信したい。そ
のよきなことを島民の方
に訴えていきたい。1 年 1 年の
結果がつかなくて、ここま
でできた。活動し続けるこ
に意義がある」

「淡路島をどう思うか
「東京で生まれ、大学卒
業まで東京でした。平成 12
年に淡路島観光ホテルに入
社して淡路島にきたが、き
れいな海、おいしい魚など
食文化に驚んでいるし、歴
史も深い。観光資源に大き
なものはないが、深い素材
やたくさんある要素がある。
観光という面でも伸びしろ
のある地域だと思う。淡路
島にきた当初は「大変だ

2012年度

事業計画書

2012年1月1日～12月31日

**社 団 法 人
淡 路 青 年 会 議 所**

社団法人淡路青年会議所

2012年度 スローガン

回帰革新



2012年度 理事長

上村 雄二郎

1. 理事長所信

はじめに

混沌とした世の中と言われて久しい現代、未来の光は未だ見出せず、それに追い打ちを掛ける形となった東日本大震災。そして今もなお世界を騒がせている原発問題を含めた天災・人災は、この国で生活を営む我々に大きな不安を与えて続けています。この淡路島においても、人口減少、少子高齢化による過疎化、行政が抱える財政問題等、問題は山積されています。この先日本、そして淡路島はどうなってしまうのか、我々はただただその成り行きを見守ることしかできないのでしょうか。

荒廃した戦後に「新しい日本の再建は我々青年の使命である」として、青年会議所が設立された原点、そして「淡路はひとつ」という我々社団法人淡路青年会議所の原点に立ち返り、我々はより活発な企業活動、社会活動を通じ、青年経済人として、今こそ社会に対して前向きな変革を起こしていかなければならない時なのです。

真のリーダーとなるために

我々JAYCEEは、企業のリーダーであり、一市民です。まちづくりは市民と行政とが力を共に携えて行われるべきですが、日頃の生活の中でほぼ不自由なく暮らせる現代では、市民はまちづくりに無関心で、いまだ市民一人ひとりがまちづくりの一端を担うという状況にはありません。この現状を打破するためには、地域の明るい豊かなビジョンを描き、率先して行動できる真のリーダーが必要不可欠です。JCの事業は、全てその目的を達成するためのプロセスにおいて、企画立案から議論を重ね、壁にぶつかった時、如何にしてその壁を乗り越えるか、打ち破るか、そしてその中で人と人との関わりを通じて人間力を高めることで、真のリーダーへと成長する無限の可能性があります。真のリーダーとなるべく、メンバー一人ひとりが与えられた立場を理解し、何事も前向きに捉え挑戦していきましょう。

志高き同士の集い

明るい豊かな淡路島を望まない者はいないでしょう。しかし、淡路島をひとつと捉え、その淡路島に前向きな変革を創造していこうとする団体は、社団法人淡路青年会議所以外には存在しません。その組織の中で、青年として本気で地域の未来を考え行動する。そのような期間は非常に濃密かつ貴重な機会です。しかしながら我々は40歳を迎えるとその活動を終えなければなりません。つまり我々の活動を継続、発展していくには新しい同士の集うことが不可欠なのです。ここ10年でもメンバー数は約3分の2にまで減少し、さらに本年は多くのメンバーが卒業を迎える年です。そのことから本年の会員拡大は大きな意味があると考えます。組織は新たな視点と発想が加わることで活性化し、また次の時代に向けた新たな

組織が形成されます。そのためにも、多くの同志を集い、淡路島の明るい豊かな未来に向け、熱き想いを発信していかねばならないのです。そしてその活動の中で我々は、淡路島の未来を考え行動する志高き同志の集いとなるのです。

淡路はひとつ

社団法人淡路青年会議所の原点とも言うべき「淡路はひとつ」という基本理念は、半世紀もの間途切れることなく現在まで受け継がれてきました。そして50年目もこの理念を胸に、明るい豊かな淡路島づくりに向けてその想いを発信して参ります。「淡路はひとつ」といっても、行政の枠がひとつになるというだけではなく、島民の意識の中にまでその理念が落とし込まれなければ、真の「淡路はひとつ」は達成されないと考えます。平成の大合併が行われ3市体制になって早6年。混迷する経済状況の中、さまざまな諸問題を抱えている淡路島の現状は決して明るいものではありません。我々が正に今すべきは、平成の大合併を検証し、その状況を分かりやすく島民の皆様にお伝えすると共に、未来の淡路島のあるべき姿を、革新的発想をもって示すことであると考えます。その中で我々の「淡路はひとつ」の理念を一人でも多くの島民の皆様に浸透させていく必要があるのです。「明るい豊かな淡路島」とは、未来に希望をもって暮らせる島となることなのです。

継続は力なり

社団法人淡路青年会議所は本年創立50年を迎えました。過去に積み重ねた49年の歴史、継続されてきた活動は大きな礎であり、大きな力です。そして周年という大きな節目にはさまざまな意味が込められていると考えます。

過去に行ってきた事業や、先輩方が歩んできた道を振り返る大切な年であると考えます。その中で我々は、青年会議所の伝統、責任を改めて感じると共に、メンバー一人ひとりが自覚を持つことで、足元をより強固なものに出来ると考えます。

また、この49年という過去を作り上げた先輩方への感謝と、我々の活動にご協力を頂いた沢山の皆様に対し、これからも明るい豊かな淡路島づくりに向け今後も共に歩むべく、頂いたご指導ご協力に対する感謝を表す場であると考えています。

そして、これから未来への一歩を踏み出し、真に明るい豊かな淡路島の実現に向けて、真の「淡路はひとつ」に向けた我々の志を発信する場であると考えます。

これらをしっかりと形にすることで、原点への回帰、そして、新たなる一歩を踏み出すきっかけとし、今後益々活発に活動する力にしようではありませんか。

継続は力なり、継続に勝るものは無し！

終わりに

青年会議所活動を送る中で、「変えるべきこと、変えてはいけないこと」という節や、奉仕・修練・友情の三信条は欠かさず耳にしますが、それぞれ考え方が有るように思います。

そんな中、原点に立ち返ることで、変えてはいけない大切なことも、これからの新たな一歩を踏み出すために、変えていかねばならないことも必ず見えてくるはずだと考えます。J A Y C E Eはその活動の中で、何事も前向きに捉え、積極的に行動する、そして世の中に前向きな変化の創造をする。我々はいつの時にもそのような気概で、設立以来の基本理念である「淡路はひとつ」を胸に、「明るい豊かな淡路島」を創造すべく行動して参りました。本年我々は50周年という大きな節目だからこそ、改めて原点を見据えるべきであり、この混沌とした時代の流れすらも前向きに捉え、さらに革新的発想で物事に挑戦し、この淡路島に前向きな変化を創造すべく議論を交わし、積極的に行動し、メンバーやたくさんの方々と多くの関わりを持つべきであります。そして、その活動の中で奉仕・修練・友情という三信条を身を持って知る経験は、今後のJ C活動だけに留まることのない人生の大きな宝となるのです。

2012年度、この50周年という歴史的な節目の年に共に活動できる喜びを胸に、積極的なJ C活動を行いましょ。その中から革新が生まれると信じています。

2. 基本方針

一、伝統への回帰、49年の道のりを確かめ、感謝を示し、新たな一步を踏み

出そう

一、過去の形に捕らわれない革新的な発想をもって挑戦しよう

一、積極的な行動で自らがJCの魅力を発信し、多くの同士を集おう

3. 副理事長・室長抱負

副理事長 飛松 孝司 原田啓行 向内 英光 室長 木原 慎陽



世の中からは活気が消え、先行きが見えない混沌とした時代であっても、我々はJC活動を通じて決して夢をあきらめず、想いを確信に変え、社会に前向きな変化をもたらすべく積極的に行動していかねばなりません。理事長が指し示す方針、そして想い描くビジョンを達成するために、委員長をはじめとするメンバー全体のベクトルを同じくし、責任を持って意識の変革並びに共有を図って参ります。

創立50周年を迎え、未来に向けた新たな第一歩を踏み出す本年、諸先輩方の想いや行動によって今の私たちがあることを再認識するとともに、時代の先駆者としての自覚を持って行動していかねばなりません。そのためには、メンバー一人ひとりが、どのような困難をも打破する強いリーダーシップを身につける必要があります。経済的疲弊が著しく、またメンバー減少が懸念される昨今、合理性や効率を重要視するあまり、あるべき本質が揺らぎ、メンバー同士の関わりさえも薄くなっているように感じます。強いリーダーシップは、人と人とが真剣にぶつかりあうことでしか磨くことはできません。同時に、そのような機会を自己満足で終わらせない為に、明確な目的意識を持ち、成果にこだわっていくことが、本年度のより良いJC活動につながってくるものと確信します。組織の重責を担う立場として、諸先輩方から学んだJC哲学を、情熱を持って継承して参ります。そして革新を成し遂げる為に、過去を振り返ることで新たな気づきを導き、目まぐるしく変化する時代の本質をとらえ、批判をおそれず勇気を持って行動することを誓います。

互いに切磋琢磨する中で、他人の価値観を受け入れる器を広げ、心から信頼し認め合える友情を育む。その想いを実践することが、確固たる組織力を発揮させる原動力になるものと信じ、時代の先駆けとして明るい豊かな淡路島づくりに邁進して参ります。

基本方針

1. 積極的な関わりのなかで、よきパイプ役として行動します。
2. 委員会、会議のスムーズな運営に努めます。
3. メンバーとの関わりを深め、率先して行動します。

4. 専務理事抱負

専務理事 池澄 泰彦



明るい豊かな淡路島を創造するために我々社団法人淡路青年会議所は日々活動また運動しています。我々のこうした活動や運動は、本年で50年を迎えます。このような節目の年に、今一度、我々の活動目的に立ち返り、伝統、責任を改めて感じ取り、組織の足元を固め、これからの組織のあり方やメンバーのことを考え、今まで以上にメンバー同士が真剣に向き合える団体、志高き同志の集いへと革新させる必要があります。

今、地域の情勢は不況や少子高齢化社会などの要因により大変厳しい状態となり、地域の人たちが明るい未来を描くことがとても難しくなっているように思います。しかし、こんな時代だからこそ、我々社団法人淡路青年会議所は率先して明るい未来を創造し、事業や行動を通して、地域の人たちに明るい未来があることを証明していかなければならないと考えます。そのためにはまず、メンバーそれぞれが持っている想いをメンバー同士の交流を通して共有し、理事長が指し示す方向へとメンバーを導き、組織の方向性をひとつにまとめる役目に徹します。組織にとってメンバーは、宝であり原動力そのものであります。その原動力を活かすためには、真剣に向き合って議論できる環境を整え、メンバーを輝かせることで、社団法人淡路青年会議所が輝き、ひいては淡路島が輝くことになり、我々の存在価値が発揮されると考えます。また、他 LOM や関係諸団体との連絡調整を円滑に行い、メンバーが最大限の力を発揮できるよう組織を構築し、メンバーにとって有益な情報を共有できるように業務を遂行します。

理事長の掲げる未来を信じ、理事長の目指す団体にすべく専務の役職に徹し、メンバーの土台になって行動して参ります。志高き同志の集いへと社団法人淡路青年会議所を革新することで明るい豊かな淡路島創造につながると確信しています。

基本方針

1. 理事長の所信を完遂するために、業務に粘り強く挑戦します。
2. メンバー同士が真剣に向き合って議論できる組織運営を行います。
3. 組織を構築するために様々な方向にアンテナを張り運営をします。

5. 監事・特別顧問抱負

監事 上河 護 中西 仁志



幾星霜の季節がめぐり、本年度、社団法人淡路青年会議所は創立 50 周年を迎える年となりました。この 50 年の節目を共に生き、感じることができるのは今いる我々だけの特権であり、この節目を表現できるのも我々だけであります。一生のうちこのような節目はそう多くあるものではないでしょう。

社団法人淡路青年会議所は、変化を恐れず前進してまいりました。49 年の礎のもと、49 回の革新をしてまいりました。この歴史は、現在在籍するメンバーの努力だけではなく、OB 諸兄 他 LOM 地域の皆様に支えられ、我々が行ってきた事業が地域に対し一定の成果があった結果であると考えます。しかし今後混沌とした時代の中で、変えてはいけない本質を確固たる信念を持ち、邁進しなければ 100 年への道のりはさらに厳しいものとなります。「変えるべきものは何もない」 変わるものは、変えるべきものは「手法」であり、「本質」ではないと確信いたします。

本年度 50 年の節目において、我々は「明るい豊かなまちづくり」の為に、淡路島の未来のために改めて本気になり邁進しなければなりません。礎の基、100 年に向け、新しい輝きを共に放ちましょう。

基本方針

1. 理事会と相反する位置づけとして、起こるであろう事由を見極め、的確な判断をいたします。
2. 理事に対し、青年会議所メンバーとしてのあるべき姿を追求し、指導いたします。

特別顧問抱負

特別顧問 後藤 英範



社団法人淡路青年会議所が50周年という節目の年を迎える本年、上村理事長の下、特別顧問という私にとって新たな役職を仰せつかりました。

社団法人淡路青年会議所は設立以来、メンバー個々がそれぞれの役割を担い全うしていくことで、活動を続けてまいりました。

定款によりますと、特別顧問は「経験を生かし、運営に関し必要な意見を述べる」となっております。微力ではございますが、今まで培ってきた経験を生かし、その役割を全うしてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

6. 委員長・室長事業計画並びに予算及び役割業務

理事長公室

公室長 法月 正義



本年度、社団法人淡路青年会議所は創立 50 周年を迎え、新たな一歩を踏み出す節目の一年となります。しかし政治や経済は混迷を極め、不況と言われ閉塞感に覆われているこの時代に、私たちは明るい豊かな淡路島の理想を掲げ、それを実現すべく行動していく時だと思えます。理事長の指し示すビジョンのもと、各委員長の想いが詰まった事業の円滑な遂行をサポートいたします。

理事長公室の大きな柱として、各委員会の想いのつまった事業を達成するために、理事会運営をスムーズに行って参ります。そのためにも常に調査研究をし、各情報の事前確認を行い、より早く共有することで、より議論が深まる会議運営を目指し、会員の想いを形にするサポートをいたします。また社団法人淡路青年会議所全体における現状を常に把握し、迅速でより正確な情報を発信することによって、各委員会の事業において、社団法人淡路青年会議所の想いがつまった事業になるべく、環境づくりを徹底いたします。理事長公室は、このように考え行動することを一年間の根幹として、淡路 JC のために力を注ぎます。そのために必要なことは、我々が自ら進んで取り組み、最後までやり遂げる強い意志を持ち、実行することであると私は考えます。その過程からは、責任感や判断力という個々の持っている資質を向上させることができ、同時に、自分の優れた部分や劣っている部分も見えてきます。今の自分を知り、仲間同士が互いに切磋琢磨して成長することは、視野を広げ、組織の発展に繋がります。

これらの業務を達成することで、共に過ごした時間と大きな達成感を共有し、流した汗と涙は、必ずや自信と誇りに繋がり、人間力を高め、各委員長が事業を通じて明るい豊かな淡路島づくりに邁進出来るものと確信しております。

基本方針

1. スムーズでより議論が深まる会議運営をします。
2. 報告・連絡・相談を徹底することにより対処・判断をスピーディに行います。
3. 常に調査研究を徹底することにより、充実感があり笑顔の絶えない公室運営をします。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施	内容	対象者	予算額	備考
			合計		

役割業務	実施月	業務内容
・ 理事長の秘書的業務及び専務理事の補佐	通年	
・ 一般庶務事項及び発送文章の管理	通年	
・ 本会計に関する財務処理及びコストダウンの調査	通年	
・ 事務局全般にわたる業務及び管理	通年	
・ 通信案内簿及び諸記録の整理	通年	
・ 渉外業務全般	通年	
・ 会費の徴収	前期・後期	
・ 理事会の設営及び議事録の作成	通年	
・ 三役会の設営	通年	
・ 公益法人制度改革に関する業務	通年	
・ ゴルフ同好会・卒業コンペの開催	通年	
・ 50周年事業に関する業務（関連委員会との連絡調整）	通年	
・ 会員拡大に関する業務（関連委員会との連絡調整）	通年	
・ 公室活動の記録保存	通年	
・ 全事業への参加協力	通年	
・ 理事長諮問に関する答申業務	通年	

総務広報委員会

委員長 三原 聡



我々社団法人淡路青年会議所は、創立から49年にわたり、「明るい豊かな社会」の実現に向け、地域に根ざした運動を展開してきました。今後も社団法人淡路青年会議所が島民から認知され、存在意義を示すには、我々の運動の意義や目的といった情報を常に社会に発信し続けなければなりません。そして、島民に訴えかける情報を発信するには、メンバー一人ひとりが想いを共有し、結束して活動していく必要があります。

近年、社団法人淡路青年会議所は、全国の各地LOM同様に会員減少が続いております。こういう時だからこそ、メンバーやたくさんの方々とかかわりを持ちながら、一人ひとりが前向きな変化を創造すべく議論を交わし、個々の価値観をぶつけあい、組織として方向性を共有していくことが不可欠です。その結果、力強く魅力的な発信につながると考えます。総務広報委員会では積極的に直接メンバーと会い、コミュニケーションを図り、関わりあい架け橋となることでメンバー同士が情報・現状を共有し、結束力が高まるように努めます。ウェブサイトでは、迅速かつ正確に告知や報告といった事業の情報を発信するのはもちろんのこと、一方的な情報の発信ではなく、双方向のコミュニケーションを図り、つながりを持てるような機会を提供します。対内広報紙では、事業告知や報告に担当メンバーの想いや苦勞を掲載し、組織の結束力を醸成して参ります。また、このような情報発信をすることにより生まれる社団法人淡路青年会議所の結束力をわんぱく相撲の企画設営に活かし、次代を担う子ども達の心を豊かにし、健全な成長に繋げる一助にします。

メンバー間が想いを共有できるように率先してコミュニケーションを図り、各委員会との架け橋になることにより、メンバーの一体感を高め、組織を活性化させ、そのことが「明るい豊かな社会」の実現につながると確信いたします。

基本方針

1. 積極的に関わりを持ち、常に効果的な情報発信を意識して行動します。
2. 各委員会の架け橋となり、組織の結束力を高めるよう行動します。
3. 新しい情報発信を調査研究し、コミュニケーションの向上を図ります。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額	備考
・ ホームページの管理・運営	通年	ホームページの管理・運営	正会員 一般	165,000	ホームページ制作費
・ 対内広報紙の発行	毎月	JC プレスの発行	正会員 特別会員	448,000	380部×12回 (4頁5回、6頁7回)
・ 会員名簿作成	2月	会員名簿の発行	正会員 特別会員	330,000	380部×128頁
・ 総合資料の作成	2月	PDF データ及びCD-R	正会員	1,000	保存用として
・ 第18回わんぱく相撲淡路場所	5月	わんぱく相撲淡路場所の設営・運営	淡路在住 小学生	130,000	運営・設営費等
・ 例会の企画、設営及び運営	7月	7月例会の企画、設営及び運営	正会員	1,000	会場設営費等は例会委員会
・ 総会の設営及び運営	1, 8, 12月	総会資料の作成及び議事録の作成	正会員	0	一般会計会議費
			合計	1,075,000	

役割業務	実施月	業務内容
・ 対内広報紙の発行	通年	第75回、第76回通常総会、臨時総会
・ ホームページの管理・運営	通年	
・ 総合資料、会員名簿、名刺の作成	通年	
・ 総会・臨時総会の設営及び運営、総会資料及び議事録の作成	1, 8, 12月	
・ わんぱく相撲の企画・設営及び運営	5月	
・ 選挙管理委員会の設置	7月	
・ 例会の企画・設営及び運営	7月	
・ 褒賞に関する報告書作成及び褒賞委員会の企画・設営・運営	通年	
・ LOM事業の記録及び保存のための取材活動	通年	
・ 定款諸規定の調査研究	通年	
・ 50周年事業に関する業務	通年	
・ 会員拡大に関する業務	通年	
・ 委員会活動及び事業の記録保存	通年	
・ 全事業への参加協力	通年	
・ 理事長諮問に関する答申業務	通年	

交流委員会

委員長 岸本 篤人



社団法人淡路青年会議所は49年という長い月日を歩んできました。50年目という大きな節目に委員長として、一步を踏み出せて頂けることに感謝をし、2012年「淡路はひとつ」の原点に立ち返ります。そして、先輩諸兄から受け継いできた理念である「明るい豊かな淡路島づくり」をしっかりと認識します。社団法人淡路青年会議所がさらに活気に満ちた組織になる為に、

会員相互の交流の中から確固たる「友情」を深める必要があります。

私の中で「友情」とは、生涯失う事のない固い絆で結ばれた「人間関係」であると捉えております。互いの価値観を認め合い、相手のために出来ることをしようとする「精神の共有」であり、言わば、その人の為に犠牲になれるかということに基づいて成り立っているものと考えます。この「友情」をメンバーの皆様と新年会から家族忘年会まで一年を通して深め、築いてまいりたいと考えます。まず、49年間の社団法人淡路青年会議所活動を知る諸先輩方との関わり、これまでの想いをメンバーの皆様と共有することのできる貴重な機会と位置付けます。そして、脈々と培ってこられた軌跡を感じ、49年間への感謝の心をしっかりと表現し、おもてなしの精神をもって交流を図ってまいります。またそれだけでなく、我々には49年間変わらぬ基本理念を重んじつつも、50年目の新たな感性の発信、行動力をアピールできる場面が数多くあります。このような場面をまたとない機会ととらえ、メンバー同士の交流、また、我々のJC活動を日々支えてくれている家族への感謝の気持ちを存分に表現できる環境づくりを構築いたします。

「精神の共有」を常に意識しながら、本気で取り組むからこそ得られるかけがえのない経験。そこからは必ずや、自己を犠牲できるほどの「友情」が育まれるものと信じ、より強固な絆で結ばれた活気あふれる組織につながるものと確信します。

基本方針

1. 苦楽を共有し「笑」ある委員会運営を行います。
2. 絶え間ない学習と徹底した革新の追及を行います。
3. 伝統を重んじつつ新たな感性を発揮します。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施	内容	対象者	予算額	備考
・ 新年会	1月	新年度体制をお披露目すると共に、会員、特別会員、来賓、他 LOM との親睦を図る。	正会員・特別会員・来賓・他 LOM	300,000	会場設営費等
・ 5月例会	5月	例会の企画、設営及び運営	正会員	60,000	会場設営費等
・ 淡路島まつり	8月	淡路 JC の活力をアピールすると共に、会員、家族、特別会員、他 LOM との交流を図る。	正会員・家族・特別会員・他 LOM	200,000	会場設営費等
・ 家族忘年会	12月	日頃の感謝を込め家族との交流を図ると共に会員との親睦を図る。	正会員・家族	450,000	会場設営費等
			合計	1,010,000	

役割業務	実施月	業務内容
・ 新年会の企画・設営及び運営	1月	
・ 5月例会の企画・設営及び運営	5月	
・ 淡路島まつり企画・設営及び運営	8月	
・ 家族忘年会の企画・設営及び運営	12月	
・ 公的出向の際の LOM ナイトの設営	通年	
・ 50周年事業に関する業務	通年	
・ 会員拡大に関する業務	通年	
・ 委員会活動及び事業の記録保存	通年	
・ 全事業への参加協力	通年	
・ 理事長諮問に関する答申業務	通年	

拡大研修委員会

委員長 川越 勇輔



「明るい豊かな淡路島」我々はこの志の下に集い、力を合わせて約半世紀もの間、淡路島のために活動してまいりました。この志を次代に継承し、よりよい淡路島づくりを続けるためには、組織の継続、発展がなによりも必要であります。そのためには会員の増大は至上命題であり、また会員相互における修練は今後、我々がこの志に向かって邁進し、それを具現化する能力を養うためにも必要不可欠なものであると考えます。

まず、候補者の皆様に JC の魅力や熱い想いを伝え、入会に導くために自らが JC の魅力を発信いたします。また、普段の JC 活動も拡大活動の一部であると考え、JC 活動に積極的に参加すると共に多くのメンバーとお話しをさせて頂く中で情報の収集、発信、共有を行い新規候補者のリストアップや既存リストの精査等より高精度のものを作成し拡大活動へと活かしたいと考えます。候補者にはそれぞれの事情があります。何を必要としているのか、何を求めているのかを考え候補者に合わせた最善の勧誘方法をとってまいります。

創立から 50 年の節目に社団法人淡路青年会議所はより大きな一歩を踏み出し、今後も地域に根差し「明るい豊かな淡路島」に向かって活動の輪を広げなければいけません。しかし、そのためには失敗を恐れては何も始まりません。本年度は、メンバー一人ひとりが高い目標にチャレンジし、自分の今持っている「最大限」を考え、見つめ直すことで、混沌の時代の中にも社団法人淡路青年会議所がより志高き同志の集いとなるような研修事業を行ってまいります。

会員の拡大だけが目標ではありません。入会候補者の方々をメンバーとして迎え入れ、共に行動し、共に成長していったのなら、その先にあるのは「明るい豊かな淡路島」だと確信いたします。

基本方針

1. 委員会メンバーと共に絶えず成長し、力強く拡大活動を行います。
2. 多くのメンバーと関わりを持つことで拡大情報の発信、共有を行います。
3. 青年としての若さあふれる行動力を示し、何事にもチャレンジしていきます。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施	内容	対象者	予算額	備考
入会案内冊子	1月	入会案内冊子作成	入会対象者	58,000	カラー 270部
前期入会候補者説明	3月	入会候補者説明会の企画・設営及び運営	正会員 入会候補者	28,000	
研修事業	4月	会員育成のための研修事業の企画・設営及び運営	正会員 準会員	18,000	
8月例会	8月	例会の企画・設営及び運営	正会員	1,000	
後期入会候補者説明会	9月	入会候補者説明会の企画・設営及び運営	正会員 入会候補者	28,000	
			合計	133,000	

役割業務	実施	業務内容
・ 会員育成のための研修事業の企画・設営及び運営	4月	
・ 例会の企画・設営及び運営	8月	
・ 50周年事業に関する業務	通年	
・ 拡大に関する業務	通年	
・ 委員会活動及び事業の記録保存	通年	
・ 全事業への参加協力	通年	
・ 理事長諮問に関する答申業務	通年	

例会委員会

委員長 柴田 大介



社団法人淡路青年会議所は本年、創立50周年を迎えます。創立から半世紀の永きにわたり「淡路はひとつ」という理念のもと「明るい豊かな淡路島の実現」を目指してまいりました。我々社団法人淡路青年会議所がさらなる飛躍を目指す上で、これまで以上に組織の活性化と可能性を探求するために、地域を先導する組織の確立並びに、より一層の会員の資質向上が重要であり責務であると考えます。

本年度、例会委員会では「力の追求と結集」をテーマに例会の企画・設営及び運営を致します。例会とは、同じ理念を共有し、目的に向かっていく中で活動の意義を再確認する場であり、メンバー間で活発な意見交換を行い、新たな可能性を創造する大切な機会であると考えます。その大切な機会をより有意義なものにするために、メンバー個々の「求心力」「創造力」「分析力」「精神力」といった様々な「力」を一年間、例会を通じて追求し、結集いたします。Jayceeの「力」とJCの「力」が相乗的に作用されたとき、我々社団法人淡路青年会議所は、より強固な組織となり、さらなる飛躍を遂げることと確信いたします。また、その過程においてメンバー同士が徹底的に関わり共に苦勞し、共に成長し、共に笑う「良き時間」を共有することで、友情と信頼関係の輪が広がり組織は、より一層の活性化がなされるものと考えます。その為に例会時においては、メンバー一人ひとりに対する「目配り・気配り・心配り」の精神を持って接し、有意義な活動と感じられるように取り組みます。

志高き多くの同士が「力」を発揮したとき、混沌とした時代に対しても前向きに捉え、さらに革新的発想で物事に挑戦し、率先して行動することで「明るい豊かな淡路島の実現」に繋がると確信いたします。

基本方針

1. 確実かつ入念な準備を持って例会設営を行います。
2. 「良き時間」の共有をすることで強いチームワークを構築します。
3. 「一笑懸命」の精神で委員会活動を行います。

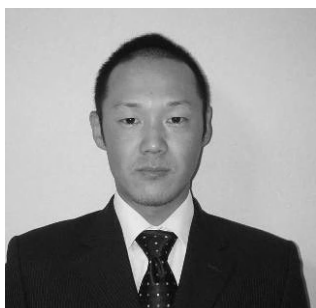
事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施	内容	対象者	予算額	備考
例会の企画、設営、運営	通年	毎月の例会企画、設営、運営	正会員	665,000	会場設営費等
			合計	665,000	

役割業務	実施月	業務内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 出席率向上を目指した例会の企画・設営及び運営 ・ 例会欠席者へのアテンダンスの案内及びフォロー ・ 50周年記念事業に関する運営 (関連委員会との連絡調整) ・ 会員拡大に関する業務 ・ 委員会活動及び事業の記録保存 ・ 全事業への参加協力 ・ 理事長諮問に関する答申業務 	毎月 通年 通年 通年 通年 通年 通年	

社会開発委員会

委員長 中村 篤弘



青年会議所の基盤は地域社会であり、基盤となる地域社会を
発展、活性させようという活動や運動であります。地域社会の
活性なくして明るい未来を創造することも難しいと言えるので
はないでしょうか。我々の理念である「明るい豊かな淡路島」
実現には、諸問題を徹底的に調査研究し、そこから解決方法
を見出し、青年会議所メンバーが先駆けとなって行動していく必
要があります。

1999年より政府主導で行われた市町村合併。我々の住む淡路島においても2004年から2006年にかけて1市10町体制より3市体制へと移行しました。しかしながら、合併以後の成果というものが一向に見えていないのが現状ではないでしょうか。そこで合併前後の状況を徹底的に検証し、島民の方々へ今後向かうであろう「淡路一市」へ向け、自分たちの住む淡路島のことを考える機会へと繋げてまいります。更に危機的状況に陥っていると言っても過言ではない淡路島を、如何にしてより一層魅力ある島へと革新させるかを考えていかなければなりません。そのためには先ず我々青年会議所メンバーが個々の責務を自覚し、ベクトルを合わせた上でより志気を高める必要があります。その後島民に対し、絶大な影響を与えられる事業「淡路はひとつ」を実感できる事業展開を図ってまいります。今後の淡路島を創造していくのは島民一人ひとりであることを伝播し、我々青年会議所メンバーと共に「淡路はひとつ」へとベクトルを併せることが最重要であり、潜在的にある意識を革新してまいります。

我々の理念である「淡路はひとつ」を島民一人ひとりが意識革新することにより、新たな一歩が踏み出され、今までと異なる明るい未来の淡路島を想像することができ、我々の目指す「明るい豊かな淡路島」へ繋がると確信致します。

基本方針

1. 『ONE FOR AWAJI』の気概を持って行動します。
2. 常に革新的な戦略をたて行動します。
3. 積極的に淡路島の島民に対し啓発を行います。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額	備考
・ 社会開発事業の企画・設 営及び運営	6月	平成の大合併の 検証広報	淡路島 民	298,000	資料作成費 広告費
	6月	例会の企画、設 営及び運営	正会員 及び準 会員	2,000	資料作成費 音響費
	7月	社会開発事業	淡路島 民及び 島外	2,430,000	会場設営費、 広報費、諸謝 金、他
			合計	2,730,000	

役割業務	実施月	業務内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会開発事業の企画・開催 ・ 例会の企画・設営及び運営 ・ 会員拡大に関する業務 ・ 50周年事業に関する業務（関連委員会との連絡調整） ・ 委員会活動及び事業の記録保存 ・ 全事業への参加協力 ・ 理事長諮門に関する答申業務 	6月	平成の大合併の検証及び 「淡路一市」に向けて啓 発の実施
	7月	
	6月	社会開発事業の実施
	通年	
	通年	例会の実施
	通年	
	通年	
通年		

50周年特別委員会

委員長 大畑 一也



社団法人淡路青年会議所が1963年に設立されて以来、本年度は50年目を迎えます。「明るい豊かな社会」の創造を志に掲げ、永きにわたり多くの先輩諸兄が流された汗、そして涙にあらためて敬意を表したいと思います。そして、この記念すべき50周年という節目の年に、私たちメンバーがこの志をしっかりと受け継ぎ、一丸となって次代への一步を踏み出します。

時代は激変のときを迎えています。世界規模で変化する経済状況、資源エネルギー問題、日本全国で進む人口減少、少子高齢化の波、これらの変化は私たちの住む淡路島も無関係ではなく、加速度的に変化する時代の中で淡路島の未来を考える必要があります。そして、淡路島の未来を考えたとき、そこには私たちの掲げる「明るい豊かな社会」の姿があります。その姿へ、淡路島が歩み出すために、純粋に淡路島を愛し、淡路島の未来のために貢献すること、その心を形にするために青年会議所運動を行います。社団法人淡路青年会議所が設立されて半世紀、先輩諸兄から引き継いだ志を胸に、現在の我々が青年会議所運動を行うこと、その一つひとつの心ある運動、そしてそれらの心を形にした事業を誠実に行うことが、未来の社団法人淡路青年会議所のメンバーへ志を継承させることにつながります。本年度の50周年記念事業では、先輩諸兄をはじめ、行政関係・各種団体の皆様、各LOMメンバー・兵庫ブロック協議会の皆様からの支えがあり、50周年を迎えることの出来た感謝をしっかりと伝え、我々の感謝の心を形に致します。

この節目の年が社団法人淡路青年会議所、そして淡路島のさらなる発展のチャンスと捉え、周年を通じて全メンバーが一致団結し、未来へと志をつなぎ、更なる飛躍の年となるものと確信し、50周年記念事業を行います。

基本方針

1. 貢献する気持ちを大切にして、青年会議所運動を行います。
2. 50周年記念事業を心を込めて成功させます。
3. 周年を通じて熱き友情と絆を育みます。

事業計画並びに予算及び役割業務

事業計画	実施月	内容	対象者	予算額	備考
・ 4月例会	4月	例会の企画・設営及び運営	正会員・OB会員	50,000	備品等
・ 50周年記念事業	6月	50周年記念式典・祝賀会	正会員 特別会員 来賓 他LOM 準会員	2,750,000	会場設営費等
			合計	2,800,000	

役割業務	実施月	業務内容
・ 例会の企画・設営及び運営	4月	50周年記念事業実行委員会の設置
・ 50周年記念事業に関する企画・設営及び運営	6月	
・ 会員拡大に関する業務 (関連委員会との連絡調整)	通年	
・ 委員会活動及び事業の記録保存	通年	
・ 全事業への参加協力	通年	
・ 理事長諮問に関する答申業務	通年	

7. 出向者抱負

公益社団法人日本青年会議所 アジアアライアンス確立委員会

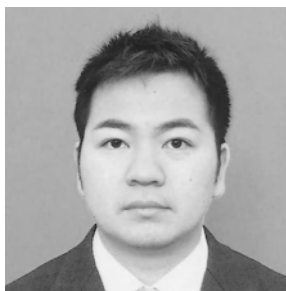
齋藤 新太



公益社団法人日本青年会議所 アジアアライアンス確立委員会に出向させて頂くことになりました。政治ではできない、民間外交でアジアと交流し、アジアを一つにすることを目的とする委員会です。この出向を通じて今までとは違った広い視野でJC,そして日本を見ていくよう頑張ってきたと思います。皆様のご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会 グローバルリーダー育成委員会

廣井 公壽



近畿地区協議会 グローバルリーダー育成委員会に出向させて頂く事になりました。近畿への出向は初めてで不安もありますが、同時に世界にも羽ばたけるチャンスだと思ってます。友人の輪を近畿、いや世界に広げる機会を与えて頂いた事に感謝しております。自分なりに一年間頑張ってますので、メンバー諸兄のご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

書記

出口 利一



兵庫ブロック協議会 書記に出向させていただくことになりました。諸会議の設営、会議中運営補佐及び議事録の作成が主な役割です。今まで培った経験を活かして、またブロックで新たな経験をLOMへ持ち帰り役立てたいと考えます。淡路JCとして出向していると常に意識して頑張っております。メンバーの皆様には一年間ご指導、ご鞭撻宜しくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

書記

仲野 正倫



2012年度 兵庫ブロック協議会 書記に出向させていただくことになりました。書記の役割は、主に諸会議の設営、会議中運営補佐及び議事録の作成です。ここで培った経験を淡路へ持ち帰り、役立てていきたいと考えます。淡路JCから出向していることを自覚し行動していきます。どうぞよろしくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

震災復興推進会議

木原 慎陽



震災復興推進会議に出向させて頂くことになりました。ブロック出向は実に3年ぶりです。最終年度での出向ではありますが、精一杯社団法人淡路青年会議所のメンバーとして恥じない活動をして参りたいと思っております。また、社団法人淡路青年会議所としての出向に対するスタンスは変わらないのですが、最近では、一部のメンバーの出向に対するスタンスが社団法人淡路青年会議所の思いと違う方向に進んでいるように思われます。何とか、さすが淡路さんと言われるように微力ながら全力で行動して参

りますので、よろしくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫の未来創造会議

向内 英光



本年、公益法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会兵庫の未来創造会議に出向させて頂くことになりました。役割としては、憲法タウンミーティング・中学生県議会と対外に発信する重要な会議体であります。2年前に憲法関連の会議体へ出向しておりましたがその経験を活かしつつ、より良い事業になる一助となるべく精一杯頑張っております。

そして、LOMへ何か一つでも持って帰り、伝えることができるように全ての会議に出席して参ります。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

会員拡大推進委員会

飛松 孝治



兵庫ブロック協議会 会員拡大推進委員会へ出向させて頂く事になりました。近年、会員減少は顕著でありLOMにおいても大きな問題となっております。新規会員獲得に向けての様々な手法や情報を得、今後の拡大活動に活かせるよう一生懸命学んでまいりますのでメンバー諸兄のご指導、ご協力をよろしくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

会員大会運営委員会

原田 啓行



会員大会運営委員会に出向させていただくことになりました。今年の会員大会は篠山での開催となっております。委員長をはじめ熱いメンバーが多く、学ぶべき点も数多くあるように感じております。ここで培った経験を持ち帰り、LOMのメンバーにしっかりお伝えしたいと思っております。1年間頑張ってお参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

JC 運動発信委員会

大畑 一也



JC 運動発進委員会に出向させていただくことになりました。
この委員会は、兵庫ブロックのホームページの運用など、情報を発信していく役割を担っている委員会です。

50周年を迎えた淡路JCから出向しているとの自覚を持ち、頑張りたいと考えます。

。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

財政特別委員会

三原 聡



本年度、兵庫ブロック協議会 財政特別委員会に出向させていただくことになりました。ブロックの委員会から上程される議案を財政面、コンプライアンス面で審査すること、また法人格移行に伴う支援する役割を担当する委員会です。他 LOM の方々と交流し、ここで培った経験を淡路 JC に持ち帰り、役立てて参りたいと考えますので、どうぞよろしくお願いいたします。

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

兵庫アカデミー委員会

福富 健介



この度、兵庫アカデミー委員会に出向させて頂くことになり誠にありがとうございます。この委員会では研修・事業を通じて主導力を持った地域リーダーとなりえる素地を身につけ、そして地域において市民を魅了する人材になれるよう努力してまいります。さらに他 LOM のメンバーと交流を深め今後の JC 活動に活かしたいと考えております。全力投球で事業に取り組んでいきますので、ご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

村田 泰志



この度、兵庫アカデミー委員会に出向させていただくことになりました。JC 活動をする上で、スキルアップをするまたとないチャンスだと思っております。また、他 LOM の方々との交流を深め、楽しみながら、自己の精進へ繋げていきたいと思っております。今後の活動をする上で、大切なことを学べる一年だと確信しております。至らない私ではございますが、いろいろご指導いただけますようお願いいたします。

横山 泰明



ここの度、兵庫アカデミー委員会に出向させて頂くことになりました。JC 歴が浅く、JC とはどういった組織なのか、まだ掴めておらず困惑する部分も多々ありますが、委員会には必ず出席する事を目標に自ら積極的に他 LOM とのコミュニケーションを図り交流を深めて、これからの自分自身のスキルアップに努めたいと考えております。これから 1 年間宜しくお願いいたします。

8. 一般会計収支予算

自 2012年 1月 1日

収入の部

至 2012年 12月 31日

単位：円

款	項	目	2012年度修正予算	2012年度当初予算	当初予算との比較	備 考
会 費			10,420,000	9,460,000	960,000	
	会 費		10,420,000	9,460,000	960,000	
		新会員会費	1,120,000	480,000	640,000	新入会員 7名×¥160,000
		正会員会費	9,120,000	8,800,000	320,000	57名×¥160,000
		特別会費	180,000	180,000	0	卒業生6名×¥30,000
入会金			350,000	150,000	200,000	
	入会金		350,000	150,000	200,000	
		入会金	350,000	150,000	200,000	新入会員 7名×¥50,000
事業収入			0	0	0	
	事業収入		0	0	0	
		寄付金	0	0	0	
		補助金	0	0	0	
		助成金	0	0	0	
	登録料		0	0	0	
		登録料	0	0	0	
	雑収入		0	0	0	
雑収入		0	0	0		
寄付金			0	0	0	
	寄付金		0	0	0	
		寄付金	0	0	0	
		一般寄付金	0	0	0	
繰入金			4,000,000	4,000,000	0	
	繰入金		4,000,000	4,000,000	0	
		特別事業基金	4,000,000	4,000,000	0	
		職員退職金	0	0	0	
		事務局整備引当金	0	0	0	
雑収入			0	3,000	-3,000	
	雑収入		0	3,000	-3,000	
		受取利息	0	3,000	-3,000	
		雑収入	0	0	0	
繰越金			3,974,073	560,000	3,414,073	
	繰越金		3,974,073	560,000	3,414,073	
		繰越金	3,414,073	0	3,414,073	
		職員退職金	60,000	60,000	0	
		事務局整備引当金	500,000	500,000	0	
合 計			18,744,073	14,173,000	4,571,073	

支出の部

単位：円

款	項	目	2012年度修正予算	2012年度当初予算	当初予算との比較	備 考
法人費			5,718,088	5,180,000	538,088	
	会議費		267,000	267,000	0	
		総会費	15,000	15,000	0	ハガキ代
		理事会費	252,000	252,000	0	21000円/回*12回
	人件費		1,110,000	1,110,000	0	
		給料	960,000	960,000	0	
		諸手当	150,000	150,000	0	交通費他
		退職金		0	0	
	渉外費		250,000	150,000	100,000	
		渉外費	250,000	150,000	100,000	団体会費・周年等
	慶弔費		200,000	100,000	100,000	
		慶弔費	200,000	100,000	100,000	
	事務費		2,450,000	2,188,110	261,890	
		印刷費	60,000	50,000	10,000	
		消耗品費	200,000	200,000	0	
		通信費	520,000	500,000	20,000	電話代、JCﾌﾟﾚｽ送料等
		賃貸料	1,020,000	1,020,000	0	¥85,000×12ヶ月
		水道光熱費	250,000	250,000	0	
		什器備品費	0	0	0	
		修理費	300,000	70,000	230,000	FAX・電話等
		雑費	100,000	98,110	1,890	新聞代等
	報酬料金費		400,000	400,000	0	
	租税公課		25,000	25,000	0	
		租税公課	25,000	25,000	0	印紙代等
	負担金		1,016,088	939,890	76,198	
		J C I 会費	57,088	62,640	-5,552	¥892×64名
		日本 J C 会費	365,000	335,000	30,000	¥45,000+ ¥5,000×64名
国際協力資金		116,800	105,850	10,950	¥5×365日×64名	
近畿地区会費		117,200	106,400	10,800	¥2,000+ ¥1,800×64名	
兵ブ会費		360,000	330,000	30,000	¥40,000+ ¥5,000×64名	
WE BELIEVE		0	0	0	預り金	

支出の部

単位：円

款	項	目	2011年度修正予算	2011年度当初予算	当初予算との比較	備 考
事業費			8,413,000	8,413,000	0	
	理事長公室		0	0	0	
			0	0	0	
	総務広報		1,075,000	1,075,000	0	
			1,075,000	1,075,000	0	
	交 流		1,010,000	1,010,000	0	
			1,010,000	1,010,000	0	
	拡大研修		133,000	133,000	0	
			133,000	133,000	0	
	例 会		665,000	665,000	0	
			665,000	665,000	0	
	社会開発		2,730,000	2,730,000	0	
			2,730,000	2,730,000	0	
	50周年特別		2,800,000	2,800,000	0	
			2,800,000	2,800,000	0	
			0	0		
			0	0		
			0	0		
			0	0		
予備費			3,532,985	0	3,532,985	
	予備費		3,532,985	0	3,532,985	
			3,532,985	0	3,532,985	
繰出金			500,000	0	500,000	特別事業基金に拠出
	繰出金		500,000	0	500,000	
			500,000	0	500,000	
その他の支出			0	0	0	
	敷金		0	0	0	
			0	0	0	
	固定資産購入支出		0	0	0	
		什器備品	0	0	0	
	出資金		0	0	0	
		有価証券購入	0	0	0	
繰越金			580,000	580,000	0	
	繰越金		580,000	580,000	0	
		繰越金	0	0	0	
		職員退職金	80,000	80,000	0	
		事務局整備引当金	500,000	500,000	0	
合 計			18,744,073	14,173,000	4,571,073	

9. 特別事業基金（特別会計）収支予算

2011年度 特別事業基金修正収支予算書

単位：円

収入の部				支出の部			
科 目	2012年度修正予算	2012年度当初予算	当初予算との比較	科 目	2012年度修正予算	2012年度当初予算	当初予算との比較
2011年度繰越金	4,722,229	4,720,088	2,141	2012年度繰出金	4,000,000	4,000,000	0
2012年度繰入金	500,000	0	500,000	2013年度繰越金	1,222,229	720,088	502,141
雑収入	0	0	0		0	0	0
合 計	5,222,229	4,720,088	502,141	合 計	5,222,229	4,720,088	502,141

10. 2012年度 社団法人淡路青年会議所 役員名簿

理事長	上村	雄二郎
直前理事長	畑野	信行
特別顧問	後藤	英範
副理事長	飛松	孝治
	原田	啓行
	向内	英光
室長	木原	慎陽
専務理事	池澄	泰彦
理事	大畑	一也
	岸本	篤人
	川越	勇輔
	柴田	大介
	中村	篤弘
	法月	正義
	三原	聡
出向理事	齊藤	新太
	廣井	公壽
監事	上河	護
	中西	仁志

11. 出向者一覧

公益社団法人日本青年会議所

出 向 先	役 職	出向者氏名
アジアアライアンス確立委員会	委 員	齋藤 新太

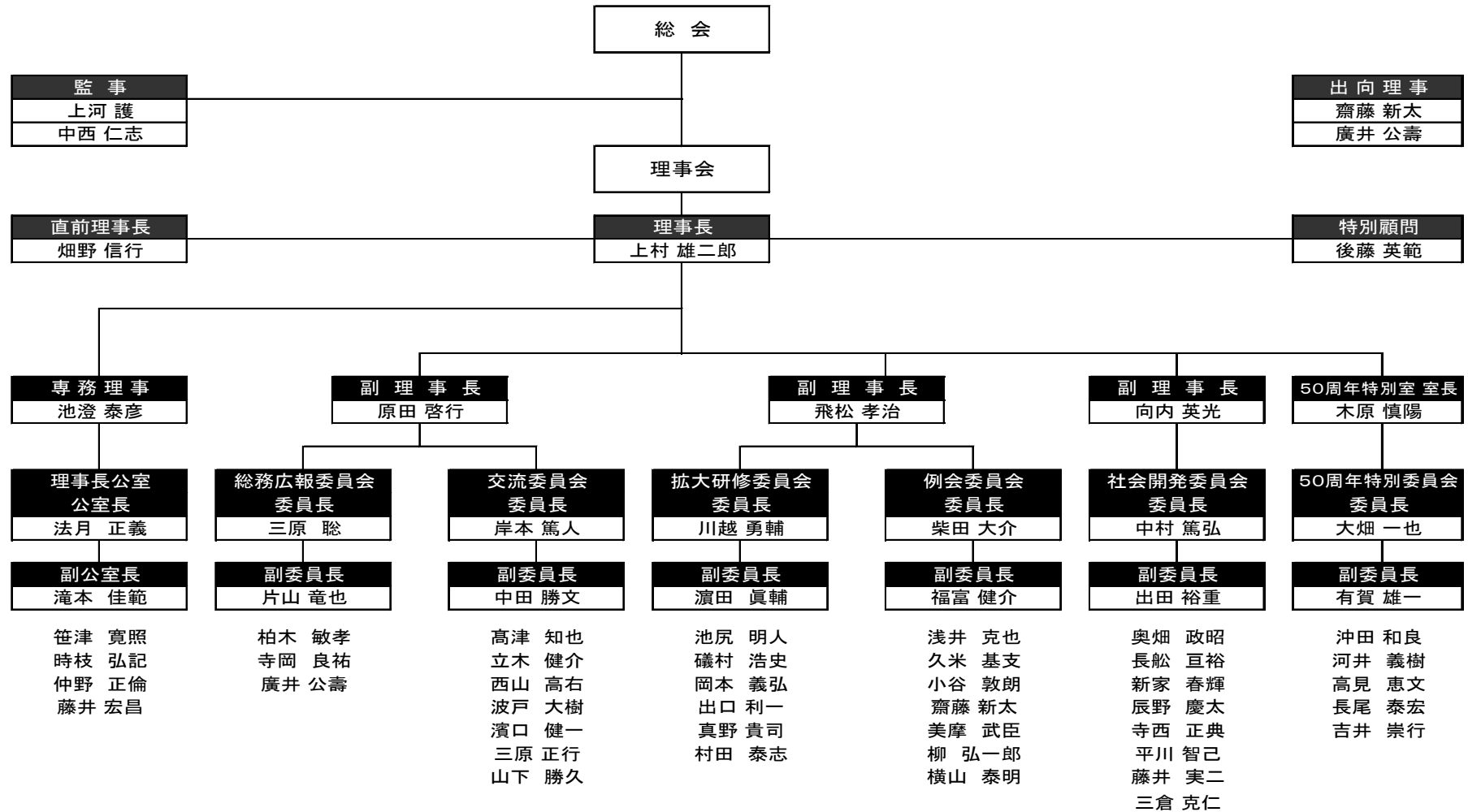
公益社団法人日本青年会議所 近畿地区協議会

出 向 先	役 職	出向者氏名
グローバルリーダー育成委員会	委 員	廣井 公壽

公益社団法人日本青年会議所 近畿地区 兵庫ブロック協議会

出 向 先	役 職	出向者氏名
	書記	出口 利一
	書記	仲野 正倫
震災復興推進会議	委 員	木原 慎陽
兵庫の未来創造会議	委 員	向内 英光
会員拡大推進委員会	委 員	飛松 孝治
会員大会運営委員会	委 員	原田 啓行
JC 運動発信委員会	委 員	大畑 一也
財政特別委員会	委 員	三原 聡
兵庫アカデミー委員会	委 員	福富 健介
兵庫アカデミー委員会	委 員	村田 泰志
兵庫アカデミー委員会	委 員	横山 泰明

12. 組織及び委員会構成



13. 年間スケジュール

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
例 会	11日(水) 1月例会 16:00～17:30 淡路夢泉	8日(水) 2月例会 18:30～21:00 洲本市文化体育館	14日(水) 3月例会 18:30～21:00 洲本市文化体育館	11日(水) 4月例会 18:30～20:00 海月館	9日(水) 5月例会 18:30～21:00 洲本市文化体育館	13日(水) 6月例会 18:30～21:00 洲本市文化体育館	11日(水) 7月例会 18:30～21:00 洲本市文化体育館	8日(水) 8月例会 18:30～20:00 洲本市文化体育館	12日(水) 9月例会 18:30～21:00 洲本市文化体育館	10日(水) 10月例会 18:30～21:00 洲本市文化体育館	14日(水) 11月例会 17:30～20:00 夢海遊 淡路島	15日(土) 12月例会 16:00～18:00 ホテルニューアワジ	
総 会	11日(水) 第75回通常総会							8日(水) 臨時総会				15日(土) 第76回通常総会	
理 事 会	4日(水) 17:30～19:00 夢海遊 淡路島	1日(水) 19:00～21:30 夢海遊 淡路島	7日(水) 19:00～21:30 夢海遊 淡路島	4日(水) 19:00～21:30 夢海遊 淡路島	2日(水) 19:00～21:30 夢海遊 淡路島	6日(水) 19:00～21:30 夢海遊 淡路島	4日(水) 19:00～21:30 夢海遊 淡路島	1日(水) 19:00～21:30 夢海遊 淡路島	9日(水) 19:00～21:30 夢海遊 淡路島	3日(水) 19:00～21:30 夢海遊 淡路島	7日(水) 19:00～21:30 夢海遊 淡路島	5日(水) 19:00～21:30 夢海遊 淡路島	
三 役 会	23日(月)	27日(月)	26日(月)	23日(月)	28日(月)	26日(月)	23日(月)	27日(月)	24日(月)	29日(月)	26日(月)	25日(火)	
日本青年会議所	京都会議 19日(木)～22日(日)		復興フォーラム(仮)盛岡 11日(日)				サマー コンファレンス(横浜) 21日(土)～22日(日)			全国会員大会(北九州) 11日(木)～14日(日)			
JCI関係						ASPAD(香港) 7日(木)～10日(日)					JCI世界会議(台北) 18日(日)～22日(金)		
近畿地区	会員会議所会議 地区事業	京都会議中					地区大会中 近畿地区大会						
兵庫ブロック協議会	正副会長会議	14日(土)西宮	11日(土)加古川	17日(土)姫路	14日(土)川西	26日(土)丹波	16日(土)芦屋	28日(土)尼崎	15日(土)明石	6日(土)加古川	25日(日)神戸	22日(土)	
	役員会議	14日(土)西宮	11日(土)加古川	17日(土)姫路	14日(土)川西	26日(土)丹波	16日(土)芦屋	28日(土)尼崎	15日(土)明石	6日(土)加古川	25日(日)神戸	22日(土)	
	会員会議所会議		4日(土)神戸	24日(土)豊岡	28日(土)三木		23日(土)磯山			27日(土)相生	25日(日)神戸		
	合同委員長会議		4日(土)神戸								25日(日)神戸		
	公式訪問役員総談会												
その他事業		7日北方領土の日 22日竹島の日 JCI県議連との懇談会						会員大会 中学生協議会 知事との懇談会					
兵庫ブロック内各地周年記念式典	周年詳細未定												
	徳島JC 川西JC 南但JC 豊野JC(未定)				12日(土)芦屋JC	30日(土)淡路JC							
各委員会事業計画	理事長公室												
	総務広報	ホームページ作成	会員名簿・総合資料作成			第18回わんぱく相撲淡路場所	7月例会						
	交流	新年会			5月例会			淡路島まつり				家族忘年会	
	拡大研修	入会案内冊子作成		前期入会候補者説明会	研修事業			8月例会	後期入会候補者説明会				
	例会	1月例会	2月例会	3月例会	4月例会	5月例会	6月例会	7月例会	8月例会	9月例会	10月例会	11月例会	12月例会
	社会開発						社会開発事業・6月例会	社会開発事業					
50周年特別				4月例会		50周年事業							

14. 日本JC近畿地区兵庫ブロック協議会組織図

